

14.5
469

14.5-469



1200501217334

南アメリカ年鑑

日本國際問題調査會編

昭和十年版



始



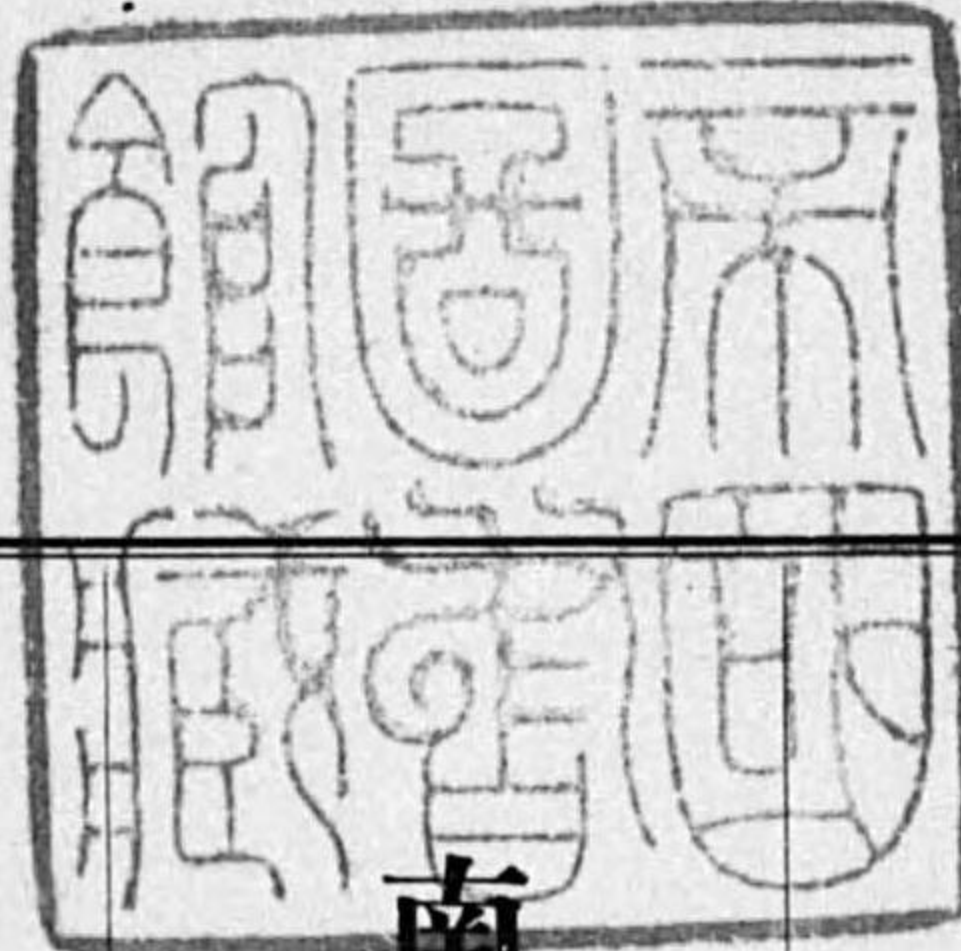
304

日本國際問題調查會編

南アメリカ年鑑

1935

河出書房



日本國際問題調查會編

(日本國際年鑑
分冊普及版)

南
ア
メ
リ
カ
年
鑑

(昭和十年版)

東京 河 出 書 房



14.5-469

序

最近における日本の民族的飛躍と世界的位置の向上は我國の國民生活をして國際的諸關係と直接なる聯關を有せしめ、一般國民の全世界に對する正確なる知識と適確なる認識を更に一段と必要ならしめるに至つた。斯かる時に當りこの大方の需要に應ずべく生れた「日本國際年鑑」が各公共機關、研究諸家等に好評を以つて迎へられ、豫期以上の成績を擧げ得たのは同人一同の感謝に耐へざるところである。

而して一般讀者層の要求のもだし難きものあるがため、「日本國際年鑑」の普及大衆版として、こゝに、「日本年鑑」、「アジア年鑑」、「アフリカ年鑑」、「オセアニア年鑑」、「北アメリカ年鑑」、「南アメリカ年鑑」、「ヨーロッパ年鑑」を分冊刊行することになつたのである。多岐多難の國際情勢と變轉極まりなき諸國の實情につき、常識涵養のため或は實務處理のため、好參考資料たるを得ば、望外の幸ひである。

昭和十年九月十日

日本國際問題調査會

<ul style="list-style-type: none"> F 運輸・交通 G 通信 III 社會・文化 V 自然 A 地理 B 氣候 C 面積 D 人口 E 住民(都市) 	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史概観 II 政治 A 政治機構(現大統領、首府) B 行政(現内閣) C 立法(現議會) D 司法 E 政黨 F 國防 III 經濟 A 財政(公債) B 銀行 	<p>3</p> <p>ウルグアイ (立憲共和國)</p>	<ul style="list-style-type: none"> C 通貨(度量衡) D 生産(産業大觀、農業、畜産業、鑛業、工業) E 外國貿易 F 運輸・交通 G 通信 III 社會・文化 V 自然 	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史 II 政治(現知事、首府) III 經濟 III 社會・文化 V 自然 	<p>4</p> <p>英領ギアナ</p>	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史概観 II 政治 A 政治機構(現大統領、首府) B 行政(現内閣) 	<p>5</p> <p>エクアドル (立憲共和國)</p>	<ul style="list-style-type: none"> C 立法(現議會) D 司法 E 地方行政 F 政黨 G 國防 III 經濟 A 財政(國債) B 銀行 C 貨幣 D 度量衡 E 生産(産業大觀、農業、畜産業、林業、鑛業、工業) F 外國貿易 G 交通 H 通信 III 社會・文化 V 自然 	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史概観 II 政治 A 政治機構(現大統領、首府) B 行政(現内閣) C 立法(現議會) D 司法 E 政黨 F 國防 III 經濟 A 財政(國債) B 銀行 C 貨幣 D 度量衡 E 生産(産業大觀、農業、畜産業、林業、鑛業、工業) F 外國貿易 G 交通 H 通信 III 社會・文化 V 自然 	<p>6</p> <p>コロムビア (立憲共和國)</p>	<ul style="list-style-type: none"> C 立法(現議會) D 司法 E 地方行政 F 政黨 G 外交 H 國防 I 政治の動勢 III 經濟 A 財政(國債) B 銀行 C 貨幣 D 度量衡 E 生産(産業大觀、農業、林業、鑛業、工業) F 外國貿易 G 交通 H 通信 III 社會・文化 V 自然 	<ul style="list-style-type: none"> V 文化 A 宗教 B 教育 C 新聞 D 風俗 VI 自然 A 地理 B 氣候 C 人口 D 都市 	<p>7</p> <p>チリ (立憲共和國)</p>	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史概観 II 政治 A 政治機構(現大統領、首府) B 行政(現内閣) C 立法(現議會) D 司法 E 地方行政 F 政黨 G 國防 III 經濟 A 財政(國債) B 銀行 C 貨幣 D 度量衡 E 生産(産業大觀、農業、畜産業、林業、鑛業、工業) F 外國貿易(對日貿易) G 交通(道路、鐵道、船舶、航空) H 通信 III 社會 	<p>8</p> <p>パラグアイ (立憲共和國)</p>	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史概観 II 政治 A 政治機構(現大統領、首府) B 行政(現内閣) C 立法(現議會) D 司法 E 地方行政 F 政黨(自由黨、國民共和黨) G 外交 H 國防
--	--	---	--	--	-------------------------------------	---	---	---	--	---	--	---	--	--	---	---

<ul style="list-style-type: none"> F 運輸・交通 G 通信 III 社會・文化 V 自然 A 地理 B 氣候 C 人口 D 都市 	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史概観 II 政治 A 政治機構(現大統領、首府) B 行政(現内閣) C 立法(現議會) D 司法 E 地方行政 F 政黨 G 外交 H 國防 III 經濟 A 財政(國債) B 銀行 C 貨幣 D 度量衡 E 生産(農業、林業、鑛業) F 外國貿易 G 交通 H 通信 III 社會・文化 V 自然 	<p>7</p> <p>チリ (立憲共和國)</p>	<ul style="list-style-type: none"> C 通貨(度量衡) D 生産(産業大觀、農業、畜産業、鑛業、工業) E 外國貿易 F 運輸・交通 G 通信 III 社會・文化 V 自然 	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史概観 II 政治 A 政治機構(現大統領、首府) B 行政(現内閣) C 立法(現議會) D 司法 E 地方行政 F 政黨 G 國防 III 經濟 A 財政(國債) B 銀行 C 貨幣 D 度量衡 E 生産(産業大觀、農業、畜産業、林業、鑛業、工業) F 外國貿易(對日貿易) G 交通(道路、鐵道、船舶、航空) H 通信 III 社會 	<p>8</p> <p>パラグアイ (立憲共和國)</p>	<ul style="list-style-type: none"> I 歴史概観 II 政治 A 政治機構(現大統領、首府) B 行政(現内閣) C 立法(現議會) D 司法 E 地方行政 F 政黨(自由黨、國民共和黨) G 外交 H 國防
--	--	--	--	--	---	---

業、林業、鑛業)	Ⅲ 社會	Ⅲ 社會
F 外國貿易	Ⅳ 文化	Ⅳ 文化
G 交通(道路、鐵道、船舶)	Ⅴ 自然(面積・人口)	Ⅴ 自然(面積・人口)
H 通信		
Ⅲ 社會		
V 文化		
A 宗教		
B 教育		
C 新聞		
D 風俗		
Ⅵ 自然		
A 地理		
B 氣候		
C 面積		
D 人口		
E 都市		
F 植民政策		
14 蘭領ギアナ		
I 歴史		
II 政治(現知事、首府)		
III 經濟(財政、産業、外國貿易、交通)		

I 歴史概観
 アルゼンティンは一五二六年スペイン人フアン・デ・ソリス(Juan de Solis)によって発見され、一五三五年スペイン王カルロス五世はドン・ペドロ・デ・メンدوزーサ(Don Pedro de Mendoza)をアルゼンティンに派遣し、メンドーサは現在の首府ブエノス・アイレス(Buenos Aires)の町を建設した。その後、同植民地は飢饉とインディアンの侵入に悩まされながら次第に發展し、一八〇〇年の初頭にはイギリス・スペイン間の戦争の影響を受け、遂に一八一〇年五月二十五日民衆はスペインの獨裁を脱して起ち、臨時政府を樹立、一八六年七月九日ソラン会議によって獨立共和國たることを宣言した。しかしながら、其後スペインとの戦ひは永く終らず、それに續いてブラジルとの戦ひ起り、國內は中央集權派と聯邦派に別れて紛争絶えず、漸く一八五三年に到つて聯邦制を規定する憲法が制定され、フスト・ホセ・デ・ウルキーサが最初の大統領に任命されたが、この兩者の紛争は依然としておさまらず、バラグアイとの戦争の終局と共に兩派の闘争は再び開始され、遂に一八八〇年アエノス・アイレスを聯邦派が占領し、これを聯邦の首府とする。このことによつて紛争は解決された。アルゼンティンの憲法は屢々修正されて來たが、一九三〇年

1 アルゼンティン 立憲共和国
 英・佛 Argentine, 獨 Argentinien

九月六日革命が勃發し、假政府の出現を見て、憲法の改正を劃策しつゝ今日に到つてゐる。

II 政治
A 政治機構 アルゼンティン共和國憲法は一八五三年五月二日制定され、その後一八六〇年、一八六六年、一八九八年の修正を経て從來の共和國憲法は一九三四年全面的修正研究されることになつてゐる。
 現行憲法は立法、司法、行政の三權分立主義の原則に基礎附けられ、執政權は大統領に、立法權は上下兩院よりなる國民議會(Congreso Nacional)にあることを規定す。憲法第一條に「アルゼンティン共和國々民はその統治のため本憲法の規定に従ひ聯邦代議共和制を採用す」といひ且つ第一〇〇條に一州は本憲法により聯邦政府へ委任せられたものを除き一切の權限を保有す」と規定しアルゼンティンは聯邦代議制共和國にして各州の廣大なる自治權を許容することを表示してゐる。
 大統領は任期六年にして一四州と首府ブエノス・アイレスによつて指名された三七六名の選舉人により任命される。同時に副大統領も任命され上院議長を兼職し任期六年にして大統領故障あるとき副大統領行政權を代行する。大統領、副大統領共に國民の直接選舉による大統領選舉人により選ばれ、その資格としてはアル

ゼンティン生れでローマ・カトリック教を信仰することを必須條件とす。引續き次期再選を許されない。大統領の權限はアルゼンティン共和國元首として行政權を總攬し、陸海軍大元帥を兼ね、國務大臣、陸海軍軍人、官吏、判事任命權、減刑・特赦兩權、國民議會開會閉會の權限を有し、且つ必要に應じて通常議會を延期し、臨時議會召集の權限與へらる。しかし議會解散權は與へられてゐない。また副大統領は職制上上院議長を兼ねる。
【大統領】 オーガスティン・ビー・フスト將軍(General Augustin P. Justo) 一九三一年一月八日選舉せられ、翌年二月二〇日就任
【副大統領】 フリオ・アエノ・ロカ博士(Dr. Julio A. Roca) 國民黨出身。
【首府】 ブエノス・アイレス(Buenos Aires) 內閣にあり、國務大臣は大統領の任命にかゝる有し議會へは責任を負はない。大統領の下に外務・内務・大藏・農務・司法教育・勞務・海軍・陸軍の八省あり各省大臣各々政務を分擔し、大統領の命令へ副署する。國務大臣は同時に議員を兼任することを得ないが、議會へ出席し討議に参加することは差支へない。現内閣は一九三二年二月二〇日、大統領フスト將軍の下に次の如き顔觸を以つて組織された聯立内閣である。
 內相 エル・メロ(L. Melo)
 藏相 アルヴァード・フレイヤー(Albert Hueyo)
 農相 トマン(Tomas)
 司法教育相 エム・ニ・イリオン・ド・ウ(Al. de Iriondo)

労働相 エム・アール・マルヴァット (M. R. Alvarez)

海相 ヨー・エヌ・カサル (P. S. Casal)

陸相 エム・ホー・ロードリゲス將軍 (General M. A. Rodríguez)

C 立法 立法権は上下兩院よりなる國民議會 (Congreso Nacional) に屬し、兩院共會期は毎月五月一日より九月三〇日までとする。

【上院】 Senado と呼ばれ、任期九年を有する三〇名の議員よりなり、議員の三分の一は三年毎に改選される。その中二名は首府より特定選挙人によりて選出され、他の二八名は全國一四自治州より二名宛選出される。上院議員は三〇歳以上にして、六ヶ年以上アルゼンティン共和國市民たることを要す。

【下院】 Camara de Diputados にして、下院議員の任期は四ヶ年、總計一五八名の議員より成る。而して二年毎にその半数が改選せられる。下院議員たり得る資格は年齢二五歳以上にして、四ヶ年以上アルゼンティン共和国の市民たりしことを必要とする。

【現議會】 上下兩院ともに一九三一年一月に、上院はその三分の一を、下院はその二分の一の改選を受けたものである。上下兩院の議長、及び各政黨の勢力關係は次の如し。

上院議長—Dr. Julio A. Roca

國家民主黨 一四名

急進反人身攻撃黨 九名

獨立社會黨 二名

進歩民主黨 二名

セントル・リオス急進黨 二名

合計 三〇名

下院議長—Juan F. Cafarena

國家民主黨 五四名

社會黨 四二名

急進反人身攻撃黨 一七名

進歩民主黨 一四名

獨立社會黨 九名

セントル・リオス急進黨 六名

自由黨 五名

州擁護黨 三名

民衆黨 二名

合計 一五八名

D 司法 司法権は聯邦裁判所 (Federal Courts) 及び州裁判所 (Provincial Courts) により行使される。聯邦裁判所は最高裁判所にして首府ブエノス・アイレスにあり五人の判事よりなる。主として國家的事件に當る。その他五控訴院あり (一は五人の判事よりなるブエノス・アイレス控訴院、及びラプラタ、バラナ、コルトヴァ、ロサリオ控訴院は各三人の判事を有してゐる)。又第一審裁判所 (下級裁判所 Court of First Instance) は各州、各地方にある。各州は又一大審院と五乃至六の下級裁判所 (Minor Court) を有し、司法自治制を採用してゐる。陪審裁判制を除いては未だ實行されてゐない。

E 地方行政 州は聯邦憲法第五條及び第一〇四條以下の規定によつて州憲法を制定し、州憲法及び州議會の権限を定む。州統領は非常な權限を與へられ中央政府より獨立の地位にあり、州行政の首長であり且つ聯邦政府の代表者である。三年乃至四年間に地方民によつて選舉される。内務長官、財政長官の輔佐により州の執行権を行使する。州は州憲法を制定し州統領、州議會を選定し、州官吏を任免し、州裁判所を設置し、市町村制等を定む。州議會は上下兩院より成る。州政府は聯邦政府における權限以外

の一切の執行権を行使する。

F 政黨 一九三〇年九月のアルゼンティン革命はイリゴエン政權の敗北に歸し、假政府は九月六日樹立され議會は暫し解散された。一九三一年一月八日に總選挙は行はれ、先きにイリゴエンを支持した進歩黨離反し他の政黨は大體二つの陣營に分れ一はコンコルダンシア (Concordancia) とし他をアリアンサ (Alianza) とす。コンコルダンシアは大統領にオリガステイン・ビー・フスト將軍、副大統領にフリオ・エー・ロカを推してゐる。之れに反してアリアンサは社會黨と急進黨間の形式的同盟を代表し、大統領にリサンドロ・デ・ラ・トレ博士、副大統領にニコラス・レント博士を推してゐる。

【國民民主黨】 (National Democratic Party) 立法権、司法権、州の獨立期成のための憲法改正を前州大統領ウリアルは主張してそのために生れた政黨である。外國品に對するに國産獎勵、農民法の改革等を主張す。

黨領袖—Antonio Santamarina Luis Dihan, Rodolfo Moreno, Martin Sanchez Sorondo.

【急進反人身攻撃黨】 (Radical Antipersonalista Party) 大統領、副大統領、元老議員の直接選挙、婦人投票權の擴張、植民の獎勵、州の分割等を主張す。

黨領袖—Dr. Jose Nicolas Matienzo, Enrique S. Perez, Romulo S. Naon, Maximo Castro, Miguel Susini, Aldo Cantoni, Alejandro Ruzo.

【社會黨】 (Socialist Party) 自由主義的・民主的憲法の樹立を希求し、政教分離、一般消費稅、關稅の値下、労働者の疾病、不從業に對する政府の保障、婦人參政權、アメリカとの軍備撤廢を主張す。

黨領袖—Dr. Nicolás Repetto, Dr. Alfredo L. Palacios, Mario Bravo.

【急進民主黨】 (Progressive Democratic Party) 同黨の政綱は社會黨に類似しづる。最大勢力はサンタ・フェ州にある。

黨領袖—Dr. Lisandro de la Torre, Dr. Juan José Diaz Arana, Julio R. Noble, Dr. August Rodriguez, Dr. Luciano Molinas, Dr. Julio Gonzalez Irujo.

【獨立社會黨】 (Independent Socialist Party) 一般消費品保護稅に反對し、直接稅、累進稅を主張し、政教分離、労働者聯合の合法的認識、義務的徴兵制の撤廢等を主張す。

黨領袖—Federico Pinedo (大藏大臣), Augusto Bunge, Carlos Maracorta.

【聯合市民急進黨】 (Union Civica Radical Party) 國産品獎勵、婦人參政權、累進稅等の政策をかかぐ。

黨領袖—Dr. Marcelo T. de Alvear, Dr. Adolfo Giemes, Dr. Fernando Saguter, Dr. Honorio Pueyrredon, Dr. Mario Gutio, Dr. Roberto Parry, Dr. Victor Molina, Dr. Julio Borda, Dr. Carlos Noel.

G 外交 【傳統的外交政策】 アルゼンティン外交はあくまでも自主外交、強硬外交を基調とし、他の中南米諸國のアメリカ追隨外交に比し斷然頭角を抜くものである。外務大臣た

リシボニョの「アルゼンティンは孤獨なる自由を愛す」の一言こそアルゼンティン外交の眞面目を語るものであらう。由來アルゼンティンは英・米に對して決して消極的態度に出づることなく時に應じては正面衝突をも辭せざること屢々であつた。自主外交、強硬外交はイリゴエン大統領に至つてその絶頂に達した觀があつた。彼は急進黨の總裁にして多難なる一九一六年大統領に選出せられ、内外政策に全力を注ぎ、先づ大戦中英米から聯合國加増を強要せられしに拘はらず之れを拒否し、議會は對獨斷絶を決議せしに拘はらず之れを握り潰し徹底的なる自主獨立に終始し、ヴェルサイユ條約には被招聘國として第一回聯盟總會には時の外相ブレレイドン、及びアルムアルを全權として派遣し「大戦中嚴正中立を守つたアルゼンティンは聯合國のみを以つて組織される聯盟に加入することに反對す」といひ「國際聯盟は世界各國の平等を基礎とした世界の聯盟でなければならぬ。故に戰敗國たるドイツ、オーストリア、トルコ、ハンガリア、ブルガリアをも招聘しようではないか」と斷言し、決然國際聯盟から引上げてしまつた。その後一九三〇年一月二月聯盟事務總長ドラモンド (Drummond) アルゼンティンを訪問し、暗にアルゼンティン聯盟加入の腹を探らんとするに出でたがアルゼンティン官民は何等公式の歡迎會を開かず政府當局又ドラモンドを敬遠する態度に出で、依然「孤獨なる自由」の旗幟の下に超然としてゐる。

【對英外交】 對イギリス關係は主として經濟關係において重要な關係を有し現在イギリスのアルゼンティンに對する投資額五〇億、その中三〇億は鐵道へ、一〇億は公債へ、他は海運電信等への投資である。しかし最近イギリス資本の侵入によりイギリスの衰運胚胎し、ここに

イギリスは一九三一年經濟使節ダバソン卿派遣、次いで一九三二ブエノス・アイレス大英博覽會へ英皇太子の御訪問等全力を盡して經濟既得權維持のため奔走してゐる。

【對米外交】 アメリカに向つては屢々中南米侵入に對して攻撃的態度に出で、アルゼンティンこそアメリカ外交の難關の一つと目されてゐる。大統領を初めすべての官民舉つて中南米侵略政策、モンロー主義、非外交を攻撃し事毎に橋づく態度に出で遠くはルーズヴェルト、近くはフーヴァー大統領アルゼンティン訪問ありしが何れもその目的は達せられなかつた如く觀取される。ここにおいてアメリカは經濟的にアルゼンティンを懐柔せんとの舉に出で先づアメリカ財閥をまくアンチ・イリゴエンたる保守黨と結託し、保守黨を使喚し革命によりイリゴエン政權を倒し保守黨内閣に變らしめた。しかし最近ブエノス・アイレス州の選挙の結果非外交の絲にあやつられた保守黨政府の徹底的彈壓干涉に係らず急進黨の大勝利となり、保守黨内閣の總辭職を誘致するに至つた歴史を持つてゐる。且つ全米大陸二ヶ國よりなる汎米同盟においてはアルゼンティンが常に重要な役割を演じアメリカの政治軍事問題、中南米侵略政策に對してはこの會議を利用して敢然立つて戦ふこと屢々である。

【對佛外交】 對フランス關係は主としてラテン文化を通じてであり。フランス政府より藝術家、學者、文士等のアルゼンティンへの派遣せらるるもの多く、佛語學校の設置、佛亞文化機關の建設等、アルゼンティンはフランス文化を憧憬するの念強く、上流家庭の子弟パリへ遊學するもの多く、現在においては單に文化外交のみならず經濟上においても投資額英米に次ぐ程度であり、最近バリー・ブエノスアイレス間の

全 國 別 貿 易 額
(單位千紙幣ペソ)

國 別	1932		1933	
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
イ ギ リ ス	177,491	464,959	208,269	388,636
ド イ ツ	84,599	112,664	104,436	81,972
ペ ル ギ ー	32,724	141,110	37,254	104,113
オ ラ ン ダ	13,914	161,081	18,365	91,817
フ ラ ン ス	43,983	118,671	49,602	67,638
イ タ リ ア	79,853	69,095	87,820	43,361
ア メ リ カ	118,305	43,859	123,260	85,978
ブ ラ ジ	48,746	20,780	53,866	46,886

それに比較して、輸入において四割五分近く、輸出において五割以上の減少を見せている。然し同國の貿易の特徴は一九三〇年に輸入超過を見たのを除き、年々相當の輸出超過を見せていることである。

【主要輸入品】 輸出品の大宗は農産物にして別表に見られるが如き一九三三年の統計によれば、輸出総額の五七・七%を占めてゐる。その主たるものは小麦、玉蜀黍、大麥等の穀産物、及び亞麻仁にして、その輸出総額に對する割合は五三・七%に上る。之に次ぐものが畜産物にして、總額の三七・二%を占め、牛肉、家畜、羊毛、皮革等を主とする。また畜産物輸出において特に注意すべきは大戦後は羊毛及び皮革の占める割合は減少し、牛肉及び家畜の割合が著し

く増加し、現在では却つてより重要となつてゐるといふことである。

輸入において最も重要な地位を占めてゐるものは織維工業品にして、一九三三年において織物輸入の輸入総額に對する割合は二八・三%に上る。これ等の織物類のうち綿織物が約半額を占めてゐる。織物に次ぐものは石油類、食料品、鐵及び鋼、機械類等が主なる輸入品である。輸入総額の一一・二%を占める食料品のうち主要なものは食料油、コーヒー、マテ茶等である。

【主要國別貿易】 アルゼンティンの貿易相手國はイギリス、ドイツ、ベルギー、オランダ、フランス、イタリア、アメリカ、ブラジル等、一九三二年においては、輸出入額共にイギリス最も多く、これに次ぐものはアメリカ、ドイツ等である。アルゼンティンは以上の如く原料・食料品を輸出し、完成製品を輸入する農牧業國たる關係上、その貿易相手國が主として歐米の諸工業國にして、中南米諸國との貿易が食料品貿易を主としてゐるのも當然である。

【物 價】 大戦中物資缺乏のため世界的に物價の急激な暴騰を見たが、アルゼンティンにおいても物價は高騰せしめ、他の諸國におけるが如く大戦直後最高記録を示しその後漸落の傾向を辿つたのでなく、上昇状態は一九二五年まで繼續し、その後に至つて始めて漸落の途を辿るに至つた。即ち、別表の如く、アルゼンティンにおける卸賣物價指數は大戦直前一九一三年を基準の一〇〇として見れば、一九二五年には

卸賣物價指數

年 度	指 數
1913	100
1925	147
1929	128
1930	122
1931	118
1932	119
1933	114

註 官廳調査統計に依る。

一四七となり、最高の記録を示してゐる。然しその上昇率は僅かに約五割に過ぎず、他の諸國に比較すれば極めて低い。而も一九三三年に至るも未だ大戦前より物價指數は一割五分近く高く、アルゼンティンの物價の動搖は概して他國に比して小であるといふことが云へる。

【運輸・交通】 一九三二年において、良好な自動車道路六、七三哩、鋪裝されてない自動車道一三三、八六一哩。一九三二年一月の乗客用自動車数は二五七、三九九臺、乗合自動車は三、七〇〇臺、商業用自動車は六九、九二四臺に上る。

【鐵道】 最初の鐵道認可は一八五四年で、一九三二年一月三日には二四、八五八哩、そのうち五、五七四哩は國有、一九二八哩は私有。國有私有を通じて鐵道收入は一九三〇年に二四二、三六一、〇〇〇金貨ペソ。その旅客輸送は一七〇、〇七三、〇〇〇人、荷物取扱ひは四一、六三〇、〇〇〇噸に上る。

【船舶】 一九三二年六月三〇日に至る一年間に、アルゼンティン諸港に入港せるもの一、二〇六、九〇〇噸、出港せるもの一、七、三六四、〇〇〇噸。一九三三年六月三〇日における商船總噸數は三四二、四七七噸(そのうち、汽船二四三、噸數二六七、九〇八)に上る。

【航空】 主として外國會社の援助の下に急速に發展した。旅客及び郵便の航空路はアエノス・アイレスから國內及び國外の諸點へ開かれ、又、パイア・ブランクより南部沿岸への航空路も開かれてゐる。

【通 信】 郵便局の一九二九年における郵便物取扱ひ數は約二、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇、電報數は八、二七九、九二〇通である。

國內電信線は一九三一年に七五、四一三哩。電話交換局數五三七、加入者二五〇、二八六。電話

は聯合リッヰ・プレート電話會社(United River Plate Telephone Co.)及びアルゼンティン電話會社(Compania Telefonica Argentina)の手によつて經營され、兩會社はチリとウルグアイとの連絡もなしてゐるが、これらの會社は國際電信電話會社(International Telephone and Telegraph Co.)に合併された。

無線電信は一九の局あり、アエノス・アイレスとチリ、合衆國及びヨーロッパ間に通常用ひられ、二個の無電會社がある。

國際海底電信は、他のラテン・アメリカ諸國及び合衆國との間を、全アメリカ海底電信(All American Cables)が連絡してゐる。

社 會

今日のアルゼンティンを作り上げたものは、スペインの移住民や土着のアメリカ・インディアンではなく、むしろ英米の資本とイタリアの労働者であつた。しかしながら今日國內の各種の重要事業や政治權力を掌握してゐるものは、概してアルゼンティンのブルジョア階級である。南米のブルジョア階級は、北米のそれの如く自ら努力して富を築いたのではなく、アルゼンティンにおいても、英米の資本によつて急激に土地が開かれて行くと共に、その所有してゐた土地の價格が暴騰して、俄にブルジョアとなつたものであつて、この階級は藪つて都市に集り、大邸宅を設け、ヨーロッパのブルジョア階級を模して贅澤な生活を送り、その子弟は必ず歐洲に留學せしめ、ヨーロッパと四季を異にする中産階級以上は、一年の半分をヨーロッパに過ごすことを一つの理想とさえ考へてゐる。

V 文 化

A 宗 教 ローマン・カトリックが國家の支持を受けてゐるが國教は無く、すべての信仰は默認されて自由を許されてゐる。アエノス・アイレスには大僧正が一人あり、その他に一〇人の副僧正がある。僧侶のために神學校八校ある。一八八八年宗教によらぬ結婚の制度が立てられた。

B 教 育 アルゼンティン政府は傳統的に教育には最も意を用ひてゐる。初等教育は無料で、宗教によらぬ教育が六歳より一四歳までの兒童の義務教育となつてゐる。一九三一年初等學校數一、五五二、教師數五、四八五、生徒數一、四四一、三四八。文部省直轄の中等學校、師範學校及び特殊學校の數は二三二、生徒數八、五九五、州の中等學校二四一、生徒數一、三、七〇九。一九三一年における全國官立學校數四、七八六、教師數二、三三〇、生徒數六、三三八、三〇六。私立學校數一、三六〇、生徒數一、六九、五九八。國立の大學はホルドバ(一六一三年創立、學生數二、七四二)、アエノス・アイレス(一八二一年創立、學生數一、二四二)、ラ・プラタ(一九一二年創立、學生數一、八八〇)、ツクマン(一九一二年創立、學生數六〇〇)、サンタ・フェ(リトラル國立大學、分校ロサリオ一九二〇年)及びブエノス・アイレス(一九二二年)にあり、學生數三、五三三。一九三一年の大學教育費二〇、一七五、三一二紙幣ペソ、他の諸教育費二〇、九、九〇六、九〇三紙幣ペソ。一九一六年においては、投票者のうち無學なるもの三五%であつたが、一九三〇年には二・九八%となつた。また國立圖書館(一九三二年創立)の藏書數は二七六、四七七冊、その定期刊行物は一四九五に上る。

C 藝 術 この國特有なものは發達してゐないが、何事にもあれ藝術の國フランスを模する風があつてフランスのものは忽ち取り入れられ、又、オペラ俳優や音楽家などは、この國が

【中立派新聞】 アルゼンティナ(Arzenina) ヴエノス・アイレス・クラム(Buenos Aires Herald) コリア・ホ・ラ・プラタ(Courier de La Plata) クリチーカ(Critica) ムンド(Mund) ナシオン(Nacion) ノテイシアス・グラフイカス(Noticias Graficas) プレサ(Pressa) ラソン(Razon) ウルティマ・ホラ(Ultima Hora) ロス・アンデス(Los Andes) キャピタル(Capital) エル・オルデン(Hi Orden) 【保守系諸新聞】 フロンダ(Fronda) ディアリオ(Diario) 【社會系諸新聞】 ヴァンガード(Vanguardia) リベルタド(Libertad)

【經濟新聞】

アヴィサドル・ヤーカントイル (Avisador Mercantil) クロニスタ・コンパーシヤル (Crónica Commercial) 【ドイツ語新聞】 アルセンティン日刊新報 (Argentinisches Tagblatt) ドイツラプラタ (Deutsche La Plata Zeitung) 【その他の諸新聞】

ディアリオ・エス・パニョール (Diario Español) フエブロ (Pueblo) ローマン・カトリック系 レパブリカ (Republica) 急進非人攻撃黨 スタンダード (Standard) 英字新聞 ベイス (Paiz) 國民社會黨 プリンシペイオス (Principios) ヴォス・デル・インテリオル (Voz del Interior) 急進系

ティエラ (Tierra) 農業新聞

E 風俗 概して言へばその母國スペインに比して大差はないのであるが、この國の最も大なる特徴は、何事にもあれフランス風を眞似ることであつて、婦人の服装の如きも、丁度四季が逆になつてゐるために、パリの流行は僅か半年の後にそのまゝブエノス・アイレスの流行となり、一般に華美を好み、言語は當然スペイン語であるが、中流以上のものは殆んどすべてフランス語を話す。カーニバルの盛んなこと競馬の流行することなど有名である。カトリック教國であるために離婚は許されてゐないのであるが、今日では隣國ウルグアイは離婚を認める國であるために、この國に來て簡単に離婚をするものが多い。

VI 自然

B 地勢

【山脈】 西方はアンデス山脈の高嶺がチリとの境をなし、同時に太平洋大西洋の分水界をなして、東方は急傾斜をなしてチリの海岸に下るが、東方アルゼンティン側は、緩かな傾斜をもつてラ・プラタ河の沿岸平原に下つてゐる。東北部はチョコと稱して草原と森林の入り交つた地方で、中部はパンパといふ草原をなし、もとの地方は内海であつたものが、次第に陸化したものであり、その南部はバタゴニア高地と稱せられる荒地になつてゐる。

【河川】 その代表的なものはラ・プラタ川 (Rio de la Plata) でアンデス山脈とブラジル高地との間を南流して大西洋に注ぐ。ラ・プラタ河とは、その多くの支流の合流したものに附した名稱である。その他にはサラド河 (Salado)、コロラド河 (Colorado)、ネグロ河 (Negro) 等がある。

【湖沼】 アンデス山系中にある山地湖と平原中にある平地湖とがある。山地湖は風光明媚なるによつて知られ、ナウエル・ウアペ湖、プエス・アイレス湖、サン・マルチン湖等が多いが、その大部分は乾燥期には全く乾上つてその跡を止めない。

C 氣候

長大な地域を占めるので氣候は一様ではないが、北部の一小部分のみが熱帯でその他は温帯に屬し、概して良好で、特に中央部は世界でも有名な良好な氣候である。北部はアンデス山脈とブラジル高原の間に介在するので氣温は稍高く、處々に砂漠的な土地をも見、南部に至る程温度は下り、最南端部にあたるフエゴ島南部は年平均温度八度である。ブエノス・アイレスにおいては、温度最高は一月で平均二三度半、最低は七月で平均一一度、年平均一六度七である。アンデス高地及び最南部では、氷雪を見ることも稀ではない。

面積人口統計

Table with 5 columns: 行政區劃別, 面積 (平方哩), 1914年國勢調査人口, 1933年1月人口概算, 1933年1平方哩平均人口. Rows include Buenos Aires, Santa Fe, Cordoba, Entre Rios, Corrientes, Tucuman, Mendoza, Santiago del Estero, Salta, San Juan, San Luis, Catamarca, La Rioja, Jujuy, La Pampa, Misiones, Chaco, Rio Negro, Chubut, Neuquén, Formosa, Stanta Cruz, Los Andes, Tierra del Fuego, and a total row.

註 括弧内は首府、括弧なきもの首府名は州名或ひは直轄領名と同じ

A 位置

北東はパラグアイ、ブラジル及びウルグアイに接し、北はボリビアに隣り、西方一帯はアンデス山系によつてチリと背を合せ、東方一帯は大西洋に面し、その四極を擧げれば次の如し。極東—西經五三度一七分(サンタ・カタリナ州山地)。極西—西經七三度三〇分(南部山地)。極北—南緯二一度四〇分(ポトシ州境山地)。極南—南緯五五度〇五分(フエゴ島南端)。

雨量は比較的少なく、特に北西部より斜にバタゴニア中部に至る迄が最も少なく全然降雨を見ないところもある。一般には夏季に多く冬季に少ない。ブエノス・アイレスにおいては、三月の月一・二耗最も多く、七月の五六耗が最少で、年雨量は九四〇耗である。

【面積・人口】 アルゼンティン共和國は別表に見られる如く一四州、一〇直轄領、一聯邦區に分けらる。その總面積は一、〇七九、九六五平方哩にして、一九三三年一月現在の人口は總計一、八四六、六五五人に上り、一平方哩の平均密度は僅々一〇・九%に過ぎない。また一九一四年の國勢調査による人口は總計七、八八五、二三七人にして、一九九一年に於て約五割を増加してゐる。

【住民】 アルゼンティンの住民の大部分はヨーロッパ人で、主としてイタリア人及びスペイン人の子孫。土人との混血は少ない。陸軍省の概算によれば、一九三三年一月の人口は一、三、七一二、七四二人で、そのうち外人が二、八二七、九九〇人となつてゐる。インディアンは二〇、〇〇〇及至三〇、〇〇〇人と見積られてゐる。

F 主要都市 聯邦の首府はブエノス・アイレスで一九三二年の人口二、二一四、七〇二。他の諸都市の一九三二年における人口を示せば、ロサリオ四八五、三五四人、コルドバ二五三、一八二人、ラ・プラタ一八二、四〇一人、アウエラネダ二一四、五二一人、ツクマン(一九三〇)一、二五七、七二二人、バイア・ブランカ一〇二、四三〇人、サンタ・フェ一、二五、二九五人、メンドーサ(一九三〇)七六、七八〇人、クイイルメス(Quilmes)(一九二五)三四、四九〇人、ロマス・デ・サモラ(Tomas de Zamora)八〇、三〇〇人、リオ・クアルト八九、六〇〇人、コリエンテス五三、二〇九人、コンコルディア(Concordia)三二、〇一一人、マル・デル・プラタ(Mar del Plata)五〇、〇八四人、サンティアゴ・デル・エステロ(一九二四)二九、一三八人、チヴィルロイ(Chivilcoy)五二、一四八七人、カンディル(Canill)五二、六四七人。

2

ヴェネズエラ

立憲共和國

英・獨・佛 Venezuela

I 歴史概観

一四九八年八月一日コロンブスの第三次遠征の途次発見されて以來永く植民地としてスペインの統治下にあつたが、一七九七年初めて獨立の烽火を見、次で一八一〇年に獨立革命戦争が

起り、翌年獨立を宣言し、一八一三年には南米の解放者と稱せられるシモン・ボリーヴァル(Simon Bolivar)が起つて各所にスペイン軍と戦ひ、一八二一年遂にスペイン軍を大敗せしめてその羈絆から脱したが、初めコロムビア、エタドルの二國との聯合の下に大コロムビア國

を建設せんとしたが、これも遂に分裂して一八三〇年完全に分離して獨立を宣言した。しかしながら獨立後も國內の紛争絶ゆる時なく、五〇幾回の革命を見ながら今日に至つてゐる。

II 政治

A 政治機構 ウェネズエラは一八三〇年獨立共和國となりし以來多數の内亂革命に悩み一九〇一年一〇月以後八ヶ年間シブリアノ、カストロ將軍獨裁權を握にした結果一九〇八年には副大統領フアン・ウイセント、ゴメス將軍(Juan Vicente Gómez)革命により大統領となり國政を刷新一九〇九年憲法改正し一九一〇年以來四ヶ年大統領に就任その後假大統領マルケス、プステイロを経て一九二二年五月三日ゴメス將軍再び大統領に選出せられ、同年六月九日憲法改正、六月二四日新憲法發布し一九二二年より一九二七年迄大統領に就任し退任の時陸軍總司令官(Commander-in-Chief of the Army)として陸軍大權を掌握してゐた。しかるに一九三一年四月軍人革命勃發するやゴメス三度び大統領に推され、議會は一九三一年六月四日大統領ペレス(Perez)へ辭職を勧告し直ちにゴメスを大統領兼陸軍總司令官に選出した。現行憲法は一九二九年五月に施行せられ、一九三一年七月七日の修正を経てゐる。共和國の執政權は大統領の權限に屬しその任期は七ヶ年にして議會によりて選出され大統領たるには三〇歳以上のウェネズエラ人たることを定む。ウェネズエラは聯邦共和制を採用し、ウェネズエラ合衆國(Estados Unidos De Venezuela)と稱す。【大統領】フアン・ウイセント、ゴメス將軍(General Juan Vicente Gomez)第一次一九〇九—一九一五年、第二次一九二二—一九二九年の大統領を経て、一九三一年六月九日三度び選

出せられ、同年七月一日就任す。その任期七ヶ年とする。

【首府】カラカス(Caracas)

B 行政 國會の選舉する大統領が行政權を執行する。行政部は大統領の下に外務、内務、大藏、軍務、土木、教育、労働、保健農業の八省に分けられ、大統領の任命する各大臣によつてそれぞれ省務が分掌される。ゴメス大統領の下に一九三一年七月一日に組織されたる現内閣員の顔觸は次の如し。

- 内相 ティノコ(P. R. Tinoco)
外相 イトリアホ・チャミン(Iringo Chacín)
蔵相 ロンサルカ(E. Gonzalez)
陸海相 ロペス・ロドリゲス(E. Lopez Contreras)
土木相 ロヤ・アルティネス(R. Cuyana Martinez)
労働相 ヴェラ(L. Velez)
保健農業相 トム・アルファロ博士(Dr. A. Toledo Trujillo)

C 立法

立法權は上下兩院よりなる國民議會(Congress Nacional)にある。上院(Camara del Senado)は四〇名よりなり、任期三ヶ年にして各州より二名宛の割合をもつて選出され三〇歳以上のウェネズエラ人たることを要す。下院(Camara de Diputados)は八五名の議員よりなりその任期三ヶ年にして議員たるには二一歳以上のウェネズエラ人たることを要し三五、〇〇〇人に一名の割合にて選出され、それより一五、〇〇〇人増加毎に一名を増して選出される。三五、〇〇〇人以下の州も議員一名、法定人口を有する地方も又議員を選出し得る。【現議會】上下兩院とも一九二七年二月に選舉されたものにして、その任期は三ヶ年なる

により一九三〇年には改選する筈なるも、そのまゝ延期されて、現在に至る。上下兩院とも議長は一ヶ月毎に變更される。現議會においては上院は四〇名、下院は八一名の議員を以つて構成される。その勢力關係は組織的政黨存在せず、従つて議會は現政權によつて完全に左右されてゐる。

D 司法

司法部は議會の選出する任期七年の判事七名を有する聯邦大審院(Federal and Cassation Court)によりなり、これは國內を七つに區分し各區に一名宛あることになる。聯邦檢事總長の任期は三ヶ年、各州は又高等法院、第一審裁判所、區裁判所、市裁判所を有す。各州の裁判官の任期は三ヶ年。

E 地方行政

各州(State)は自治制を與へられ、政治上均等である。州には立法議會あり州議員は大統領及び各州憲法によつて選出される。州は又一五〇の區(District)及び五九八の市町村(Municipality)に分たれる。而して各區には市會(Municipal Council)及び市評議會(Municipio a Communal Junta)あり、聯邦區及び州は大統領の任命にかゝる知事(Governor)之れを治む。

F 政黨

ウェネズエラには議會制度が行はれ、大統領は議會によつて選出されてゐるも、事實上、大統領としての個人の權力大にして、政府の權限は著しく中央集權化され、議會はその順使するところとなつてゐる。従つて一九二七年以來議會の任期は兩院とも三ヶ年なるも總選舉行はれず、而も組織的政黨發達せず、議會内のプロック的對立も何等政見政綱の對立にあらざるため、政府は議會に對して絶對的支配力を持つてゐる。

G 外交

ウェネズエラは國土尠大なるに比し人口極めて稀薄にして外國人の植民を歡迎

す、政府においては植民法を制定し或は國有地法を定め、外人にして同國に定著し土地開拓をなす者には無償にて土地を讓渡し種々國內開發の爲に植民の便宜を計つてゐる。日本とは既に明治末期から通商修好條約の問題は姐上につてゐたが未だ調印を見るに至つてゐない。しかし一般に東洋人の入國禁止あるに拘はらず獨り日本人へ對しては法令上除外令を設けてゐる。

H 國防

一九三三年七月の公布條令によれば全ウェネズエラ人にして二一歳以上の者は三ヶ年間現役服務義務がある。四五歳迄は豫備役義務がある。常備軍は九步兵大隊、一騎兵聯隊、一山砲聯隊、六海岸防備砲兵隊、及び之等に附屬の技術部よりなる。またウェネズエラの海軍は二巡洋艦、四砲艦、一運送船、一病院船、一曳船、一通報艦、一帆船よりなる。また陸海軍大學及び飛行學校あり、士官の養成に當る。

III 經濟

A 財政

Table with 3 columns: Year (年度), Income (歳入), and Output (歳出). Data for years 1929-30, 1930-31, 1931-32(1), 1932-33(1), 1933-34(1).

ウェネズエラの財政は極めて良好である。一九三〇—三一年度を除く外、最近の同國の歳出入状態はすべて歳入超過になつてゐる。その歳入の主要なるものは、輸入税、釐物、煙草收入、酒、印紙税

である。憲法によつて、聯邦歳入の二一%は、内務省の獨占とせず各州及び各直轄領に割當てられる。その額は一九三三—三四年において二〇、四七一、七四五ポリーヴェアルである。【國債】一九三〇年二月一日、「自由の父」シモン・ボリーヴェアル(Simon Bolivar)の百年忌にあたり、一切の冗費を廢し、二三、七五七、六三四ポリーヴェアルの外債は完全に償却し、世界中外債を有せざる唯一の獨立國たるに成功した。尙、一九三二年二月三日における内債は二二、七〇〇、四六〇ポリーヴェアルである。

B 銀行

ウェネズエラ銀行(Bank of Venezuela)は拂込資本一八、〇〇〇、〇〇〇ポリーヴェアル、一九三二年六月三日における剰餘金及び配當されざる利益金一三、三三〇、六九七ポリーヴェアルあり、政府資金の唯一の金庫となつてゐる。通貨統制權は一九三〇年に與へられた。その他にカラカス銀行(Bank of Caracas)拂込資本四、五〇〇、〇〇〇ポリーヴェアル、一九二九年六月三日における剰餘金及び配當されざる利益金二、九一九、五四九ポリーヴェアル、マラカイボ銀行(Bank of Maracaibo)資本金一、二五〇、〇〇〇ポリーヴェアル、トラカイボ商業銀行(Commercial Bank of Maracaibo)資本金四〇〇、〇〇〇ポリーヴェアルなどあり、イギリス、アメリカ、オランダの銀行支店がある。半官の小抵當銀行が二行一九二九年に設立されてゐる。紙幣發行權は國立銀行六行に限られ、拂込資本の二倍までの兌換紙幣發行權が許されてゐる。發行銀行は月々貸借對照表を發表し、準備金の三〇%は金を保有しなければならぬことになつてゐる。

C 貨幣

貨幣單位はポリーヴェアル(Bolivar)で、純金〇・二九〇三三グラムの價値に等しく、九・五ペンス或ひは一九・三セントに等し

〇〇、産額は一九三二—三三年に二三、三〇〇噸(そのうち輸出は六、〇〇〇噸)。綿の産額は七、五〇〇、〇〇〇キログラムで、全部地方の消費にあてられる。養蠶も初められてゐる。

【畜産業】家畜の数は牛二、〇七七、六八四頭、羊一一三、四三九頭、山羊二、一五四、七一六頭、馬一六七、七〇八頭、騾馬五四、五六五頭、驢馬二〇〇、四三九頭、豚五一、〇八六頭。一九三二年における獣皮の積出しは一、六八九メートル噸。

【水産業】ヴェネズエラにおいては一般の漁業は餘り盛に行はれてはゐないが、真珠の産出を以つて有名である。マルガリタ島及び附近の島嶼において、真珠の採取が政府の手によつて行はれてゐる。同地産の真珠はマルガリタ真珠としてその美しいバラ色によつて、世界市場において珍重がられてゐる。

【鐵業】金屬及びその他の礦物多く、又今日世界第二の石油産出国で、その産額は一九三二年に一九、五九六、五一三樽(輸出一一三、〇〇一、三六一樽)、一九三三年には約一九、〇〇三、七一一樽。唯一の困難は交通の不便といふことである。ヘルムデス湖(Bermudas)のアスファルトは(一九三二年の産額二八、九八五噸)アメリカ合衆國に輸出される。主要な金銀山はシウダッド・ボリーバル(Chadad Bolívar)の南東地方にあり、一九三二年の産額は九一、四八八オンス、輸出額は四〇、〇三八オンス。銅礦の一九三〇年の産額三、二九四メートル噸。マグネサイトはマルガリタ島(Margarita)島でアメリカの會社が採掘してゐる。石炭はアラルコン州(Alarcón)コロ(Coro)及びナリクアル(Naricuaná)に産する。鹽坑は多くの州にあるが現在は政府によつて採掘されてゐる。

最近の輸出入額 (單位ボリーバル)

Table with 3 columns: Year (年度), Import (輸入), Export (輸出). Data for 1928-1932.

その輸出において最も重要なのは石油にして輸出總額の約七五%を占め、コヒーは一七%を占め、その他のものも主として鐵産物及

ず、製造の原料は殆んど全部輸入に仰いでゐる。紡績工場はヴァレンシア(Valencia)、カラカス(Caracas)、マラカイ(Maracay)、クマナ(Cumaná)にあり、織物を造つてゐるが、これらはマシナスターから原料を輸入して廉價品を製作するのである。カラカスにはセメント工場及びガラス工場がある。電力は大い都市に於ては使用し得る。

【外國貿易】ヴェネズエラの外國貿易は年々多額の輸出超過を見てゐる。殊に世界經濟不況以來、同國の輸入額は著しく減少せるも、輸出は殆んど減少を見ず、一九三二年の如きは輸入は一億五千萬ボリーバルであるに、輸出は六億二千萬ボリーバルにして、約四倍に當つてゐる。これを一九二九年の輸出入額に比較するに、輸入においては三分の一に減少してゐるに對して、輸出においては僅々一割強の減少を見てゐるに過ぎない。最近の經濟界の世界的不況のため、各國の貿易額が激減し、悪化の途を辿つてゐる際、同國の貿易界の好調はその經濟的基礎の極めて確固としてゐることの證據となつてゐる。

【農産物】が農産物が多く輸入品は加工品が多く、同國消費の工業製品は多く輸入に仰ぐ。【運輸・交通】一九〇九年以來道路建設は著しく増加し、現在四季を通じて運輸に使用し得る道路約三、一〇〇哩、夏季のみ自動車運輸に堪え得るもの一、八六〇哩ある。一九三三年における自動車数は一五、〇五〇臺、そのうち、乗用自動車九、七三〇臺、乗合自動車五、五〇臺、荷物自動車三、七九九臺。【鐵道】主要鐵道は一二線あり、そのうち六線は國內、六線は外人所有で、外人所有の線の方が遙かに重要な役割を務め、五線はイギリス、一線はスペインに屬するが、この一二線の全長は一九三三年に六〇八哩である。尙その上に各石油會社所有のもの六二哩ある。カラカス(Caracas)の電車は英人會社の經營である。【船舶】外國船は沿岸貿易に従事するものは許されてゐないが、特に許されたもの及び政府と契約してゐるものは別である。ラ・グアイラ(La Guaira)が主要港であるが、大洋航行の船の入港には不充分である。一九三二年國內各港に入港せる船舶は一、六九六隻、三、五九七、四四六噸、出港船舶は七、二三九隻、一〇、六九九、八五九噸。國內の水運は夏期においては、河川五一、水道二〇において航行し得る距離約一一、〇〇〇哩あり、カヌー乃至小ランチの航行し得るところ四、四六〇哩ある。オリノコ河(Orinoco)は吃水一ニフイットまでの舟ならば、その全長の半ばまでは航行し得る。ヴェネズエラ航海會社(Compañia Venezolana Navegacion)が各河川及びその支流並にマラカイボ湖の航行を事實上獨占してゐる。【航空】國內各地間及び國外に達する定期航路が一九三〇年に設立され、毎週輪送を行つて

【通信】電信線は、一九三二年において六、五八四哩、電信局二四七。電話系統は主要都市に一一あるが、各都市全部は未だ連結されてゐない。無線電信局はカラカス(Caracas)、マラカイボ(Maracabo)、マラカイ(Maracay)、其他六ヶ所であり、マラカイの電信局はニュー・ヨーク及びベルリンに通じてゐる。また郵便局は一九三二年現在に四四七を數ふ。

III 社會・文化

南米のうちにあつても特に政争の激しい國であるが、スペイン人を主とする少數の白人種系のものが國の支配權を握り、混血族が中間層をなし、インディアン及びネグロが下層階級を形成し、期せずして國內は三つの層に分れてゐる。國內政争が主要原因となつて、社會施設、衛生設備など未だ充分な發達を見ず、概して國民は不幸不安なる生活を續けてゐる。

【宗教】ローマン・カトリックが一般に行はれてゐるが、他の宗教の自由も與へられてゐる。大僧正はカラカス(Caracas)とメリダ(Merida)に駐在し、カラカスの大僧正がヴェネズエラの大監督である。その他に六名の副僧正あり、初等學校にあつては宗教教育は特にその父兄が要求する兒童にのみ與へられる。

【教育】初等教育は無月謝で、七歳から小學課程を終るまでは義務教育である。一九三三年における公立小學校数は二、一八〇、教師三、三四二名、生徒数は若干の私立學校をも含めて四二一、〇三五五人。中等學校は公立私立を合せて四七校、教師三六〇名、生徒二、〇四〇人。高等教育のためにはカレタ四校あり、二校は首府カラカスにあつて官立、他の二校は私立でマラカイボ及びメリダにあり、哲學及び文學、物理、數

學及び自然科學、醫學・政治學・神學、齒科及び藥學、の各科に分れてゐる。最も主要なのはメリダにあるロス・アンデス大學(University of Los Andes)(七科あり)及びカラカスにある中央大學(Central University)(一九三二年の學生數一、〇九六名)である。政府はその他に特殊教育のために各種の學校を經營してゐる。【新聞】ヴェネズエラ的主要新聞は同國の文化の中心地たる首府カラカスにおいて發行される。その主なるものは El Esfuerzo, Herald, Nuevo Diario, Región, Sol, Universal の六紙である。またカラカス及びバルキンメントにおいては Impulso が、マラカイボにおいては Información が發行されてゐる。その他、週刊 Biliken, Elite, 月刊 Cultura Venezolana, Noticias 等がカラカスにおいて發行されてゐる。【風俗】都市に住む白人の子孫及び混血族の風は一般にスペインの風俗を持ち、ラテン民族の性情を持つてゐるが、近時次第にアメリカの影響が強くつてゐる。しかしながらこれらの文化に溶するものは都會地に住む人々であつて、土人は今尙じめな生活を續けてゐる。國語はスペイン語であるが、土人間には彼等特有の言語がある。

道となつて更に南に膨れてマラカイボ湖となつてゐる。國內は地形上三地带に分けられ、第一はギアナ高地地帯でオリノコ河の南東に位し、ブラジルの國境にあるパリア山脈、バカライマ山脈は北上するに従つて高度を減じて、オリノコ平原に續き、第二は國の中央を東西に貫くオリノコ河の流域に當るオリノコ平原地帯で、第三は國の北西及び北部に亘る高山地帯で、コロムビアのアンデス山脈の一支脈として東に延びて北上し西印度諸島へ至るもの一部に屬する。この山脈(ヴェネズエラ・アンデス)の最も高い部分はメリダ山脈地帯で數個の山は何れも雪線を超え、北東に延びて海岸線に沿つて走り、急斜して海岸に下つてゐるのでこの沿岸にはラ・グアイラ港以外には港がない。高度は平均一、五〇〇メートルで尙東走してパリア半島にまで及んで海中に没し、再びトリニダード島として現はれてゐる。南東部のギアナ高地はメリダ山地の如く高くはなく、オリノコ河の南方からアマゾン平原に至るまで一大高原の形をなしてゐる。高度は二、〇〇〇乃至三、五〇〇メートルである。尙第三の高山地帯の別地域としてマラカイボ盆地がある。河川は殆んど總べてオリノコ河(Orinoco)及びその支流へ注ぐもので舟運の便は多い。

A 地理 南アメリカ洲北部の共和國で、西はコロンビアに、南はブラジルに、東は英領ギアナに接し、北方一帯は大西洋に面してゐる。海岸線は南米に珍らしく出入多く、延長約一、五〇〇キロ、多くの島嶼があり又深い湖灣もある。北東のトリニダード島は英領であるが、それから西に點々と諸島がならび、西境にはコロムビアのゴアツラ半島との間にヴェネズエラ灣(マラカイボ灣)が深く南西に入り込み、一旦水

B 氣候 南米の多くの國と等しく、その土地の高度によつて氣候異り、海拔七〇〇メートル以下の地は熱帶氣候で年平均温度二五度内外で不健康地である。これより海拔二、〇〇〇メートル附近までは温帶的氣候で、年平均氣温一八度内外で健康地、嚴寒季は一二月乃至一月であるが平均氣温一五度程度、最も暑い四・五月においては平均二五度程度で、四季を通じて氣温の變化少なく、降雨は一般に四月より一〇

月に多くこの期間を雨期と稱し、他の季節を乾期と稱してゐる。二、〇〇〇メートル以上の土地は寒帯氣候で、メリダ山脈の高地がこれに屬する。

住者一〇、五二〇人あつたが、一九三二年一月三日の推計によれば三、二六七、七三四人で聯邦區の人口二〇八、五七九人。

グアイは大統領を國の元首とする立憲共和政體を採用して來た。同國の最初の憲法は一八三〇年七月一八日に發布されたものであるが、一九一九年の新憲法により新しい組織が採用された。即ち、行政權は大統領に屬し、その下に内閣に相當する國民の公選による中央行政會議が設けられ、その掌にあつてゐた。然るにこの憲法は政治的平和のために作成されたものであつたが、一九三三年の經濟的危機に直面して、この憲法がこれを切り抜けるにむしる妨害となり、一九三三年三月三日大統領テラはクー・デターを行ひ、行政會議を逮捕し、議會を閉鎖して、九名よりなる行政會議(Turba)を組織し、この議員は二大政黨より選び、中央行政に關して大統領を補佐せしめることとした。テラ大統領は同時に、各種の政治團體から成る九名の審議會(Deliberative Assembly)を任命した。一九三三年六月二十五日に新憲法起草に關する二八四人より成る憲法會議の選舉が行はれ、この會議は八月二五日のウルグアイ獨立記念日に開催され、この會議に對して、三分の二の多數によつて新政體による第一回大統領選舉の權限が附與された。

3 ウルグアイ 立憲共和國

英・獨・佛 Uruguay

I 歴史概観 この地はもと未開の土人が住つてゐた土地であつたが、一五一六年スペイン人フアン・ディアス・デ・ソリスに發見されて以來、次第にスペインの植民地となつて開發されて來たが、一九世紀に到つて獨立の氣運溢り、ブラジル、アルゼンティン等の強敵の間に挟まれながら、南米解放運動の先驅者としてウルグアイ獨立の祖アルデイクスに率ひられて遂に一八二五年八月二五日獨立を宣言し、アルデイクスは戦ひ敗れてバラグアイに客死したが、獨立は一八二八年八月

月二七日、アルゼンティン、ブラジル、ウルグアイ三國のリオ・デ・ジャネイロにおける條約調印によつて認められた。續いて一八三〇年七月一八日憲法の發布を見て、こゝに完全な獨立共和國となつたが、その後國內の政争絶えず、徒らに政治的混亂を續け、今世紀に至つて漸く國內の動亂も靜まり、政治も常態に復しつゝあつたが、一九三三年三月三日再びクー・デター起り、日下新憲法の起草中である。

【大統領】 ガブリエル・テラ博士 (Sector Dr. Gabriel Terra) 一九三〇年一月コロラド黨候補として當選、翌三一年三月一日就任、任期は次期大統領選舉の一九三五年二月二十八日とする。

議會は國民の直接投票による。大統領は外務、陸海軍、内務の各大臣を任命し、これら各省の最高統制に任じ、參議會は大蔵、公務、工業、文部の各大臣を任命し、これら各省の統制權を持ち、且つ毎年の豫算を提出し、財政の適當なる處置に關して大統領に獻言する。

以上の一九一九年の憲法による規定であるが、一九三三年の大統領テラのクー・デター以來、中央行政會議は閉鎖され、大統領の任命による九名の委員より成る行政會議を組織し、國政に關して大統領を補佐せしめることとなり、斯くて大統領の權力は著しく増大し、獨裁者たる位置を獲得するに至つた。現内閣はコロラド及びブランコの二大政黨の領袖より大統領の任命にかゝるもので、その顔觸は次の如し。

【現議會】 一九三三年三月、テラ大統領のクー・デターによつて議會は閉鎖された後、當分新憲法を審議する暫定的機關として九名の議員より成る審議會(Deliberative Assembly)が各黨派より大統領によつて任命された。その後、一九三三年七月二十五日に至り、新憲法を起草すべき憲法會議(Constituent Assembly)が選舉された。以上の審議會及び憲法會議の議長、また兩院における各政黨の勢力關係は次の如し。

- 外相 フォカ・アルテアガ (José Artigas)
- 国防相 フョール(Puyol)
- 文相 オタメンキ(Oramendi)
- 内相 マルティネス・サト(Martinez Thy-dy)
- 産業相 バド(Bado)
- 保健相 ブランコ・アセヴェド (Blanco Acevedo)
- 労働相 シャローネ(Charlone)
- 土木相 バトロン(Patron)
- 藏相 マニリオス(Manirios)

- 憲法會議議長— Juan Campeseguy
- コロラド黨 一五一名
- 内閣、バトリスタス派 九三名、リウヰリスタス派 二八名、傳統主義派 一六名、急進派 一三名、統一コロラド派 一名
- ブランコ黨(ヘリススタス派) 一五名
- カトリック黨 二名
- 共産黨 六名
- 合計 二八四名

D 司法 高等法院は國會兩院によつて選ばれる五名の判事より成り、院長は毎年判事の互選によりて決定される。この法院においては、憲法、國際、海軍の諸事件に對する原審をなし、他の控訴院からの上告事件を取扱ふ。控訴院は三個所にあり判事三名より成る。首府モンテヴィデオには通常の民事裁判所三、商事裁判所一、政府裁判所(Juzgado de Hacienda)あり、その他に數個の刑事裁判所、懲治裁判所がある。各縣の首府には縣裁判所があり、共和國內を二二〇の地方裁判區に分ち、各地方區には各々治安裁判所あり、地方區は再び區に別れ、各區には代理判事(Aleladas)がゐる。小事件を取扱ふ。一九〇七年九月死刑は廢せられて、これに代ふるに三〇年乃至四〇年の體刑を以つてすることとなつた。

一九三〇年一月の共和国大統領選挙におい...

リウネスタ派を含むコロラド派の多数派は...

【ラントコ黨】同黨の多数派を占めてゐる...

黨領袖—Dr. Luis Alberto Herrera

【陸軍】ウルグアイの陸軍は少...

【空軍】陸軍飛行学校には一九三二年に使用...

機二一臺あり、同校には専属の製作場と技師あ...

最近の歳出入 (單位金貨ペソ)

Table with 3 columns: 6月30日に移る年度, 歳入, 歳出

内負債には累年の豫算不足確一九、二八二、九三...

國內の銀行数二一、一九三三年三月三十一日...

はペソ・オロ(Peso oro)と稱し、重量一六九七...

【度量衡】ウルグアイにおいては、一八六二年...

葡萄酒は主としてモンテヴィデオ(Montevid...

【工業】電気の供給は、燈火、動力、牽引、...

最近の輸出入

Table with columns: 年度, 輸入(イ), 輸出. Data for years 1928-1932.

注 (1) 官廳發表價格は 1923 年以來暫々變改されて...

最近の日ウ貿易額

Table with columns: 年度, 本邦より出, 本邦への出, 出超. Data for years 1929-1934.

果同行の結... 進行の結... 準備の結...

社會・文化

る。三二年におけるその主要輸出品は家畜類...

月一八日カストロ外務次官立會の下に發會式を...

船數八、四八八隻、一〇、七二九、四三九噸。河川...

主要新聞紙

Table with columns: 新聞名, 黨派別. Lists newspapers like Bien Público, Debate, etc.

註 以上すべて首府モンテヴィデオにて發行されて...

アに對する反抗も極めて弱く、階級意識の自...

一九三二年における國家の教育費支出六六六...

イム河。極南—南緯三五度〇〇分、大西洋岸...

V 自然

南アメリカ南部の小共和國で北及び東北は...

【人口・住民】一九三二年一月一日における...

口は一九三二年二月三十一日現在、總計六六二、一七〇人。その他の都市では、ハイサンデ(Playa San)が二六、〇〇〇人、サルト(Salto)が三〇、〇〇〇人、メルセナス(Mercedes)が二二、〇〇〇人になる。

4 英領ギアナ

英 Guyana, 英 Guyana, 英 Guyana

I 歴史 ギアナの海岸は一九九九年に初めてオエダ及びヴェスプッチによって発見されたが、そもそも南米大陸が発見されるや、その最も豊饒にして無盡蔵の資源であると想はれたのは實にこの地方であつて、金銀が充ち溢れてゐると物語めいて傳へられた所謂「エル・ドラド」なる都は、オリノコ川を遡つた奥地にあると稱せられ、ヨーロッパ人はこの黄金郷エル・ドラドを求めて續々と探検に押寄せた。一六世紀末から一七世紀にかけて、英人サー・ウォーター・ローリーが三回に互つてギアナを探検し、英領ギアナを獲得したが、最初にこの地に植民地を作つたものはオランダ人で、一六世紀末には既にエッセキボ河の流域に植民地を作り、ついで一六二一年にはオランダ西インド會社が設立されて大いに活動し、その後種々の變遷あり一七九六年まではこれを保持してゐたが、この年イギリス人に掠奪され、遂に一八一四年のロンドン協約によつてイギリス領と確定されるに至つた。

II 政治 行政は知事と行政會議(Executive Council)が司り、立法會議(Legislative Council)は、議長として知事があり、その下に官吏議員一〇名、非官吏議員一九名がある。司法は民法、刑法共に多少の例外を除く外は殆んど英本國の法規に基いてゐる。法律的には絶対に男女同權が認められてゐる。

最近の歳出入

(單位ドル)

年 度	歳 入	歳 出
1928	1,185,811	1,159,139
1929	1,252,322	1,125,218
1930	1,013,282	1,093,304
1931	916,939	1,075,983
1932(1)	1,024,581	1,041,123

註 (1) 1932年の数字には本國政府よりの植民地開發資金その他の歳出入を加算せず。

【知事】サー・エドワード・ブラディス・デンハム(Sir Edward Brandis Denham)。一九三〇年一月任命、一九三〇年六月着任。
【首府】ジョージタウン(Georgetown)、人口一〇、八二五。
【經濟】【財政】一九三二年の主要歳入は、關稅四九三、五七五ポンド、國內消費稅及び特許稅一九五、八二二ポンド。歳出の主要なもの、一般行政一〇六、七九七ポンド、司法一七、二七九ポンド、慈善一六六、二四〇ポンド、教育八四、一一一ポンド、土木七六、六二一ポンド、郵便、電信五〇、五一七ポンド、科學農業二四、七二七ポンド(長期)は一九三二年末において四、四九〇、五八〇ポンド。郵便貯金は一九三二年末に預金者三四、四四一人、貯金額三一、九二、二八八ポンド。

【貨幣】計算はドル及びセントによる。通貨はイギリスの金貨、銀貨、銅貨及び地方には四ペニの銀貨がある。アメリカ合衆國の金貨も流通し法貨とされてゐる。紙幣はカナダ國立銀行(Royal Bank of Canada)及び植民銀行(Colonial Bank)で發行し、五、二〇及び一〇〇ドルがあり、又政府發行の一及び二ドル紙幣あり、後者の一九三二年末の流通額は一〇四、一六七ポンド。
【産業】農業——耕作地一八五、三六八エーカーあり、他に森林地帯六四、七八〇平方哩、耕作地のうち、甘蔗六二、九〇五エーカー(一九三二年産額一四八、六三四噸)、米七三、四五三エーカー(一九三二年産額約五〇、八六九噸)、コ、ナツト二三、三〇一エーカー、コーヒー一五、八〇〇エーカー、カ、オセチエーカー、ゴム八八〇エーカー、ライム(Lime)七八七エーカー。
畜産業——一九三二年家畜の数は、牛一八六、一七五頭、馬四、三六二頭、羊三二、七九九頭、山羊一五、三五五頭、豚一七、七九九頭、驢馬七、四八六頭。
鑛業——金及びダイヤモンドが多い。金の産額は一九三二年に一五、一七〇オンス、價額六四、六三四ポンド。ダイヤモンドの産額は一九三二年六〇、一八五カラット、價額は一八、八六五ポンド。尙その他にはマンガン鑛、雲母、石油、鐵礬土(Bauxite)等埋没されてゐる。
【外國貿易】一九三二年の主要輸入品は、麥粉、綿製品、煙草、機械、肥料、魚類、石灰、金物、家具類、石油、肉類、木材、酒類、靴、パタゴム、木炭、木村、米、ダイヤモンド、金等である。貿易國はイギリス本國、カナダ、アメリカ合衆國等が多い。
【交通・通信】道路は自動車道路五〇〇哩、

最近の輸出入額

(單位ポンド)

年 度	輸 入	輸 出
1928	2,632,511	3,271,108
1929	2,215,715	2,556,571
1930	1,971,967	2,222,397
1931	1,595,203	2,010,462
1932	1,690,591	2,208,901

註 金塊及び貨幣をも含む

馬道一七哩、小徑四九七哩、鐵道七八哩、河川航行四五哩、運河三九哩。一九三二年の入港船舶は、四二、四〇三隻、總噸數一、五〇五、七一七噸。一九三二年末郵便局數七三、電信局五〇、電信線三三三哩、電話機數一、九二〇。首府ジョージタウンには無線電信局あり、又汎アメリカ航空會社(Pan American Airways, Inc.)が航空無線電局を持つてゐる。

III 社會・文化

イギリス植民地として、その政治的・經濟的支配を受けてゐることは一般植民地と變りはない。住民を見ればイギリス人、オランダ人等のヨーロッパ人、ニグロ及びインディアン並びにインド移民あり、白人が社會的勢力を持つことは言ふまでもない。職業的に見れば、農業及び工業に従事するものが多い。文化は一般に甚だしくおくれ、且つ住民が雜多であるためにその風俗習慣も又まちまちである。又衛生設備の不完全及び衛生思想の缺乏は、熱帯的氣候と相俟つて、種々熱帯性病の蔓延をまねかれず、黃熱病その他の傳染病が猖獗する。現在においては未だ荒涼落漠の蠻境と言はざるを得ないが、イギリス政府もこの地の開發には意を用ひてゐる。今、政府が補助金を與へてゐる學校數を見るに、一九三二年において一七八校(補助金六六、五一三ポンド)、生徒數四二、九七

六人、教師數九八八名である。

V 自然

ギアナの最西に位し、東はオランダ領ギアナに接し、南及び西の南半分はブラジルに接し、西の北半分はヴェネズエラ國に隣り、北方一帯は大西洋に面し、北は北緯八・一五度、南は〇・五〇度、東は西徑五六・三〇度、西は六一・五〇度である。西及び南には山地を繞らし、南境のアカライ山脈(Akai)が最も著しく、南北兩斜面の分水嶺に當り、これよりダルミア山脈(S. Dalma)が北西に走つてゐる。全土は殆んどエッセキボ河(Esequibo)の流域に當り、同河は國の南境山地に發して北流し、河口は喇叭狀をなして數多の高嶺を擁し、河口近くで支流と合はれてゐるが、本支流共に瀑布が多い。又東部にはオランダ領ギアナとの國境をコレンティン河(Corentyne)の急流が走つてゐる。

5 エクアドル

英 Ecuador, 英 Equateur

立憲共和國

三〇年には更にこのコロムビア國が分裂し、エクアドルは獨立國となつた。

II 政治

A 政治機構 現行憲法は一九二九年三月二六日の制定にかかり、大統領は四ヶ年の任期を有し人民の直接投票によつて選出せられ次期再選を許さない。副大統領はないが、大統領空位の場合は内務大臣執權を代行することが規定されてゐる。憲法は階級種族の特權を許さず、

I 歴史概観

この地は古くキト・インディアン(Quito Indians)が國を建設してゐたところであるが、後インカ帝國のために併呑され、十六世紀の初めにスペイン人の探検隊のためにインカ帝國が亡びると共にスペインの植民地となつてゐるが、一八二二年獨立し、舊キト王國の地方はコロムビア國の一部となり、ヴェネズエラと共に一つの聯邦國を建設せんと試みがなされたが、一八

José de Siqueira と稱され、純金〇・三〇〇九三三グラムを含むことになつてゐる（以前のものは〇・七三三二四グラム）、一〇〇セントタウオ（Centavo）に分けられてゐる。金貨は所謂コンドルス Condors（二五シユクレイ）、純金七・五二三三二五グラムを含む）及びダブル・コンドルス double condors（五〇シユクレイ）の二種が鑄造されることになつてゐる。銀貨は二シユクレイ（純金七・二グラム）、一シユクレイ、〇・五シユクレイ、ニッケル貨一〇、五、二、五の各セントタウオ（Centavo）、銅貨一セントタウオあり、中央銀行の紙幣五、一〇、二〇、五〇、一〇〇の各シユクレイがある。

荷エタドルには造幣局なく、貨幣はイギリス及びアメリカで鑄造される。

D 度量衡 一八五六年二月六日の法律によつてメートル制が採用されることとなつてゐるが、商業上には採用されず、むしろスペインの度量衡が一般に用ひられてゐる。

E 生産 【産業大観】 エクアドルは二つの農業地帯に分けられる。一つは海岸地方及び低部河流域で、平均温度二度程度で、亞熱帶的農業が行はれ、他は丘陵地方、山麓地方、山岳流域で、平均温度一六度で、牧場、酪農場、及び穀類、馬鈴薯、果實並に氣候に的する野菜の栽培に使用される。

【農業】 同國の面積中僅かに一一、四八〇、〇〇〇エーカーのみが農業の耕作地に使用され、年産額約四一六、〇〇〇、〇〇〇シユクレイである。主要産物はコ、ア、その産額は一九三一年に二八、三一八メートル噸（輸出一四、六三四メートル噸）、一九三二年に三〇、〇四七メートル噸（輸出一五、四四二メートル噸）で、全輸出価格の約三〇%を占めてゐる。その他にコーヒー（一九三二年の輸出高八、〇二七、三八

五キログラム）、米（一九三〇年の收穫九〇七、八〇七キントナル）の産あり、綿及び砂糖の耕作には相當な注意が拂はれてをり、象牙椰子の實は多く輸出され、パンヤ綿も少量輸出される。

【林業】 アンデス山脈間の高原及び僅かな羊毛の地を除いては國內に多くの森林あり、太平洋斜面には海岸からアンデス山脈五、〇〇〇フィートまでの地一〇、〇〇〇平方哩、アマゾン流域には同高度以下の地八〇、〇〇〇平方哩が森林地帯で、殆んどすべて處女林であり、染料材、規那樹その他の高價な木材あり、「バルサ材」(Balise wood)はその高さと強さで有名で、廣く飛行機材として用ひられてゐる。野生ゴムも多量が東洋のゴム樹栽培に壓せられてゐる。マンガローウの樹皮も少量輸出される。

【鑛業】 金の産出多く、一九三二年にはシアシ化金銀一四、五四五キログラム、價格にして六、七八三、二九九シユクレイが輸出された。石油も多く、一九三二年には一、五四九、七八四樽を産し、探掘許可の面積二四、四一九エーカーに及び、場所はサンタ・エラナ半島(Santa Elena)である。その他の鑛物には銀、銅、鉛、石炭、硫黄等である。鹽は一九二七年一月から政府の專賣になつてゐる。

【工業】 ヒビハバ(Hibidapa)と稱されるバナナ朝はトキラ(Togilla)の産で作られるが、エクアドルはその大産地で、中心地はヒビハバ(Jipijapa)、モンテクリスタ(Monckrist)、タバンコ(Tabancho)、クアンカ(Cuenca)である。政府はその朝子製造を自國民の專賣にしようとして、その原料の輸出に重税を課してゐるが、尚ベルギーに輸出され、ベルギーと日本がこのバナナ朝製造の競争者となつてゐる。一九三二年の輸出額二、七四、九〇三シユクレイ。又ア

最近の輸出入額 (單位シユクレイ)

年度	輸入	輸出
1928	82,923,926	99,223,052
1929	84,835,263	86,036,822
1930	63,981,106	80,646,539
1931	44,076,122	56,660,170
1932	34,710,009	49,297,809

リゲイター(Millitor)の皮も少量輸出される。工場は、製粉所、砂糖工場(一三)、醸造所、チョコレート工場、織物工場(二〇)あり、その資本金は一、五〇〇、〇〇〇シユクレイに上る。

F 外國貿易 最近五ヶ年間に於ける輸出入額を見るに連年輸出超過を示し、産業的な健全さを思はしめる。これを輸出品別に見れば、輸出品は農産物最も多く、ついで鑛産物等を主とする。輸入品は主として加工品である。

一九三二年度主要輸出入品 (單位シユクレ)

輸入品	價格	輸出品	價格
綿製品	3,657,822	コ、ア	11,267,325
金屬、寶石	11,910,459	石油	14,480,929
食料品	2,605,511	コーヒー	8,048,379
機械	1,830,290	バナナ	2,714,903
藥品、化學製品	2,217,137	アイボリー	1,126,403
毛製品	663,447	金	6,783,299
油及び燃料	953,720	米	936,289
絹及び人絹製品	840,717	果實	373,057
紙	1,297,193	砂糖	1,642,322

G 交通 【道路】 エクアドルの道路改良は可成りの進捗を見せてゐる。コロムビア國境からグアヤキルの近くババオヤ(Bahauya)まで三七哩の自動車道路は一九三〇年に開通した。現在主要幹線道路一、五九一哩、支線一、二一哩、馬道二、二二七哩である。

【鐵道】 エクアドル鐵道九線のうち、實際に運轉されてゐる線七六三哩。グアヤキルからキトーまでの旅行は途中リオパムバに止つて、二日間かかる。

【船舶】 グアヤキル(Guayaquil)が主要港で、マシエン海峽を通過するもの及び太平洋岸のみを航行する船舶の寄港多く、一九三二年における入港船舶數一、〇七七隻、出港數一、二一六隻。

國內河川交通は浚渫によつて改善され、グアヤス(Guayas)、ダウレ(Daule)、ウインセス(Vinces)等の諸川によつて主要農業地方の交通が行はれる。

H 通信 電信はキトー(Quito)とグアヤキル及び海岸線によつてコロムビア、ベルギーの兩國に連絡され、海底電線によつて他の國に連絡されてゐる。無線電信もキトー、グアヤキル、エスメラルダス其他六ヶ所に局がある。一九三三年における國內の郵便局數は三一七。電信條線は四、二二一哩を數へる。

社會・文化

この國もスペインの植民地政策の犠牲となつてゐた國で、今日も政治的・經濟的支配は白人の手にあり、土人は昔ながらの粗末な生活をしておる。社會施設も充分には備はず、衛生設備も幼稚で熱帯の傳染病が多く流行する。

【宗教】 國教はないが、宗教の自由は許されてゐる。カトリック教會にはキトーに大僧正、その他に六名の大僧正補佐があるが、一八九五年以來教會に對する國家の支出は止められた。監督職はすべてエクアドル人たることを要する。一九二七年九月二十四日の法令によつて外人僧侶はその宗旨如何を問はず入國を禁止された。

【教育】 初等教育は無月謝で義務教育、高等教育は二校の中等學校或は專門學校(六校は私立)並にキトーの中央大學(Central U.)、グアヤキルのグアヤ大學(Guaya U.)、クエンカのグアヤイ大學(Guaya U.)、ロリア(Loria)の法律大學において行はれる。私立學校は初等中等共に國家の監督下にある。一九三三年における教育費概算は、最高教育九七三、二〇〇シユクレイ、中等教育一、四〇五、七八〇シユクレイ、初等教育四、四八六、二八〇シユクレイで、總計七、三

○四、四八二シユクレイ。一九三〇年における實際の支出額は六、八五七、七五四シユクレイ。一九三三年における初等學校數二、一五八。そのうち官立一、六七三、公立一九七、田園學校六五、私立二二三。一九三三年の生徒數は初等學校一、六三、一八五人、中等學校三、五八九人、大學一、〇六四人。師範學校は四校ある。

【新聞】 エクアドルの新聞のうち有力紙は別掲の表に見られる一二紙とする。このうち最も有力なものは同國の最大の都市たる海港グアヤキルにおいて發行されてゐるテレグラフ・オポ紙である。同紙は自由黨系の新聞にして、廣く全國に讀者網を有し、最も多く讀まれてゐる。その他以上の一二紙の日報紙の外に、週刊紙にアマバト(Ambato)に發行されてゐるコスモポリタ(Cosmopolita)を見る。

主要新聞紙

新聞名	發行地	黨派別
Comercio	Quito	商業新聞
Debate	"	保守
Dia	"	自由
Globo	Bahia de Caraquez	"
Crónica	Cuenca	中立
Diario del Sur	"	保守
Mercurio	"	中立
Prensa	Guayaquil	自由
Telegrafo	"	"
Universo	"	"
Provincia	Portoviejo	"
La Razon	Riobamalo	中立

【風俗】 都市の住民はヨーロッパ化してゐるが、地方の土人は今尙原始的な生活をなし、一般に怠惰で、土民中のケチュア族の如きは、水

草を追つて着のみ着まゝな生活をなし、たえず
コカの莖を嚼んで、中毒に罹つてゐるものが多い。一般の言語はスペイン語である。この國
は嘗てインカ帝國の一部であつたため、その遺跡は諸所に見出される。

V 自然

南アメリカの西部、赤道直下にある共和國で、
國名のエクアドルもスペイン語で赤道の意である。北はコロンビアに、北東より南にかけては
ペルーに接し、西方は大太平洋に面する。地勢
は太平洋側の急斜面の平野と、中央の高峻なア
ンデス山地と、東方の緩漫なアマゾン河斜面森
林地帯とに別れる。アンデス山脈は東西両山脈
シレラ山脈に別れて南北に走り、東西両山脈は
一帯に高原を形成し、山脈中には多くの火山が
あり、その最高峰はチムボラン Chimborazo
(5,991メートル)である。

河川は概ね急流をなし、東方アマゾンの支流
をなす諸川は長流をなしてゐるが國境を過ぎる
までは舟運の便がない。東方斜面のものにはナ
ボ河(Napo)を主とし、太平洋斜面のものには
スメ河(Sme)、グアヤス河(Guayas)等がある。
太平洋岸には、南部にグアヤキル灣が入り込
み、灣内にはアナ島横はり、海上にはガラパ
ゴス群島(ロン群島とも呼ばれてゐる)がある。
【氣候】赤道直下にあつて海岸の低地は高温
であるが高さを増すに従つて気温低下し、高原
地帯の二、〇〇〇メートルから三、〇〇〇メー
トルにかけては氣候温和で健康に適し、首府キ
ト(Quito)の年平均気温は一二度六分年中大差
はない。高山地帯は寒冷で、雪線は五、二〇〇メ
ートル附近である。降水量は太平洋面に多く、
南するに従つて増加し、山地・高原にも比較的
多く、キトの年降水量は一、二〇〇耗である。

【面積】國境線が決定されてゐないために、
正確な数字は擧げられない。或る官廳發表の
ものによれば八七三、八四四平方キロメートル(三
三七、三〇四平方哩)とされ、そのうちにはコロ
ン群島(一三のガラパゴス島 Galapagos 島より成
る)七、八四四平方キロメートルをも含んでゐ
る。地理學者ウォルフ氏(Wolf)の計算によれ
ば七一四、八六〇平方キロメートル(二七五、九
三六平方哩)とされ、これも官廳で採用されて
ゐる。

【人口】今日まで正確な調査の行はれたこと
がない。一九三二年一月三十一日の概算によれ
ば二、五五四、六九三人、一哩平均九・二人。
【住民】一九二九年の概算によれば、全人口

6

コロンビア

Colombia, 獨 Colombian, 佛 Colombie

立憲共和國

I 歴史概観

一五世紀末この土地が発見されて以來次第に
スペインの植民地が建設され、爾來三百有餘年
スペインの治下にあつたが、一九世紀の初め本
國政府がナポレオンに倒されたのに乗じてイギ
リスの支援を得て一八一〇年獨立を宣言し、一
八一九年ウエネスエラ、キト(今日のエクアド
ル)と共に大コロンビア共和國を建設したが、
その後共和國內は四分五裂し、ウエネスエラ、
エクアドルは各々獨立し、コロンビアは一八三二
年新グラナダと稱してキト統一された観があつ

のうち、白人一〇%、インディアン三八%、混
血族四一%、低地居住インディアン一%、ニグ
ロ五%、その他五%である。外國人は約一萬人
と推定されてゐる。一九三二年における出生數
は一〇二、九四五、死亡數は四八、二三五、結婚
數は一、二四二八である。

II 政治

【主要都市】首府キトの人口は一九三二年
において約一〇六、〇〇〇人に上る。その他の主
要都市及びその人口はグアヤキル(Guayaquil)
が二二三、八〇〇人、クエンカ(Quena)が四二、
八〇〇人、リオバムバ(Riobamba)が二一、九〇
〇人、アマバト(Ambato)が一七、三〇〇人、ロ
ア(Loja)が一七、二〇〇人、ラタクンガ(Tata
cunga)が一五、六〇〇人。

A 政治機構

コロンビアは從來スペイン領
「ニュー・グラナダ大公領」(Viceroyalty of New
Granada)と稱せられしが、一八一九年スペイン
つて自由黨が壓倒的に優勢である。その黨派別
議席數は次の如し。

自由黨 七〇名
保守黨 四八名
計 一一八名

D 司法

コロンビア新裁判法典は一九三
一年一〇月二四日ディアリオ・オフィシアル(Di-
ario Oficial)において發布され翌一九三二年一
月一日より實施せらる。該法典によれば大審院
は首府ボゴタ(Bogota)にあり、民事裁判、刑事
裁判、一般商事、民事判決(Civil de Unica Inst-
ancia)の四裁判に分たれる。各裁判所は三人又
は三人以上の判事よりなる高級裁判所を有す。
一九三二年一月法令により既婚婦人は完全な
る財産権を有することを認められた。

E 地方行政

現行憲法は從來の聯邦制にお
ける各州の主権を廢し、之れを縣(Department)
とし、以前投票によりて選舉したる各州の統領
を廢し、縣行政に當る者としては新に共和國大
統領の任命する知事(Governors)をおく。知事は
縣財政権を保留す。而して國內は行政上一四
縣(Department)・三府(Intendencias)・七郡
(Comisseries)に分たる。

F 政黨

コロンビアは他のラテン・ア
メリカ諸國におけると同じく政争の激甚な國家
で、古くより自由黨(Liberal Party)と保守黨
(Conservative Party)の二大政黨の對立を見て
來た。兩政黨の政綱及び黨領袖は次の如し。
【自由黨】一八八六年の保守黨制定の憲法を
承認す。然し保守黨の是とする政治へ對する教
會の干渉を排し、社會立法促進を期す。
黨領袖 Alfonso Lopez(黨會議々長)一九三
四年の大統領候補)・Gabriel Turbay, Eduardo
Santos (前外相)・Carlos Lozano y Lozano (下
院議員)・Jorge Eliecer Gaitan (下院議員)・黨

より獨立し同年一月七日共和國を制定する
に至つた。その後パナマ(Panama)、ウエネスエ
ラ(Venezuela)、エクアドル(Ecuador)と聯合し
大コロンビア國(Greater Colombia)を組織し、
この大聯合はその後十一年繼續して一八三〇年
各分裂獨立しコロンビアは新グラナダ共和國
(New Granada)となるに至つた。
一八五八年四月二二日のコロンビア憲法は新
グラナダ共和國を變じて八州の聯合國にし、グ
ラナダ聯邦(Confederation Granadina)と稱す
るに至つた。一八六三年五月八日憲法改正、グ
ラナダ聯邦を廢しコロンビア合衆國(United
State of Colombia)とした。その後一九八五年
革命勃發し各州より二名の議員(delegates)を
選出してボゴタ議會(Bogota)を設立、一八八六
年八月五日憲法發布あり之れ即ち現行憲法であ
る同憲法によれば死刑、奴隸制廢止、義務教育
強制、言論信仰の自由、信書電信の不可侵、國
内における私権上の内外人平等權享有を規定し
てゐる。
大統領は四ヶ年の任期を有し直接選舉により
て選出される。四年間を経過するに非ざれば再
選を許されない。議會は一年の任期を有する二
人の大統領代理人(Substitutes)をおき、大統領
缺員中兩者の中の一人大統領の席を占むことを
規定す。公共支出は大統領に對しててなく議會
に對して責任を有する會計検査院長(Comptroller
General)之れを監督す。
【大統領】ドン・アルフォンソ・ロペス(Don
Alfonso Lopez)・一九三四年二月選出され、同
年八月七日ヘンラ前大統領に代つて就任す、任
期四年、自由黨出身。

【首府】ボゴタ(Bogota)
B 行政 内閣は内務、外務、大藏、國防、
教育、産業、土木、農商務、通信の八省に分け

られ、それぞれの各國務大臣により主宰せら
れる。現内閣は一九三三年九月二十一日再再閣
された獨立内閣にして、關係の煩觸れ左の如し。
首相 オラヤ(A. Morales Ohaya)
外相 アルバラド(Tr. Uribe Arbo-
leaz)
蔵相 フアラモ(Esteban Jaramillo)
國防相 カウリヤ(Carlos Uribe Gaviria)
産業相 チエウ(Francisco J. Chaux)
文相 ヴァンメンエラ(Carrizosa Vallenz-
neha)
土木相 アランソ(Alfonso Arango)
選信相 プアルフォ(Alberto punario)
C 立法 立法權は上院(Camara del Sen-
ado)及び下院(Camara de Representantes)よ
りなる議會(Congreso)に屬す。上院は任期四ヶ
年の五八名の議員よりなり、下院は任期二ヶ年
の一三一名の議員よりなる。上院議員は一九三
〇年の法令により州議會による間接選舉により
て選出される。各州は最少限三人の割當てによ
りて上院議員を選出することを規定す。下院は
五萬人に一人の割合で各州より選出される。
議會は毎年七月二〇日首府ボゴタ(Bogota)に
おいて召集される。上下兩院議長とも一月毎に
交替する。
【現議會】上院は一九三一年五月の總選舉に
よつて選出されたものにして、政黨の勢力關係
は保守黨が有力なるも、保守黨のうち三名は自
由黨と行動を共にするため勢力は全く伯仲であ
る。その黨別議席數は次の如し。

保守黨 三一名
自由黨 二五名
計 五六名
下院は一九三三年五月の總選舉によつて選出
されたものにして、政黨の勢力關係は上院と異

左派の首領) Iris Cano (上院議員)。【保守黨】ローマ、カトリック教會を支持し、中央政府の権限の擴大と普通選挙の執行を主張す。

黨領袖—General Pedro J. Barrio (下院議員) Guillermo Valencia (一九三〇年の大統領候補) Augusto Ramirez Moreno (下院議員) Roberto Urdaneta Arbelaez (現外相) Mariano Ospina Perez (上院議員) Laureano Gomez (上院議員)。

G 外交 コロムビアは一八二〇年パナマ、ヴェネズエラ、エクアドルと聯合し大コロムビア國(Greater Colombia)を組織せしが一〇ヶ年繼續の後一八三〇年各國分裂し新グラナダ共和國(New Granada)としてコロムビアの前身は始まるのである。一九〇三年パナマ運河問題に關するアメリカ合衆國交渉の失敗の結果、この運河の獨立を見るに至つた。世界大戦後國際聯盟加入、一九二六年には聯盟理事國に選ばる。

一九〇三年一月三日パナマ獨立を宣言しパナマ共和國を建設するに至つた。一九一四年四月六日コロムビアは首府ボゴタにおいてアメリカと條約締結しパナマ獨立國たることを承認せしめ、パナマ運河地帯に對する賠償として二億五千萬ドルと該地方における一定權利をうくることに同意した。この條約は一九二一年コロムビア、アメリカ兩國の間に批准あり、一九三四年兩國委員會は兩國間の國境問題を決定することになつてゐる。ペルーとの國境問題は既に一〇〇年も繼續し一九二八年その結末を告げた程である。しかるに一九三二年再び問題再燃した。この發端はコロムビアに聯合してゐたレティシア(Leticia)市の志願兵がペルー人によつて捕虜となつたことによる。こゝにおいて一九三三年兩國間に戦端開かれしが國際聯盟の提案に基き兩

國交渉はギエフゾ(Guefzo)をペルーへ讓渡し、レティシア(Leticia)のペルー軍隊撤兵することによつて結末をつけた。國際聯盟の委員は秩序維持のためアマゾン地帯に暫時駐在してゐる。在留外人中之れを職業別に大別するとドイツ人、アルメニア人の商業、イギリス人の鑛山業、アメリカ人の石油、銀行業、フランス、スペイン、イタリア人の教育慈善事業に従事するもの多し。對日關係はコロムビアは南米中第五番目に日本と修好通商航海條約を締結したが、明治四一年以來日本人移民の道は開けたが、未だその数は云うに足らぬ程である。大正一二年日本商品陳列所を首府ボゴタに設け日本品の宣傳に努力した結果、現在では日本から四、五十萬ドルの物は輸出されてゐるが、他の諸國に比較する時、對日關係は極めて薄弱である。

H 國防【陸軍】兵役は義務徴兵制にして二歳より四五歳まで服役義務がある。現役一ヶ年、常備兵陸軍は三師團よりなり、一師團は二旅團、一旅團は二聯隊、全部で歩兵一二聯隊よりなる。更にこのほか四大隊よりなる二騎兵聯隊、一砲兵聯隊、一工兵大隊、三中隊よりなる一輜重兵大隊がある。一九三二年における平時兵力士官四七七名、その他兵卒八、〇〇〇名であつた。戦時においてはすべてのコロムビア國民服役を強制される。戦時兵力約五〇、〇〇〇人、歩兵は改良レミングトン型小銃(Remington pattern)、フランシス式ガラス小銃(Grass rifle)八八型モーゼル銃(88 pattern Mauser)を使用す。

【海軍】海上砲艦一隻、一九二五年建造の沿海巡洋艦三隻、河川砲艦五隻、練習船モーター、ランチ數隻を有す、一九三四年にはポルトガルより近代的双隻の驅逐艦が購入された。現在コロムビア海軍は休職イギリス海軍士官を招聘し

〇ペソ(殆んど全部共和國銀行 Banco de la Republica 内にあり)、中央銀行紙幣一九、一五三、〇〇〇ペソ、大蔵省證券七、九三一、〇〇〇ペソ、銀貨、ニッケル貨及び各種證券一三、五五一、〇〇〇ペソ、大蔵省債券三四、〇〇〇ペソ、その他、國內正貨五一、〇〇〇ペソ、外國正貨一三、〇〇〇ペソ、總計四九、五一六、〇〇〇ペソである。

D 度量衡 コロムビアにおいてはメートル法が一八五七年以來採用されてゐる。然し關稅においては一キログラムが二、二〇四常衡ポンド即ち avoirdupois pound とは一六オンスを以つて一ポンドと定めたもの)に等しいのを以つて標準としてゐる。また國內商業上においてはスペインの重量單位たるアロバ(arroba)、クインタル(quintal)、カルガ(Carga)が用ひられる。即ち、一アロバ=二七・五ポンド=二二キログラム、一クインタル=四アロバ=五〇キログラム、一カルガ(所謂 milite Jaal)=二ミクインタル=二五キログラムである。またコロムビア、リビア(Columbian libra)は一、一〇二常衡ポンドに等しい。コロムビア、ウアラ(Columbian vara)は八〇センチメートルにして、現在でも小賣商賣の間によく用ひられてゐる。その他、容積においてはフランス、リットル(Litre)が公式に用ひられてゐる。

E 生産【農業】土地は肥沃であるが、今日耕作に用ひられてゐるのはその僅かな部分にしか過ぎない。しかしながら道路の改善と共に次第に耕作地面は増しつゝある。コーヒーは主要産物であるがブラジルにおける生産過剰のため需要はあまり多くない。小規模な農園によつて一年中收穫され、品質には注意されてゐる。一九三二年の調査によれば、農園數一三九、三四八、成木四六一、二二六、二五本。苗木六九、

て再組織に當つてゐる。

III 經濟

A 財政 コロムビアの財政状態は最近極めて不良である。一九二九—三〇年度以來年々

最近の歳出入

(單位金貨ペソ)

Table with 3 columns: Year (年度), Income (歳入), and Expenditure (歳出). Data for years 1928-29, 1929-30, 1930-31, 1931-32, 1932-33(1), 1933-34(1).

(1) 概算

多額の歳入不足を呈してゐる現状である。最近の世界的經濟の不況による歳入減は著しく、一九二八—二九年度の七千五百萬金貨ペソより一九三二—三三年度には四千三百萬金貨ペソに下落してゐる。斯くの如き歳入減に對して歳出は一九二九—三〇年度の八千四百萬金貨ペソを最高として一九三二—三三年度には五千二百萬金貨ペソに下つてゐる。

また一九三三—三四年度の主要歳出は、内務六、六二二、〇〇〇ペソ、公債費八、七五一、〇〇〇ペソ、軍事費六、〇〇〇、〇〇〇ペソ、教育一、四二二、〇〇〇ペソ、公共事業二、三八九、〇〇〇ペソ、郵便及び電信三、七四六、〇〇〇ペソ、衛生二、一五〇、〇〇〇ペソである。

【國債】一九三三年六月三〇日における中央政府の外債七三、四〇六、六三二金貨ペソ、内債七八一、九八九本。一九三三年の輸出高六〇キロの袋三、二八〇、九三八個。合衆國がその九〇%以上を引受けてゐる。米は國內消費に當てる程度であるが年々増加しつゝあり、一九三二年には四七、〇〇〇噸。その他に煙草、綿、耕作面積一五〇、〇〇〇ヘクタール)、ココア、砂糖(年産額四〇、〇〇〇噸)、タガア(tagua)(植物性の象牙椰子の實)、小麦、玉蜀黍等を産し、バナ、の栽培は年々増加し、一九三二年の輸出額七、〇二〇、五二九房。イギリスが輸入するバナ、の約三分の一はコロムビア産である。

【林業】森林地帯は約一五〇、〇〇〇、〇〇〇ヘクタールに及ぶが木材として輸出されるものは極めて僅少である。ゴムの樹は野生してゐるが最近栽培が初められてゐる。トルー、バルサム樹(tolu balsam)は栽培され、コバイバ、バルサム(Copaiba)も採集されてゐるが、これは栽培されてゐない。染料用樹木及び西洋杉はマゲダレナ河の流域に多い。

【鑛業】コロムビアにおいては鑛産は特に豊富にして、金は各縣に産し、産額は一九三二年に一九四、二六八オンス、一九三二年には三二、八、二四九オンス。その他の鑛物には、銅、鉛、水銀、辰砂、マンガン、エメラルド、ブラチナ等が産し、ブラチナがコロムビアに最初発見されたのは一七三五年で、チヨコ河(Choco)の沖積層に多量にあつたものであるが、輸出は次第に減少しつゝある(一九三二年一、二六〇キログラム)。エメラルド鑛山の探掘は政府の獨占で、即ち政府の統制を受け、輸出も嚴重な統制の下に純粹な石だけが輸出される。主要鑛山はムン(Muzo)(政府所有)及びチヴォル(Chivor)(アメリカ人所有)の鑛山である。その他に尙石炭、鐵、石灰石、砂、耐火粘土の埋藏あり、ために一部には冶金工業の發達に最も便利な地方がある。

C 貨幣 一九〇七年六月一二日の法令によつて、貨幣單位は金貨ペソ(peso)で、英貨ポンドの五分の一に當り、その重量の比及び純度もポンドに等しい。金貨には二・五、五、一〇の各ペソ、銀貨(純度九〇〇)には〇・五ペソ、二〇及び一〇のセントアヴォ(centavo)、ニッケル貨は一、二、五のセントアヴォが法貨となつてゐる。その他に紙幣として一、二、五、一〇の各ペソがある。

一九三二年六月三〇日における全通貨は、金貨六、三四〇、〇〇〇ペソ、金塊二、四四三、〇〇

シバキラ (Zapatera) の鹽岩坑の發掘及びカリブ海沿岸の製鹽業は政府の專賣で、その權利は共和國銀行 (Banco de la Republica) に貸付されてゐるが、年收約一、五〇〇、〇〇〇金貨ペソ。石炭は品質優良なものが廣範圍に亘つて埋藏されてをり、特にカリ (Cali) 附近に多い。石油は近年發見され、その産額も一九二四年の四四七、七四四樽から一九三二年の一六、四一七、〇〇〇樽に増加し、一九三三年は一三、五〇〇、〇〇〇樽。涌出した石油は油田からパイプで海岸まで輸送される。

F 外國貿易 コロムビアにおいては輸出と共に一九三一年以來政府の統制下に置かれ、輸入の制限を漸行して、金貨ペソの外國爲替相場下落を極力防止してゐる。その結果、一九二八年度の輸入額は最高として年々激減を示し、一九三二年には二八年度の約五分の一近くに減少してゐる。それと同時

最近の輸出入

(單位金貨ペソ)

Table with 3 columns: Year (年度), Import (輸入), Export (輸出). Rows for years 1927, 1928, 1929, 1930, 1931, 1932.

時一九二八年まで年々輸入超過を特徴としてゐたが、その後年々著しい輸出超過を示してゐる。

一九三二年における主要輸出品及びその價格は(金貨ペソ)、コーヒー四二、九一〇、四一三、石油一六、四三三、七八三、バナ、六、〇〇七、二七三、ブラチナ四九五、〇〇〇、獸皮九〇三、一

【宗教】ローマン・カトリックが國教である。ボゴダ、カルタゲナ、メデリン、ボバヤン、他の三ヶ所には副監督各二名ある。これら副監督の管區の一つはバナマであつて、俗權的にはカルタゲナ地方に屬し、一部はバナマ共和國に屬してゐる。他の諸宗教の傳道も、キリスト教道徳及び法律に抵触しない限り許されてゐる。

【教育】初等教育は無料であるが義務教育ではない。一九三一年一三二二において、初等及び中等學校数は七、四九五。生徒數四四七、九四六。一九三〇年一三二二において工業學校二五、生徒數一、三九二。技藝學校六、生徒數三九九。師範學校一七、生徒數約一、〇〇〇人。最も古い大學はボゴタにあり(一五七二年創立)、この大學とメデリンの職業學校とは國立であり、他の諸大學は縣立であるが、これにはアンチオキア (Antioquia)、ボリーヴァル (Bolívar)、カウカ (Cauca)、ナリノ (Nariño) の諸大學がある。

一九二八年の國勢調査によれば、一〇歳以上のもの五、六一〇、七一五人のうち、無學者五一、五七七。一九一八年の國勢調査の場合には、無學者の割合は六八%であつた。

【新聞】コロムビアにおいては言論の自由は極度に尊ばれ、主要都市には人口の割に新聞紙の數が非常に多い。殊に首府ボゴタの如きは五の主要日刊新聞を有し、就中自由黨系の「Tiempo」紙はコロムビアにおいて最も有力な新聞にして、最大の讀者網を有してゐる。またコ

五九。主要輸入品は織物、食料品原料、金屬、農業及び鑛業器具。主要貿易國はアメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー、オランダ、カナダ等である。

G 交通 【道路】國內が山岳勝ちなために、幹線道路及び鐵道の建設は費用もかゝり困難でもある。道路は一般には驢馬の通ひ得る程度のものであるが、政府は或る程度の幹線道路、鐵道及び索道の建設をなしてゐる。マリキタ (Mariputa) とマニザレス (Manizales) を繋ぐ索道は世界最長のものである。自動車道路の全長は一、八六五哩。國內の重要地點を連結する新道路を日下建設中である。

【鐵道】コロムビアの鐵道は一五線路あり、(一)線は國有、三線はイギリスの會社、一九三一年の全長一、四三二哩。約一、九〇〇哩が日下建設中。全長のうち、六一四哩は軌幅三フィート、殘部は一メートル。國有の諸線は一九三一年に政治的色彩のない一評議會の管理の下に置かれたが、その多くは短線で他との連絡なく、主としてマグダレナ (Magdalena) 河の培養線の役をなしてゐる。

【船舶】マグダレナ河がカリブ海と奥地との主要な交通路になつてゐるが、早急に支配され、多少の改修をなされるにも拘らず常に乾燥期中は交通が妨げられる。航行し得る距離は九〇〇哩であるが、小汽船ならばラ・ドラダ (La Dorada) まで航行することが出来る。(バラランキラ Barranquilla より五九二哩)。イギリスの一河川運輸會社が政府と契約して、郵便物及び旅客の運輸を三日目毎に行つてゐる。他にイギリス、ドイツ及び國人の諸會社の船もある。

【航空】日々の定期航路がボゴタ (Bogotá) から大西洋岸のバラランキラ (Barranquilla) の間に開かれてゐるが、そこから隔週毎に郵便及び

全國有力日刊新聞

Table with 4 columns: Newspaper Name (新聞名), Location (發行地), Party (黨派), and Status (別). Lists various newspapers like Diario Nacional, Espectador, Mundo al Dia, etc.

【風俗】住民の大部分はスペイン人の子孫であり、一般ラテン人種系の通有として文學を愛好し、詩を頌し、音樂を嗜むものが多い。カトリック教を盲信するものも多く、言語はスペイン語で、南アメリカ中最も純粋なスペイン語が話される。土人は多く労働者で、生活程度は低く、常に裸體跣足で、馬鈴薯、玉蜀黍、ブラタノイなどを常食として、河水をそのまま飲料水となし、たゞカウカ地方には牛乳が豊富なため、食事の時これを水の代用とする、一般に男女共に煙草を好む。

V 自然

A 地理 南アメリカ大陸の西北隅に位置する。北はカリブ海に面し、西は太平洋

旅客の定期航路があつて三日半にしてニューヨークへ達する。以上、コロムビアの航空事業は殆んどドイツ人によつて獨占されてゐる。

H 通信 一九三〇年郵便局數一、〇七五。政府の電信線二、〇二〇哩、局數八八〇。電話線は延長されつゝある。無線電話はコロムビア、チリー、アルゼンティン間に用ひられてゐる。ラティン・アメリカ及び合衆國へ通ずる國際海底電線は全アメリカ海底電線 (All America Cables) の線がコロムビア内のカルタゲナ (Cartagena)、バラランキラ (Barranquilla)、マニザレス (Manizales)、パナマ (Panama) に通じてゐる。マニザレスからは、同會社の手によつて陸線に連絡され、カリ (Cali) を通つてボゴタ (Bogotá) に達してゐる。同會社は又、ボゴタ及びメデリン (Medellin) に無線電話及び電信の局を設け、北アメリカ及びヨーロッパへの連絡をなしてゐる。マルコニ無線電信 (Marconi Wireless) もボゴタに局を設けて、國內諸點及び外國との連絡をなしてゐる。

III 社會・文化

コロムビアは個人主義的にして感情の激しいラティン・アメリカ人の典型的な國家である。同國は人種的にラティン・アメリカ人に統一され、總人口は七百八十萬のうち、インディアン僅か約七萬、外國移民約三萬五千に過ぎない。而して南米諸國中地理的に最も北端の位置を占めてゐる結果、文化的にも經濟的にもアメリカの影響を受けることが特に甚しい。従つて同國經濟界においてはアメリカ資本は歴史的に優勢にして、その他、英、佛、獨の資本の没入が甚しい。にも拘らず、一般の國民は全體としての民族的意識に乏しく、外國資本及び國內ブルジョア階級に對する階級的自覺を得るまでに至らず、古い傳統的政争に日を送つてゐる現状であ

及びバナマ地峽、南はエクアドル及びペルー、東はヴェネズエラ及びブラジルに接し、熱帶圈内にあり、面積約四四七、五三六平方哩に上る。海岸線はカリブ海の沿岸八六八哩、太平洋岸一、二七八哩、カリブ海にはバナマ地峽の頸部に接してダリエン灣あり、その東北にはゴアヒラ半島が突出して隣國のマラカイボ灣を作り、太平洋岸は山脈が海に迫り港灣に乏しい。

南アメリカ大陸の西海岸を縦走するアンデス山系がこの國の西部をも南北に走り、河を挾んで四列の山脈となつてゐる。東部にはコロンビア (Eastern Cordillera) はマグダレナ河の東を走り、中央部にはコロンビア (Central Cordillera) は同河とカウカ河の間を走り、同河の西に西コロンビア山脈 (Western Cordillera) が、又アトラト河と太平洋岸の間にチココ・コロンビア山脈 (Chicoo Cordillera) が走つてゐる。中央及び西コロンビア山脈には火山帯があり幾多の火山が

ある。平野は東コリシラ山脈を境に東西に分けられ、以西の平野は山脈の間を流れる諸川の流域にあり、土地肥沃で豊産物も多いが、コリシラ山脈以西の地は、廣漠無限の草原となり、多少牧場に利用されてゐるところもあるが、殆んどすべて人跡未踏の大森林平原として放置されてゐる。

河川は國內を南北に貫流してカリブ海に注ぐ大河マゲダレナ(Magdalena)とその西に之と平行して走る大支流カウカ河(Cauca)及びダリエン海に注ぐアトラト河(Atrato)を主要なものとし、尙東部平原には大西洋に注ぐオリノコ河の支流が多くある。

B 氣候

緯度の上から見れば熱帯の真中に當るが、その氣候は土地の高低によつて異り、海岸地方及び低地は高温多湿でマラリア病流行するが、約一、〇〇〇乃至二、五〇〇メートルの間は温帯的な氣候で健康に適し、それ以上の高地は氣候寒冷である。四季の區別は判然せず、一年は二度の乾期(一月二月及び七月九月)と二度の雨期(三月六月及び十月十一月)に分けられる。首府ボゴタにあつては氣温は一〇度乃至二六度、降水量一、二六〇。東部アマゾン流域は降水量大である。

C 人口

一九二八年一月一六日の國勢調査によれば、全人口七、八五一、〇〇〇人。そのうち、インディアンは六九、八六七人。インディアンを加へて男子總数は三、九三七、八九二人(五〇・一六%)、女子三、九一三、一〇八人(四九・八四%)。

一九二八年における外國人數三五、二五一一人。そのうちドイツ人一、六八二、イギリス人一、四三六、アメリカ人一、六〇七、イタリア人一、九一六、シリア人一、九六七、ヴェネズエラ人一、

II 政治

A 政治機構

ラティン・アメリカ諸國におけると同様チリも極めて政争の激甚な國にして、黨派別利害によつてその國政は左右されて來た。この弊害は大戦後に至り殊に甚しく、これにおいて一九二五年一月八日、大統領アレックス・サンドリは人民投票に問うて憲法に一大改革を加へ、政界の革新を計つた。従つて現行憲法はその時の制度にかゝるものにして、同憲法の根本原則は、(一)三權分立の精神に則り大統領の權力を確立し、議會が濫りに行政に干渉することを斥け、且つ豫算審議權の濫用を防止すること、(二)政教の分離を確立し、以つて信教の自由を保證すること、(三)地方自治の擴大、(四)國民負擔の公平を期するための擔稅力に應ずる累進率の採用、(五)個人所有權の絕對性と公共の利益との調和を計り、國家は資本及び労働の兩階級を共に保護する義務を有すること、(六)國民の公權私權の保證及び社會保險制度の達成、等々にある。

國の元首たる共和國大統領は任期六年、直接人民投票によつて選舉される。一度大統領となつたものは被選舉權なし。立法に關して大統領は一部の否認權を持つてゐる。大統領の異議を附せられて議會に返された法案も、出席議員の三分の二以上の投票ある時は是認されて法律となる。大統領及び上院下院兩議員の選舉の有効は Tribunal Calificador と稱する特別な團體によつて決定される。同團體は五名よりなり、かつて上院及び下院において議長或ひは副議長た

四、七四三。都市人口は二、四三七、八八八人で、全人口の三一%にあたり、都市人口一、〇〇〇人に對して地方人口二、二〇〇人に當る。住民の大部分は海拔四千乃至九千フィートのところに住んでゐる。移民は殆んど無い。

D 都市

首府ボゴタの人口は一九二八年の國勢調査によれば二三五、四二一人、海拔八、六〇〇フィートのところにある。他の主要商業都市及び一九二八年におけるその人口を擧げれば、

7

チリ

英譯 Chile, 佛 Chile

立憲共和國

I 歴史概観
一六世紀まではインディアンの居住地で、一部はペルーを中心としたインカ帝國の支配下にあつたが、一五三五年スペイン人アルマグロが初めてチリに遠征して失敗し、續いて一五三九年バルディヴィアが遠征の途に上り漸く一五四年サンティアゴの町を建設、茲後彼及びその後継者が慍悍なアラウカニア・インディアンと戦ひつゝ次第にこれを征服して、その後スペインの植民地たること三百年、一八〇八年本國スベインにナポレオンの軍隊が侵入して王の廢立のあつた報に接すると共に遂に一八一〇年九月獨立を宣言し、臨時政府を設立したが、その後一時再びスペインの手に歸し、ついで獨立軍は一八一八年四月アルゼンティン軍及びイギリス艦隊の來援の下に決定的な勝利を得て再度獨立しものより各一名。大審院から二名、議會開會される市の控訴院より一名、各々抽籤によつて決定される。

【大統領】ドン・アルッロ・アレックス・ドンド(Don Arturo Alessandri)。一九三二年一月三日選挙、一九三二年二月二日就任。

B 行政

行政權は大統領にあり、大統領を輔佐して國政を執行する國務大臣八名あり、内閣を構成して大統領に對して責任を負ふ。各大臣は國會において發言權を持つが投票權なし。現内閣はアレックス・ドンド大統領の下に一九三二年一月二四日に任命された聯立内閣にして、その顔觸は次の如し。

- 内相 ビウォンカ (Pivonka)
外相 トロスマナ (Miguel Cruzanga Tocornal)
蔵相 サンタマリヤ (Cristavo Ross Santa-Maria)
土木相 シルヴァ (Matias Silva)
文相 モラレス (Domingo Duran Morales)
労働相 オルティス (Fernando Garcia Ojini)
国防相 コチナド (Emilio Ballo Codecido)
農相 モンテチノス (Arturo Montecinos)

C 立法

立法權は國民議會(Congreso Nacional)にある。議會は上院(Senado)及び下院(Camara Diputados)に分れ、兩院共に直接民衆投票により選出さる。上院議員は四五名、任期八年、九縣(Department)一選舉區となつて、各選舉區が五名の上院議員を選出する。議員の半数は四年毎に更新する。下院は一四三名より成り、任期四年、一縣乃至數縣を合して一選舉區となし、三〇、〇〇〇人毎に一名乃至五名、一〇、〇〇〇人以上毎に一名の議員を選挙する。ヘルキー比例代表制度が採用されてゐ

ば、バランキヤ(Barranquilla)一三九、九七四、カリ(Cali)二二、八四七、メデリン(Medellin)一三〇、〇四四(コヒー及び鑛業の中心地)、カルタゲナ(Cartagena)九二、四九四、マニサレス(Manisales)八一、〇九一、イングエ(Ingenue)五六、三三三、ククタ(Quota)四九、二七九、プカラマンガ(Pucaranga)四四、〇八三。ブエナヴェンツラ(Buenaventura)は太平洋岸の主要港であるが、一九三一年火災に罹り再建中である。

立新政府を建設し、その後スペイン軍と幾多の戦闘を交へたが一八四四年スペインも遂にチリの獨立を完全に認めるに至つた。斯くてその後、チリは一八七九年にボリヴィア、ペルーと開戦して大捷し、一八八三年のペルーとのアンコ平和條約によつて、チリはタラパカ州を得、タクナ、アリカ兩州は十年間チリの統治下に置き十年後に住民投票によつて歸屬を決することとし、兩州を獲得したことは相手國に一〇、〇〇〇、〇〇〇ペソを支拂ふこととなり、又ボリヴィアとは一八八四年に休戰條約を結び、ボリヴィアは一八九五年アントファガスタ州をチリに讓渡したが、タクナ、アリカ兩州の住民投票は其後行はれず兩國に紛争が絶えなかつたが、その間アルゼンティンとの國境の紛争、歐洲大戰中の嚴正中立のことなどあり、ペルーとの紛争も一九二九年七月に至つて

る。選舉權は讀み書きの出来る二一歳以上のものにして選舉人名簿に記入された總べての市民にある。有權者數四六四、八七九名のうち三四三、八九二名が一九三二年一月三〇日の大統領選挙に参加した。すべての投票は無記名である。議會は五月二日より九月一八日まで開會する。

【現議會】一九三二年一月三〇日の總選挙によつて選出されたものにして、上下兩院の議長及び政黨各派の勢力關係は次の如し。

- 急進黨 一三名
保守黨 一〇名
民主黨 七名
自由黨 六名
急進社會黨 四名
少數各派 五名
計 四十五名
下院議長—Cristavo Rivera Baeza (自由黨)

D 司法 首府に大審院あり、他に共和國内八箇所控訴院、縣の首府に第一審裁判所、地方に下級裁判所がある。警察官一五、三一六名、大統領によつて組織統制され、支出は國庫がなす。

E 地方行政

チリは地方を一七州(Provincias)に別ち、地方長官(Intendentes)を置いて

行政に當らせ、州は更に縣(Department)に別れて大統領の任命する知事(Gobernadores)によつて治められてゐる。縣の下には一或ひは二の地方自治區あり、市町村議會があり、任期三年の議員五名乃至一五名が選舉される。政府は一九三〇年六五縣の財政を監督し、ニューヨークにある之等縣の借款一五、〇〇〇、〇〇〇ドルの保護に任じてゐる。

F 政黨 チリにおける小黨分立の傾向は極めて甚しい。一九三二年一〇月三〇日の大統領及び新議會選舉以來、チリは立憲政治に復活した。この三年の總選舉において政黨派は總計四〇以上を數へ、總選舉に臨んだが、うち議會に議席を獲得した政黨派は僅か三分の一の一五だつた。これ等のうち、最も有力なのは急進黨(Radical Party)、保守黨(Conservative Party)、自由黨(Liberal Party)の三黨に於て、民主黨(Democratic Party)及び急進社會黨(Radical Socialist Party)は之に次ぐ。以下、各黨派別にその綱領及び黨領袖を各説する。【急進黨】チリ政界に高い傳統を誇る政黨の一つにして、現在では右派聯盟に屬する。同黨の綱領は元來國家行政における教權の參與に反對する。一九二五年の憲法の制定はこの政治綱領に満足してゐる。同黨は立憲政治及び國法による市民權の保護を主義とする。

黨領袖—Agustín Rivera Parra(黨會議議長)、Nicolas Maramba(上院議員)、Juan Antonio Rios Morales(下院議員)、Manuel Truco(前上院議員)、Pedro Bianquiere(前閣僚)。

III 經濟

A 財政 チリ一の財政は最近の經濟界の不況と共に極めて悪化して來た。一九二九年

最近の歳出入 (單位ペソ)

Table with 3 columns: Year (年度), Income (歳入), and Expenditure (歳出). Data for years 1929 to 1934(1).

註(1)は概算

にはその財政は剩餘を見せてゐたが、一九三〇年度以降は著しい財政不足を來たしてゐる。政府も銳意歳入の減少を計つてゐるが、經濟界の極端なる不況のため、歳入の減少が甚しく、財政は困難を極めてゐる。

關稅收入は一九三〇年には五三二、八〇五、四七八ペソ、一九三一年には三〇二、三〇九、〇〇〇ペソにして、硝石税は一九二九年には二九五、八七五、四〇〇ペソ(歳入の二三・〇三%)、一九三〇年には一七三、五六八、三〇〇ペソ(一五・三二%)に上る。

【國債】一九三二年における外債二、四三〇、八二九、〇〇〇ペソ、利息の延滞一六一、七四二、二二一ペソ、流動外債三三七、五四三、〇〇〇ペソ、擔保附外國借款一、一五五、四六〇、九七八ペソ、外國國庫證券三九、四〇六、〇八七

的色彩が濃厚である。

黨領袖—Hector Rodriguez de la Sota(黨會議議長)、Arturo Lyon Peña(前上院議員)、Rafael Luis Garmuco(上院議員)、Ricardo Salas Edwards。

【自由黨】同黨は數派に別れ、二分派が一九三二年の總選舉におつて代表者を議會に送つてゐる。歴史的自由派(Historic Liberals)と統一自由派(United Liberals)がこれである。同黨は急進黨と共同してチリ政界における右派聯盟を形成し、立憲政治、市民權の保護を主義とし、その政綱は國家主義的傾向が極めて強う。黨領袖—Pedro Opazo Letelier(上院議員)、Javier Angel Figueroa Larrain(前大審院院長)、Farrigue Zanartu Prieto(一九三二年の選舉における大統領候補)。

【民主黨】同黨は最近内部紛争を起し、黨内混亂を來たしてゐる。新議會の一部議員は民主黨候補として、或るものは單なる民主主義者として選出されてゐる。同黨は一般參政權の擴張、産業の保護を主張し、勤勞階級の目標とするの代表者であるとして現してゐる。同黨は立憲政治の擁護を主義とし、現在においては左派より右派に密接な關係を有する歴史的傳統を持つ政黨の一つと認められてゐる。

黨領袖—Agnelis Nuñez Morgado(上院議員)、Fidel Estay(上院議員)、Virgilio Morales(上院議員)。

【急進社會黨】同黨は一九三一年九月に創立されたものである。僧侶の投票權に反對し、外國宗教團體の追放、その財産の沒收、資本の社會化、社會惡として現借款制度の廢止、等々を綱領とする。同黨は現在唯一の左翼グループである。

黨領袖—Anselis Nuñez Morgado(上院議員)、ソ、内債九二九、四八八、七九八ペソ。外債に對する支拂は一九三二年七月三〇日より停止されてゐる。

B 銀行 政府のチリ中央銀行は一九二五年八月創立、サンティアゴにあり、一九三二年における拂込資金一〇、〇〇〇、〇〇〇ペソ。新國內通貨の基礎となるべき新ペソ發行の權利を持つ。一九二六年一月一日より開業、金の支拂は再開された。一九三三年六月三〇日には、拂込資本及び豫備金二〇、七三三、八一四ペソ、現金一〇七、四二八、〇七一ペソ、預金四九一、〇五九、三四五ペソである。

一九三三年六月三〇日にチリ主要銀行一二及び外國銀行七の拂込資金並びに豫備金總計五四九、〇〇〇、〇〇〇ペソ、貸付及び投資總額一、四八、〇〇〇、〇〇〇ペソ。Caja Nacional de Ahorros が貯金口座の獨占權を持ち、一九三三年六月三〇月における貯金二二八、〇〇〇、〇〇〇ペソに上る。

C 貨幣 チリ一の貨幣單位は金貨ペソで純金〇・一八三〇五グラムを含み、六ペソス或ひは二・一七セントに等しい。二〇、四〇、一〇〇ペソの金貨が鑄造されてゐるが流通はしてゐない。銀貨ペソが主要な貨幣で純銀二・四グラムを含んだものであつたが、一九三四年ニッケル貨(二五%)及び銅貨(七五%)が銀貨に代つた。一九三二年四月兌換は停止された。ペソの換算價格は政府によつて固定されてゐる。一九三三年におけるロンドン爲替相場は一ポンドにつき約五三ペソ、ニューヨークでは一ペソが一〇・二五乃至六・一二セント。ニッケル貨は一、〇・二〇、〇・一〇、〇・〇五の各ペソがある。實際上流通するものは主として金貨の代りに中央銀行が発行してゐる紙

Eliso Peña Villalon(前閣僚)、Guillermo Azócar Alvarez(下院議長)、Humberto Avelino(下院議員)、Rolando Merino Reyes(下院議員)。

【小政黨】以上の五大政黨の外、チリにおける政黨は四〇に近い。このうち議會に代表者を送つてゐる小政黨は一〇を數へる。そのうち主要なるものは Enrique Bravo Ortiz の率ひる社會共和黨(Social Republican Party)、農民黨(Agrarian Party)、Farrigue O. Barbosa を首領とする空想自由黨(Doctrinaire Liberal Party)、社會黨(Socialist Party)、Eugenio Matte Hus-tado に率ひられる N. A. P (Nueva Accion Publica)、社會民主黨(Socialist Democrats)、民主自由黨(Democratic Liberal Party)、共產黨(Communist Party)、AGECHI 等である。

G 國防 【陸軍】國民軍よりなり、強壯なる市民はすべて服務義務がある。服務年限は二〇歳より四五歳まで。現役は二〇歳より一年半、後二年間は豫備、その後四五歳までが後備。後備は第二線軍隊として組織される。國內は三軍區に分たれ、各區で完全な師團動員組織を持つてゐる。軍隊は三師團に分れ、各師團に九聯隊及び三山岳步兵大隊、六騎兵聯隊、四野砲聯隊、三重砲隊及び三山砲隊、一工兵隊、一鐵道聯隊、二飛行隊よりなる。一九三三年における現役兵總數は士官一、三二五、下士兵六、七三五である。

【海軍】チリ一の現有海軍勢力は舊式戰艦三(三四、三六六噸)、巡洋艦A級二(一〇、四一二噸)、B級一(三、四一七噸)、驅逐艦二(一、三、四七五噸)、潜水艦九(五、八八〇噸)である。【空軍】一九一八年一二月イギリス人教導の下に空軍が作られ、一九三三年には飛行編隊一、飛行機數一〇五に上る。

幣で、一〇、〇〇〇、五、〇〇〇、一、〇〇〇、五〇〇、一〇〇、五〇、一〇、五、一の各ペソがある。

D 度量衡 チリにおいてはメートル法が一八六五年以來採用されてゐる。古いスペインの度量衡は現在でも或る程度まで一般に使用されてゐる。またグリニッチ標準時がチリ一時間の代りに採用されて來てゐる。

E 生産 【産業大觀】國內は三地带に別れる。北部の不毛地帯、中部の農業地帯、南部の森林地帯で、北部地帯は天然硝酸曹達の世界全産額の總べてを、沃度は九〇%を、銅は一八%を産する。この北部の礦業と中部の農業とが主要産業である。一九三〇年における耕作地面積は六七、四九四、〇〇〇ヘクタール、森林地帯五、〇八〇、〇〇〇ヘクタール、果樹及び葡萄耕作地面積二九三、六〇〇ヘクタール、牧場地三七、〇八七、〇〇〇ヘクタールである。

【農業】一九三〇年における農畜數二二〇、七三六、平均價格二八、八〇〇ペソ。年々多量の穀物を産するが、同時に優良な葡萄酒(一九三二年の輸出額五、八八九、七五二リットル、主としてドイツ、ベルギーに輸出す)、果實、野菜を産する。葡萄園への投資額約四一四、〇〇〇、〇〇〇ペソ。煙草は一九三二年における耕作地面積四、六二五ヘクタール、産額は重量にして、一〇、二二一、一四二ポンドである。

【畜産業】一九三〇年六月三〇日の調査によれば、馬四四一、〇二七、驢馬三七、四五四、騾馬三一、四一四、牛二、三八七、九四〇、羊六、二六三、四八二、山羊七八八、八三一、豚三三一、一五六。酪農場及びバター、チーズの産額は年々増加してゐる。パタゴニア(Patagonia)及びチエラ・デル・フエゴ(Tierra del Fuego)では廣大な土地が羊の牧場に當てられ、大部分イギリス

ス人によつて經營されてゐるが、一九三二年に於ける羊毛輸出高は二四、七一噸である。

主要農産物

Table with 5 columns: 種別, 耕作面積(エーカー), 産額 (Metric Cwt(1)), 1929-30, 1930-31, 1931, 1932. Rows include 小麦, 大麦, 燕麥, 豆, etc.

註(1) Cwt=Hundredweight 英國で 112 ポンド、米國で 100 ポンド (2) ガロン。

【林業】天然林多く、特にヴァルディウ(Valdivia)、ランキウ(Tranquino)、チロ(Chilo)地方に多い。シヤボン樹(Soap bark)の一九三二年における輸出は七一四噸、主としてドイツに輸出される。

【産出額世界第二、一九三二年の産額一〇三、一九九噸、輸出二一、〇〇〇噸】、コバルト、亜鉛、マンガン。非金屬には石炭、硝酸加里、硫酸、鹽、硫黄(年産額約一五、五〇〇噸)、鳥糞石などがある。金は主として洗砂金でその産額は年々増加しつゝあり、一九三二年には三五、一七九オンス、銀は一八二、八〇〇オンス。鐵はアタカマ及びコキンボ(Coquimbo)地方に産するが、その埋藏量一、〇〇〇、〇〇〇噸に達し、その埋藏量は石炭の産額は一九三二年に一、〇八五、〇〇〇噸、埋藏量二、〇〇〇、〇〇〇噸、一、〇〇〇噸、但し熱量單位はヤ、低。

主要輸出入品

(單位ペソ)

Table with 5 columns: 商品別, 輸入, 輸出, 1931, 1932. Rows include 硝酸加里, 沃度, 羊毛, 鋼, 鐵, 肉(生肉、凍肉), etc.

のチリよりの輸入品は硝石が大部分を占めて、大正一四年には輸入額の三%であつたが、昭和八年には一五%に増加した。その他の日本の輸入品は獸皮及び生肉凍肉等で、硝石はアメリカに次ぎ第二位、羊毛はイギリスに次ぎ第二位

最近の日智貿易額

(單位千圓)

Table with 4 columns: 年度, 日本上りの輸出額, 日本への輸入額, 日入超額。Rows for years 1925 to 1934 (上半期).

を占める。次に従來日本からの輸出は主として生地綿布であつたが、最近英、米等から日本品廉賣反對の宣傳が却つて逆宣傳の効果を齎し、過去に於て輸入を見なかつた綿織絲、荒目粗布、染色、捺染綿布、人絹製品、建築材料及び針金等の鐵製品、電球、護膜製品、陶器、セルロイド製品等の需要が増加するに至つた。

G 交通 【道路】一九三〇年における公道二四、四一四哩。そのうち二〇、〇四五哩は自然土、三、八七八哩は砂と粘土、或ひは砂利、三五八哩は碎石、三七哩はコンクリート或ひはアスファルトである。うち自動車道路となり得るものは一六、〇〇〇哩に上る。一九三一年にお

最近の輸出入

(單位ペソ)

Table with 3 columns: 年度, 輸入, 輸出。Rows for years 1928 to 1932.

人當の貿易額も極めて大である。而も年々輸出超過を見出せるが如きは、チリが天然資源に恵まれその國民經濟の基礎が極めて安固であることを證明して

然し最近の世界的經濟不況は延いては同國各種産業の萎縮小を來たし、貿易額の如きも一九二九年を最高として輸出入共に激減を見せつゝ、即ち輸入においても輸出においても一九三二年は二九年の約八分の一に轉落してゐる。最近チリの經濟界が如何に不振を極めてゐるか、これを以つてしても明白である。

【鐵道】一九三〇年における國有鐵道は三、六〇〇哩、私有鐵道は主として英人所有で五、五四〇哩である。國有鐵道の一九三〇年における利益二三、六四九、五四五ペソに上る。その電化は一九二一年にヴァルパライソ(Valparaiso)―サンティアゴ(Santiago)間に開始され、一一五哩である。

【船隻】一九三三年六月三〇日における船舶は、汽船、モーター船、帆船を合せて二〇、〇四五隻、總噸數一五五、七一〇。一九三二年外國貿易船の入港數一、一六五、二六五噸、出港數一、一七二、二七四噸である。また國內航行河川路は八五、一哩、湖水路は四九七哩に上る。

植民地時代からの家柄、獨立戰爭當時の功勞者等の子孫は今尙政治的權力を持ち、獨立戰爭以來の戰捷國として陸海軍人の勢力が大きい。鑛業及び農業が主要産業であるため、勞働者の數は多く、従つて、産業組合法、勞働災害

法、個人使用人保護法、労働契約法、労働仲裁...

V 文 化

A 宗教 ローマン・カトリックが國家によつて支持されてきたが、一九二五年に國教は廢止された。

B 教育 初等教育は無料で、七歳より一五歳まで義務教育である。

C 新聞 チリで發行される新聞雜誌數八八五に上る。そのうち九六は日刊、一七七は週刊である。

D 都市 首府サンティアゴ(Santiago)の附近に住み、アラウカン人(Araucanian)はアンデスの谷或は西部斜面に住み、チャンゴ人(Chango)は北部海岸地方に住み労働者となつてゐる。

8

パラグアイ

英・獨・佛 Paraguay

I 歴史概観

他の南米諸國と同じく一六世紀頃より次第に増して来たスペイン人によつてその植民地となつてゐたが、一八一一年に至り獨立の宣言を發し、次いで一八一三年アルゼンティンのブエノス・アイレスにあつた獨立政府から分裂して、パラグアイ共和國が建設された。

一八六四年に至り、時の大統領ロペス(Lopez)はブラジル、アルゼンティン、ウルグアイの三國を相手として戦端を開き、五ヶ年間の戦闘によつて約五十萬人を失ひ、一八七〇年にロペスが殺されて大敗北のうちに戦争が終結すると共に

首府)。

Diario Ilustrado; Imparcial (夕刊); Libertad Mercuro (Santiago) 及び Valparaiso); Urtinas Noticias (夕刊); Hoy (週刊); Revista Chilena (月刊); Mercurio (Antofagasta); Discussion (Chilian); Patria (Concepcion); Sur (Concepcion); Tarapaca (Iquique); Estrella (Valparaiso) Union (Valparaiso); South Pacific Mail (Valparaiso) (週刊)。

D 風俗 住民はスペイン人の子孫が多いので一般にラチン民族の風習を持つてゐる。舊教を信じて離婚は許されない。ヨーロッパ文化をあこがれ社交的である。特徴あるものに民謡、舞踊(クエーカ)、競馬などがある。言語はスペイン語を用ひる。土人は近代文化から隔離されて原始的な生活をしてゐる。

VI 自然

A 地理 南アメリカ西部の最南部を占める共和國で、東はアンデス山脈によつてアルゼンティン及びボリビアに接し、北はペルーに隣り、西は太平洋に面し、海岸線約二、四八五哩、平均の幅一一〇哩、世界に著名な細長い國で、一九三〇年の國勢調査によれば面積二八五、一三三哩である。

國土は大部分東境を走るアンデス山脈の分水嶺以西の地を占め、北部に三條の山脈が南北に並行し、中部に至つて二條となり、南部に至つては西側の山脈は海岸の無数の島嶼となつて終つてゐる。東側の主軸山脈は中央部において最も高く六、〇〇〇メートルを超え、南へ行くに従つて高度を減するが、南部は何れも雪線を超えて幾多の水河を有す、この山脈中には多くの火山がある。この主軸山脈と海岸山脈との間には中央平原が横はつて南北に延長し、農産物豊

人口は一九三〇年の國勢調査によれば六九六、二三一一人。同年における他の約五萬人以上の諸都市の人口を挙げれば次の如し。ヴァルパライソ(Valparaiso)一九三二、〇五五人。コンセプシオン(Concepcion)七七、五八九人。アントファガスタ(Antofagasta)五三、五九一。ウイナ・デル・マル(Vina del Mar)四九、四八八人。

現行の憲法に改められて純然たる民主的共和國となる。その後、多くの國內の政治的紛争とボリビアとの國境に關する衝突を續けながら今日に到つてゐる。

II 政治

A 政治機構 一八七〇年民主的憲法制定せられ、その政治機構は立法權が國民の直接選舉による上、下兩院よりなる議會へ與へられ、行政權は四年の任期を有する大統領及び五人の國務大臣によつて執行せられ、且つ司法は獨立の大審院を主とする司法制度によつて行はれる三權分立主義に則る。

【大統領】 エウセビオ・アヤラ博士(Dr. Eusebio Ayala) 一九三二年五月八日選出せられ、同年八月一日就任、自由黨出身。
【政府】 アスンシオン(Asumion)
B 行政 行政權は四年を任期とする大統領にあり、大統領の下に内務、外務、國防、司

かな卓狀地となつてゐる。

地勢・氣候・産業上から國內を三地带に分けられるが、北部地带は南緯約三〇度附近まで、降雨少なく乾燥して地方によつては沙漠を形成してゐるが、鐵産物多き鐵業地帯である。中部地带はそれより以南四〇度附近まで、降雨適當、中央平原の最もひらけた地方で農業牧畜地帯で人口の最も稠密な地帯である。南部地带はこれより以南、ホーン岬に至るまでを含み、氣候比較的寒冷、雨量多く、森林地帯をなし、海岸に島嶼多く、漁業も行はれる。

河川は主としてアンデス高地から急奔西流し、何れも流域短く、航行の便は少ないが、水力電氣に利用されてゐる。湖沼は南部に多い。B 氣候 北は熱帯に屬し、南は寒帯に近く、東部はアンデス山脈の高地、西岸には寒流あり、氣候は處によつて著しく異つてゐる。夏季一月の平均温度は北部約二五度、南部約八度。冬季七月の平均温度は北部約一六度、南部約零度。中部はやゝ高温ではあるが比較的健康地である。降雨も處によつて著しく異り、北部には殆んど降雨なく、これに反して南部には雨量が多い。

C 人口 一九三〇年の國勢調査によれば全人口四、二八七、四四五、そのうち男子二、一三二、七〇九、女子二、一五四、七三六。四九・四〇%は都市人口。一、三三七、八一四人即ち全人口の三一%は利益ある仕事に従事せるもの。一九三三年一月一日の概算人口四、四〇三、四六五。一九三二年における出生者數二四八、四九五、死亡者數九九、六六四、結婚數二八、八一三、旅客入國數二五、一〇七、出籍數二五、九三〇。住民の大部分はヨーロッパ人の子孫である。固有の土人は三種に別れ、フエヒ人(Fuegian)は殆んど遊牧民で Tierra del Fuego 或はそ

法、大蔵の五人の國務大臣が置かれ、内閣を組織し、國務を分擔する。現内閣はアヤラ大統領の下に一九三二年八月一日組織せられたる自由黨内閣にして、關係の煩觸は次の如し。

- 外相 ビー・ベニテス (J. P. Benitez)
- 内相 エム・ベニテス (Mendez Benitez)
- 國防相 ロファス (Rojas)
- 蔵相 バンクス (B. Banks)
- 司法・教育相 プリョット (J. P. Prieto)
- C 立法 立法權は議會 (Congreso) にあり、上院(Senado)と下院(Camara de Diputados)の兩院より成り、上下兩院共、國民の直接選舉によりて選出せられ、上院は定員二〇名、下院は定員四〇名とする。議員は一八歳以上の男子の直接選舉によつて選ばれ、任期は上院六ヶ年、二年毎に三分の一宛改選され、下院は任期四ヶ年、二年毎に二分の一宛改選される。上院は國民八千乃至一萬二千人につき一人、下院は三千乃至六千人につき一人の割合で選出される。現議會における上下兩院の議長及び政黨の勢力關係は次の如し。但しそのうち國民共和國に屬する上下兩院の議員は一九三一年一月以來政府と衝突して議員を辭任してゐる。
- 上院議長—Dr. Paul Casal Ribeiro (自由黨)
- 自由黨 一四名
- 國民共和黨 六名
- 計 二〇名
- 下院議長—Geronimo Riart (自由黨)
- 自由黨 二五名
- 國民共和黨 一五名
- 計 四〇名

D 司法 大審院一、控訴院二(一つは民事、他は刑事、商事を處理する)あり、また陪審院制度設けらる。下級裁判所の判事は一七名、

首府アスンシオンには三人の警務長官が置かれる。この警務長官の権限は地方にあつては出生、結婚の登記者たる一三九名の地方委員に與へられる。

E 地方行政 全国を二地方に區分し、パラグアイ河以西をオリエンタル(Oriental)とし、パラグアイ河以東をオシエンタル(Occidental)とす。オリエンタル地方は十二縣(コンセンシオン Concepcion, サンペドロ San Pedro, カラガタイ Caraguatay, ヌエボリカ Villarica, ー Yhú, カーサバ, Caszaba, エンカルナシオン Encarnacion, サン・イグナシオ San Ignacio, キンディー Quindy, キンタ Villeta, ヲラグアアリ Panguari, ヲラル Piar)に分れる。更に之等は二〇四區(partidos)に分れる。オシエンタル地方は三の司令區(Commandancias militares)に分れる。また首府アスンシオンは幾多の警備區域に分たれ、都市秩序には警備區域隊長が之に當る。

F 政黨 パラグアイには自由黨(Liberal Party)と國民共和黨(National Republican Party)との二大政黨の對立を見らる。現在は自由黨が政權を握つてゐる。

【自由黨】同黨の政綱には急進自由主義的政策をかゝげ、社會立法、國防充實、男女教育平等制、財政改革、中央銀行設立、國產獎勵、選挙法の改正等がその主なるものである。

黨領袖—Dr. Jose P. Guggiani (前大統領) Dr. Eusebio Ayala (現大統領) Dr. Raul Casal Eibeiro (副大統領) Narciso Mendez Benites (内相) Victor Rojas (國防相) Justo prieto (法相) Luis Escobar (前内相) Dr. Belisario Rivardo (前内相) Dr. Luis A. Riart (前國防相) Dr. Justo P. Benitez (外相) Dr. Manuel Burgos (黨總裁)。

【國債】一九三二年一月三日現在における外債は三、三四五、七四二金貨ペソに上る。また整理内債は三、一七四、五一二金貨ペソ、流動公債は九七、七三三金貨ペソに上る。

B 銀行 主要なものには Bank of London and South America, Ltd. S 一支店及び Banco Germanico de la America del Sud, Banco del Hogar Argentino, Banco Agrícola などがあるが最後のものは事實上政府の一部門で農業の開発が委任されてゐる。

C 貨幣 貨幣單位は金貨ペソ(peso)である。アルゼンティンの貨幣制度と同じ基礎の上に立つもので九六・五セントに等しい。實際には金貨も銀貨も流通せず、紙幣ペソ(およそ英貨一ペニーに相當)とニッケル貨があるのみである。ニッケル貨には一ペソ、二ペソ及び五〇セントのものあり、一金貨ペソは四二・六一紙幣ペソに當る。商業上の取引及び政府の取引には暫々金貨ペソ及び紙幣ペソの兩者とも用ひられてゐる。

一九三二年一月三日における全紙幣流通高は一九六、五一〇、〇〇〇紙幣ペソで、換算基金及び他の諸銀行への預金によつて保證されてゐる。金の貯蔵量は七四九、〇〇〇、〇〇〇グラムである。獨立基金一、〇〇〇、〇〇〇金貨ペソを有する國立銀行兌換局は、アルゼンティン紙幣ペソに對してパラグアイ紙幣一八・七五ペソ、アルゼンティン金貨ペソに對してパラグアイ四二・六一ペソを以つて交換してゐるが、一九三二年における世界の爲替相場の変動によつて國內の外國爲替資源の統制にアルゼンティンの協同を求められてゐる。

【度量衡】パラグアイの度量衡は一九〇一年一月一日以來正式にメートル法が採用されてゐる。

【國民共和黨】保守的政策をかゝる。一九三二年の大統領選挙には黨は候補者を出馬せしめなかつた。

黨領袖—Tomás Romero Pereyra (黨首) Dr. Francisco G. Chaves (前法相) Dr. Manuel T. Frutos, Dr. Eclardo Lopez-Moreira, Frederico Chaves, Antonio Sosa, Dr. Cesar Vasconcellos.

G 外交 パラグアイ外交において特に關心する意義を有するのは隣國ボリヴィアとの國境問題である。この問題のため一九二九年兩國關係に緊張を呈せるも、現政府は國際平和外交によつてその暫定的解決を見るに至つた。

對英關係は最近頗る親善化しパラグアイはイギリスのグラスゴウ、バーミンガム、マンチエスター、カーディフ、リヴァプール、ブラッドフォード、サザンプトンに領事を派遣し、イギリスも亦パラグアイに領事を駐割せしめてゐる。

對日關係は大正八年一月十七日當時チリ駐割田付公使により首府アスンシオンにおいて調印された修好條約に始まる。爾來アルゼンティン駐割日本公使、パラグアイ兼任となり兩國關係圓滿に進行してゐる。パラグアイ己れを呼ぶに「南米における日本」を以つてするが如く日本人に好感を寄せ日本移民を歓迎するが、しかし從來日本人の移民、投資するものなく、ブラジルに移民の希望を失ひたる日本人は今や氣候温暖、農業牧畜に適地たるパラグアイの存在は一考察に價するに至つた。

H 國防 陸軍一〇〇人の士官と二、八〇〇人の下士とより成り、歩兵四聯隊、騎兵一聯隊、砲兵二大隊より構成され、兵役は一八歳より二〇歳までのものは二年間強制服役義務あり、二〇歳より二九歳までは補充兵、二九歳より三九歳までは國民軍、三九歳より四五歳までは國防兵である。

D 生産 【産業大觀】パラグアイの土地は極めて生産力に富み、氣候も亦多くの亞熱帯生産物の耕作に適してゐる。しかしながら多年に亘る政治上の紛争と國民の懶惰のため、各種の富源の開発は著しく遅れ、農業の如きもパラグアイが天恵の農業富源を有するにも拘らず、その耕作面積は全國土の約一パーセント位しか當つてゐない程である。然し最も盛大なのは畜産業にして、パラグアイの經濟的基礎は畜産にあると云つても過言ではない。

パラグアイ國の重要問題と見られるのは、二年間に亘る戦ひに依り死者一萬二千人を算したりと云はれて居るボリヴィアの國境問題、チャコ地方に關する事である。同地方の天然資源は、主として近年盛大となつたタンニン製造の原料材たるケアラチョー森林と、將來擴大され得るに充分の見込ある棉花栽培とである。以上の他に近時石油の産出に就いて、注意され始めた事と、更に亦此地域を通るビルコマヨ河の水路獲得がボリヴィアの南大西洋に出る重要關門たる事が軍政上の注意を著くに至つたことである。(ボリヴィアの章參照)。

【農業】マテ茶(Yerba Mate)は天然産物のもとの栽培されるものとあり主要な輸出品(一九三二年には六、二六九メートル噸)煙草(一九三二年一、〇〇〇メートル噸)、果實は特にオレンジ多く、一九三二年の輸出額三〇、八七三、〇〇〇個、タンジェリン(Tangerine)一〇、三〇〇、〇〇〇個、オレンジの葉を蒸溜して製する細粒油は香水の製造に用ひられ年々主としてフランス及びドイツに約八〇メートル噸輸出される。バナ、の栽培も初められてゐる。砂糖の耕作面積は三五、〇〇〇エーカー、主として酒類製造に用ひられ、一九三二年の砂糖産出高七、六九三噸。砂糖工場一〇個あり。米の一九三二

年の産出額四、三〇二。玉蜀黍の栽培面積九、〇〇〇エーカー、一九三二年の産額六、三〇七噸。その他にマンデイオカ(mandioca)、甘蔗、落花生等が少量産する。綿の高地式栽培は政府が奨励するところ、それは早くみゆるためにアメリカの收穫がまだあまり市場に出ないうちに出すことが出来る。労働力の不足に困難を感じてゐるが一九三一年—三二年における耕作面積は二七、二六四エーカー、産額八、四一メートル噸、操綿機に掛けたもの二、四二三メートル噸。レーメの製造は相當に行はれてゐる。

【畜産業】 牧畜はパラグアイ最大の産業にして、家畜の数は約四百萬頭に上る。肉の包装工場四個あり、政府の奨励を受け、獸皮、切干し肉、コールド・ビーフ及びその他の産物が輸出される。獸皮の年産額は、生皮約二十五萬枚、干皮約十萬枚、それに包装工場より生産される約十二萬枚である。

【林業】 パラグアイには處女林が二十五萬乃至三十萬平方哩あり、優良な木材多く、チャコ地方(Chaco)にはケアラチョ(Quebracho)の樹多く、一九三二年のその輸出額は二七九噸、その樹皮エキス輸出額は四九、六〇四噸に上る。

【鑛業】 鐵、マンガン、銅その他の鑛物の埋藏量は多い。イビクイ(Ibicui)の鐵鑛山は早く一八六三年より採掘されてゐる。クイクイオ(Quirico)及びイビクイのマンガン鑛山はその鑛石埋藏量六〇、〇〇〇噸と見積られてゐる。銅も亦サン・ミケル(San Miguel)及びクイクイオに發見されてゐる。

E 外國貿易 パラグアイの外國貿易額は世界の經濟不況のため著しく減少を呈してゐる。世界的經濟不況の影響を受けることの少なかつた一九三〇年の外國貿易を見るに輸出総計二千九百金貨ペソに上るも、一九三二年には僅か

【海軍】 三隻の商船隊と、イタリヤにて建造された八三五噸の二隻の砲艦、及び二百噸級の機装せる河船隊を有す。尙、一九三〇—三一年の國防豫算費は六七、九七八、二二三ペソに上る。軍備は常に隣國ボリヴィアを對象として編成される。

III 經濟

A 財政 一八六四年—七〇年に亘る對三國戰爭以來、パラグアイの財政は極端なる窮乏を來たし、赤字公債によつて僅かに彌縫して來た。斯くて一八八九年以來減債基金の制度が設けられ、幾分その財政状態は改善され、更に世界大戰の餘波を受けてパラグアイ經濟界は一躍未曾有の好況に恵まれ、財政も漸次鞏固となるに至つた。その後、一九二〇年に至り戦後の世界的經濟恐慌の餘波を受け一時財政的危機に直面せるも、時の爲政者はよく財政整理を斷行して、その困難を切抜け、その小康を得て今日に至る。

最近の歳入歳出 (單位:ペソ)

8月31日に 終る會計年度	歳入	歳出
1926-27	6,103,833	6,103,753
1927-28	5,187,469	5,147,668
1928-29	5,950,181	5,950,135
1929-30	6,306,227	7,082,944
1930-31	6,453,240	6,445,945
1931-32	5,704,080	5,703,004

一九三〇年—三一年における國內稅收入は一、六三三、〇〇〇、五五五ペソにして關稅收入は二、九七四、二二五ペソである。

最近の輸入輸出額 (単位金貨ペソ)

年度	輸入	輸出
1928	14,305,119	15,886,208
1929	13,850,095	13,459,766
1930	15,139,359	14,176,453
1931	10,080,732	12,856,585
1932	6,417,646	12,872,945

率を見てみるに對して、輸出においては僅か一割強の減少率である。従つてパラグアイは一九三一年以來、嘗つての輸入超過貿易より、斷然輸出超過貿易に轉じてゐる。三二年度には輸出額は輸入額の殆んど二倍に上つてゐる有様である。

一九三二年度の輸出の主要なるものは皮革(三〇〇、六一四)、コールド・ビーフ、肉汁、綿(二、八七三噸)などであり、主要輸入品は綿、羊毛、織物、小麦粉、ペトロール等である。一九三二年度の金輸出のうち六、六三三、七五〇金貨ペソの物貨、即ち金輸出額の五一%はアルゼンティンに行き、そこから五、五一〇、七一三金貨ペソの物貨は再輸出された。一九三二年度の輸入はアルゼンティンから二、四八七、二九三金貨ペソ、アメリカから八二三、三四三金貨ペソ、イギリスから七六六、二三一金貨ペソである。

F 交通 【鐵道】イギリス所有の鐵道(パラグアイ中央鐵道 Paraguay Central Railway)はアスンシオン(Asunción)からエンカルナシオン(Encarnación)まで通じ、幹線二三二哩、今日ではアスンシオンからブエノス・アイレスまで高等學校で、アスンシオンにあり、一九三一年に生徒數一、二二一。大學には一九三二年學生數四六九、教授數三六。學内の完全な自治が一九二九年から學生、學友及び職員を以つて作る一團體に許されてゐる。また七師範學校の生徒數は一九三二年現在七二四名を數へる。

C 新聞 パラグアイの新聞はすべて首府アスンシオンに集中され、別表に掲載せるが如き日刊六紙、週刊一紙、隔週刊一紙を數へる。うち政黨新聞は自由黨系紙二紙、國民共和黨系紙一紙のみにして、他のラテン・アメリカ諸國に比較して新聞の政黨色は概して少ない。

D 風俗 スペイン人とインディアンとの混血人種が多いこの國は、外國との接觸が割合に少ない内陸國であるために、その風俗も海岸の諸國の如く急激に近代化するに至らず、多く舊い先祖のスペイン風の衣食住その他の風俗が残り、これに先住民族の風が加はつて一種のパラグアイ風俗をなしてゐるが、一般には文化の程度低く奥地に至つては何等近代文化の光に浴さない原始生活をなすものもあり、懶惰の風があり、酒、煙草を好み、マテ茶を飲む。過去の戦亂によつて男子の數が少なかつたことなど原因して、女性一般によく働くとはいはれてゐる。

E 言語 パラグアイ人はスペイン語及びグアラニ(Guarani)語の二つを用ひてゐる。グアラニ語は今日絶滅してゐるグアラニ・インディアンの言語で、この人種はスペインの征服時代この地を領有してゐた人種である。

VI 自然

A 地理 南アメリカ州のほぼ中央に位置する内陸國で、北はボリヴィア、東はブラジル、西南はアルゼンティンと接する。

で積換なしに連絡してゐる。パラグアイの一會社所有の El Ferrocarril del Norte はロシニエブシオン(Concepcion)からオルケタ(Hurquea)まで通じ、全長三三三哩。この鐵道はブラジルの國境のアドロ・ファン・カペロ(Pedro Juan Caballero)まで通ずる計畫が立てられてゐる。イコティ(Hyrymi)縣の Antera Paraguayana は一五哩。鐵道全延長六六九哩。地方の道路は不完全で輸送には困難である。

【船舶】アスンシオンが主要な港で、海からは九五〇哩離れてゐる。パラグアイ河は吃水一二フイートの船ならばロシニエブシオン(Villa Concepcion)まで航行出来る。それ以下の小船ならば一、八〇〇哩さかのぼる。一九三二年度にアスンシオン港に入港せる船舶數三、七三〇、總噸數三〇五、四九八、出港せるもの四、三九〇、總噸數三三六、三三〇。パラグアイ及びアルト・パラナ(Alto Paraná)兩河の交路に従事してゐる主要會社はアルゼンティン航海株式會社 Argentine Navigation Company, Ltd. で、所有權はイギリス人が握つてゐる。

G 通信 國內電信(局數一一〇)はアスンシオン、ロシニエブシオン(Corrientes)、ボサダス(Posadas)を連結して國外へ通じてゐる。全長二、九四四哩。電話線は一九三二年に四、六三六哩。ボサダスとの長距離電話は一九三二年に開通。無線局はアスンシオン、ロシニエブシオン、ダラグアリ(Darrigari)、バイア・ネグラ(Tahia Negra)、フエルト・カサド(Puerto Casado)の五ヶ所にある。パラグアイは一八八一年郵便聯合に加入、郵便局二五七を有す。

III 社會

重要産業の多くは外國人の手に歸し、土着のパラグアイ人はそれらの下に労働者や農僕となつてゐる。ボリヴィアとの國境線は未だ決定してゐないが、地形的に見ればパラグアイ河を境にして東西の地勢を全く異にし、東部は大體において波濤狀の丘陵臺地で、やゝ著しい山脈が二三あるが、大部分森林に覆はれ、地味は極めて肥沃である。西部は一面平坦な草原で、處々に森林が点在する單調な土地で、地味は東部に劣つてゐる。パラグアイ河及びパラナ河は共に舟行の便がある。

B 氣候 北部は熱帯に屬してゐるが、全體として亞熱帶的な良好な氣候で健康地である。一二月から三月頃までは温度は高いが雨季暖、六・七月頃には降霜を見ることもあるが、寒さを感じる程ではない。低部にあつて氣温の最も高いチャコ地方でも平均温度二四度、北部の高地で氣温の最も低い部分が二一度。最も暑い一月の平均温度が二七・五度、極寒季節の七月の平均温度一六・五度である。

C 面積 パラグアイ本國即ち「オリエンタル・セクション」(Oriental Section)といはれてゐる部分は、パラグアイ及びアルト・パラナの兩河の間にあり、その面積約一五九、八三四平方キロメートル或ひは六一、六四七平方哩と稱されてゐる。公式には一〇〇、〇〇〇平方哩と稱せられ、パラグアイ河とビルコマヨ河との間にあり、所謂チャコ(Chaco)地方をも含めるものであつて、これがパラグアイの主眼するところであるが、ボリヴィアはこれを承認しない。一九二八年一月に烈しい衝突が起つて兩國の外交關係は破られ、その爲紛争絶えず今尙解決してゐない。

D 人口 一九三二年度の全人口は八七〇、一九七と見積られ(チャコ地方の人口六七、五〇〇)をも含み、そのうちにはインディアンが約一

つてゐる。生活程度は頗る低級で、殊に地方の人々は殆んど近代的な生活を知らず、原始時代そのまゝな生活を繼承して、掘立小屋に自給自足の原始的生活を營んでゐる。従つて労働賃金も中米・南米を通じて最も廉い。労働力は一般に不足してゐる。

V 文化

A 宗教 ローマ舊教が國教であるが、他の諸宗教に對しても自由に布教することが許されてゐる。パラグアイ大僧正はアスンシオン(Asunción)に居り、僧正はウイラリカ(Villarica)及びロシニエブシオン(Concepcion)にゐる。ローマ舊教及び他の諸宗教に結婚の儀式は許されてゐるが、宗教によらぬ結婚手續のみが有效である。

B 教育 初等教育は無料で形式的には義務教育であるが、學校が何處にてもあるといふわけには行つてゐない。一九三二年にあつて官立及び私立の初等學校は一、五七七、生徒數一〇四、九九四、教師數二、二六〇。私立五三校にあつては一九三二年教師數一七二、生徒數一、二二一。國立大學(National College)と、ユースは

主要新聞紙

新聞名	黨派	色
Critica	中立	立憲主義
Diario	自由黨	機關紙
Liberal	自由黨	立憲系
Orden	自由黨	黨系
Tribuna	國民共和黨	黨系
Patria	經濟方面	(週刊)
Industrias	經濟方面	(週刊)
Revista del Comercio	經濟方面	(隔週刊)

註 すべて首府 Asunción に發行する。

五、〇〇〇あり)、密度は一平方哩五人の割合である。

E 住民 パラグアイの住民の人種別を見るに、オリエンタル・セクションのみに就いて言へば、メステイソ(白人とインディアンの混血)、インディアン、ヨーロッパ人(主としてスペイン人)で、血族的に言へばヨーロッパ人の血が優勢である。

F 移民 一九〇五年より一九三三年一月までの移民數二〇、一八七人で、そのうちには、カナダ、ロシア及びポーランドから來たメノナイト教徒(Mennonite)の農民三、八九一をも含んでゐる。移民の大部分は國家が補助してゐる二七の植民地内に着落し、一九三二年における移民到着數は僅かに五〇八名に過ぎず、今日では國有の土地は非常に少なく、大部分は地主の私有に歸してゐるが、その方の土地は廣大である。一般に労働力は缺乏してゐて、土地の開発は移民に俟つところが多い。

G 都市 首府アスンシオンは一五三七年の創立にして、一九三二年一月三日の人口は九四、一八七人で、全人口の約九分の一にあたり、その四圍の地區をも含めれば二二八・六〇〇人で、全人口の四分の一にも當る。その他の大都市及びその一九二六年の人口を擧げれば、ウイラリカ(Villarica)二六、〇〇〇人、ロシニエブシオン(Concepcion)一、〇〇〇人、エンカラシオン(Encarnación)七、五〇〇人、サン・ペドロ(San Pedro)八、七〇〇人、ルケ(Luque)一三、〇〇〇人、カラベグア(Carapegua)一、二〇〇〇人、パラグアリ(Parguari)一〇、〇〇〇人、ウイラ・デル・ピラル(Villa del Pilar)六、〇〇〇人である。(以上の各都市の人口數は概算であり、總べてその郊外の人口をも含めてゐる)。

9

フォークランド諸島 英領

英・露・佛 Falkland

I 歴史 一五九二年テイウイスによつて発見され、一七一〇年フランス商船がこゝに到着し、マルイヌ諸島と命名し、その後フランス人、イギリス人、イスパニヤ人等が来住したが、終に一八三三年イギリスの直轄植民地となつて現在に至つてゐる。世界大戦中(一九一四年一月二日)における英獨のフォークランド沖の海戦は有名である。

II 政治 知事によつて統治され、補佐機關として行政會議(Executive Council)と立法會議(Legislative Council)があり、前者は官吏三名、民間一名より成り、後者は官吏四名、民間二名より成る。

【知事】サー・ジェイムス・オグレイディ(Sir James O'Grady)

【首府】スタンレイ(Stanley)、人口一、三〇〇人(一九三二年)

最近の歳入歳出

Table with 3 columns: Year, Income, Expenditure. Data for 1933, 1929, 1930, 1931, 1932.

III 財政 一九三二年の主要歳入は關稅二八、九五三ポンド、クラウン諸島地代三、〇三三

ポンド、國內收入一、六三三ポンド、利息一四、四八八ポンド、郵稅一、二三〇ポンド、土地賣却三〇、六二六ポンド。一九三二年末において資産は負債よりも三一八、四七〇ポンドの超過を示してゐる。一九三二年末現在の貯蓄銀行の預金者は一、〇二六名、差引残額は一六九、一九九ポンドに上る。

IV 産業 主要産業は牧羊で、牧場は約二、八七五ヘクタールあり、一九三二年羊の頭数は六一五、七六七。捕鯨も盛んで一九三二年には鯨油一、二七〇、五七樽を輸出してゐる。海豹の捕獲も行はれ、同じく一九三二年その油の製造高一、八四二樽に及んでゐる。

最近の輸出入額

Table with 3 columns: Year, Import, Export. Data for 1928, 1929, 1930, 1931, 1932.

【輸出品】羊毛及び鯨油の製品であり、主要輸入品は食料品、石炭、コークス、石油、反物、金物、機械類等である。

【交通・通信】一ヶ月乃至六週間に郵便飛行あり、イギリスの汽船が南アメリカ西岸の諸港經由で連絡し、島と島との間の交通はステイムボートによる。スタンレイ(Stanley)に電報局があつて、ダーウィン(Darwin)その他植民地と連絡し、又無線電もパーゲン、ノールウエイ、チリその他と連絡されてゐる。一九三二年における船舶入港数は七三隻、一三八、三五九

噸に上る。 V 自然 南大西洋の一群島で、マゼラン海峡の東方三〇〇哩に散在し、南アメリカ迂回航路の要地に當つてゐるが、東フォークランド、西フォークランドの二大島の間にフォークランド海峡あり、その他約二〇〇の小島嶼から成り、面積は東フォークランド二、五八〇平方哩、西フォークランド二、〇三八平方哩、屬島を加へて總計四、六一八平方哩に上る。その他に南ジョージア(South Georgia)は約一、〇〇〇平方哩あり。その他屬島の主要なものも挙げれば、サウス・シェットランド(South Shetlands)、サウス・オークネイス(South Orkneys)、サントウウィッチ群島(Sandwich Group)、グラハムス・ランド(Graham's Land)等がある。屬島は南緯五〇度以南西經二〇度より五〇度、南緯五八度以南西經五〇度より八〇度に亘る。

人口は東西兩フォークランドにあつて一九三二年の推計二、四二八人(男一、三六六人、女一、〇六二人)、他に南ジョージアの捕鯨植民地に五六二人(うち女二名)がある。フォークランドにおける一九三二年の出生率は一、〇〇〇に就き二一・二一人、死亡率は四・五五人である。

10

佛領ギアナ

佛 Guyana, 獨 Guayana

I 歴史 ギアナの地が初めて発見されたのは一四九九年とされてゐるが、この地が金銀財寶に充ちてゐるといふ傳へを聞いて、ヨーロッパ人の探検者の次第に多くなつたのは一六世紀頃であつて、一六世紀末には現在の英領中にあるエッセキボ河流域に植民地を作り、ついでオランダ西インド會社が活動し、一六六七年イギリスとオランダとの間の和約によつてイギリスの植民地も獲てから、オランダの勢力は大いに振ひ、フランス人の移住の初まつたのは漸く一七世紀の半ば頃からで、カイエンヌを初め多くの植民地を立てた。その後南方アマゾン方面からポルトガル人の活動もあつて各植民地は互に相争ひ掠奪を事としてゐたが、一八四四年のロンドン協約、次いで一八五一年一月二〇日のパリ條約によつて、今日の英領、蘭領、佛領の三ギアナの領域が確立された。

II 政治 一八一五年のバリ條約以來フランスの植民地となつたもので、知事(Governor)によつて統治され、七名より成る樞機會議(Privy Council)がこれを補佐する。尙八名より成る一般會議(Council General)があり、議員はギアナ在住のフランス市民によつて選舉され、本國議會には一名の下院議員を送つてゐる。同植民地はカイエンヌ島を含み、同名の都市が植民地政廳の所在地となつてゐる。

カイエンヌには第一審裁判所一、控訴院一、があり、その他の地方には治安裁判所がある。國防のためには、士官及び下士卒卒合せて三〇〇名の植民地歩兵隊がある。

【首府】カイエンヌ(Cayenne)、一九三一年における人口は一〇、七四四人。

III 經濟 【財政】一九三一年度における佛領ギアナの豫算は一六、七五五、六六六フランである。

【金融】ギアナ銀行(Bank of Guiana)は政府の管理下にあり、その法定資本金は三〇〇、〇〇〇フランで、農業その他の事業のために貸出を行つてゐる。

【産業】農業はあまり振はず、耕作地は約七、九〇〇ヘクタールで、主要農産物は、米、玉蜀黍、マニオク、ココア、コーヒー、甘蔗などである。森林は豊富で各種の木材を産するが、最も重要産業は砂金採取である。

【外國貿易】一九三二年の輸入額は四三、五一、三三四フラン、輸出額は二五、九三七、〇六九フランで、主要輸出品はココア、磷酸鹽、各種木材、金、魚膠、ラム酒、香油、バラタゴム、獸皮などである。

【交通】首府と他の主要都市との間には自動車道路が通じてゐる。港はカイエンヌ(Cayenne)、サン・ローレン・ド・マロニ(Saint-Laurent-du-Maroni)、オヤボック(Oyapoc)の三港がある。首府及びその他の主要都市間には蒸氣船の連絡がある。

【通信】なほ電信も主要都市間に連絡し、無線電信局も五ヶ所にある。

IV 社會・文化 フランスの植民地として社會的には本國の政治的・經濟的支配下にある。種族的に見れば黒人多く、今尙原始的生活をなしてゐる。職業的に見れば、林業及び鑛業の

労働者多く、フランスはこの地を一八五四年以來罪人の流刑地としてゐるために、移民的素質を低下せしめてゐる。文化的には未だ見棄てられた野蠻境に過ぎず、小學教育は市町村に委ねられ、その他に中等學校一、師範學校一、組合教會の學校及び私立の學校が數校ある。一九三二―三三年の生徒總數三三、二〇〇人で、その他に流刑者植民地に三校あり、生徒數二五八人がある。

V 自然 マロニ河を境としてオランダ領ギアナの東に接し、東はキヤチアル河により、南はツマク・ツマク山脈(Tunac-Hunac)によつてブラジルと境し、北は大西洋に面してゐる。北は北緯五・四五度、南は二度、東は西經五一・三〇度、西は五五・一〇度に位する。土地は南方に高く、これより中央部に向つて一條の丘陵地が約南北に走り、その東西北の三面が低くなつてゐる。沿海は低平で土地は肥沃であるが處々に沼澤があり、マングローブが密生し、内地の高地は砂金を含んだ花崗砂と粘土とを混じ、均しく肥沃で、水利の便は良好である。氣候は炎熱で降雨多く、春三月頃數週間の晴れ間を見る他一〇月から七月まではひきつづき降雨あり、降雨のない時期でも空氣は遙に濕氣を帯びてゐる。

【面積・人口】その面積は約三四、七四〇平方哩、人口は一九三一年において二二、一六九人を數へるが、そのうち首府のカイエンヌ一〇、七四四人、その他の一四自治體(Communes)一、四二五人の、この數字にはマロニ(Maroni)の流刑者植民地の住民、鑛山労働者中の浮浪者、軍隊及び土人は除かれてゐる。また首府カイエンヌはアラバ河(Arapa River)の河口近くに横たはるカイエンヌ島(Island Cayenne)にあり、無線電信局が設けらる。

ブラジル

英 Brazil, 獨 Brasilien, 佛 Brésil

立憲共和国

I 歴史概観

一四九九年コロンブス一行はアマゾン河を發見したが、翌一五〇〇年五月三日ポルトガルの海將カブラル(Pedro Alvares Cabral)ブラジルの到着し、直ちに之を占領してポルトガルの植民地となつたが、爾來本國の勢衰と共に幾多變遷し、一八〇八年ポルトガル王ジョアン六世(John VI)ナポレオン一世に追はれてブラジルに來りて政府を建設、一八一五年この植民地の王國たることを宣言し、王の歸國後は長子ドム・ペドロ(Dom Pedro)が殘つて統治の任に當つたが、當時フランス革命の影響を受けてブラジルの國民の自由が叫ばれ、遂に一八二二年ブラジルの獨立を宣言し、同年一月二日ペドロ選ばれて皇帝となり、ペドロ一世と稱した。その後、奴隸制度廢止等に端を發して革命起り、一八八九年一月一日、ペドロ一世の子ペドロ二世は退位して、アメリカ合衆國の制度を模して「ブラジル合衆國」なる名稱の下に共和國が建設された。一八九一年憲法發布され、爾後大統領十數代を経て今日に及んでゐる。

II 政治

A 政治機構 一八九一年に憲法制定され、一九二六年に改正を見、一九三〇年の革命以來、憲法停止されてゐるが、一九三四年七月に至り新憲法發布さる。同憲法によれば、ブラジルは

聯邦共和制にして、二〇州及び一直接領より成る。聯邦の權限に屬するものは、外交大權、國防、通貨、郵便等を主たるものとする。國家の首長は大統領にして、任期は四年とする。三權分立主義が採用され行政權は大統領に、立法權は二院制の議會に屬し、司法權は裁判所之を有す。

【大統領】 ゲツリオ・ド・ネラヌ・ヴァルガス(Dr. Getulio Donelmas Vargas) 一九三〇年一月三日、クー・デターを起して前政府を顛覆し、自ら臨時大統領の地位に就き政府の首長となり、憲法を停止し、長く獨裁政治を布く。その後、三四年七月一日發布の新憲法に基く同月十七日執行の大統領選挙において議會の絶對多數の投票により正式に大統領に選出、新憲法による第一次大統領として就任。

【首府】 リオ・デ・ジアーネイロ(Rio de Janeiro)

B 行政 行政權は共和國大統領の掌握するところにして、大統領の任命による各省大臣は大統領を補佐して國務を執行する。内閣は最初六省に分れてゐるが、現在は八省である。内閣制度はアメリカ合衆國のそれと近く、總理大臣にあたる位置なく、各省大臣は大統領がその補佐として任命せるものにして、從つて議會に責任を有せず、大統領にのみ責任を負ふ。而して各省大臣は他の官職に就き、或は在職中副大

統領或は上下兩議員たることを得ない規定である。

【現内閣】 現内閣は一九三〇年一月三日ヴァルガス新政權の下に組織されたものにして、その後、數次の更迭が行はれ、一九三四年初頭における閣僚の顔觸は次の如し。

- 陸相 カルマン將軍 (General Espirito Santo Carlos)
- 海相 グイヴァネス提督 (Rear Admiral Protogenes Guimarães)
- 農相 タヴァン (Juarez Tavora)
- 運輸相 アルメイダ (Jose Americo de Almeida)
- 法相 フシナル (Francisco Antunes Maciel)
- 労働・商工相 サルガタ (Joaquin Pedro Salgado)
- 教育・保健 サハノク (Washington Pires)

C 立法 一九三四年七月發布の新憲法によれば立法權は上下兩院より成る議會に屬す。上院は全國二〇州及び一聯邦直轄區より選出された議員四名より構成さる。これに對して下院は全國二〇州及び一聯邦直轄區より、人口十五萬人毎に一名の割で、合計二一三名の議員が選出され、その五分の一は職業組合より選出さるべき筈である。從つて職業組合より選出する議員が下院の五分の一を占めるわけにて、新憲法による議會は職能代表制を或る程度まで採用してゐるといふ點において注目し得る。以上の如き新憲法による新議會の下院は一九三四年一月一日に總選挙が全國に互り平穩裡に執行され、審査期間一ヶ月を以つて目下審査中である。

【現議會】 所謂「國民議會」(Congresso Nacional)は一九三〇年にヴァルガス革命政府により、解散せしめられて以來、新選挙を見なす。

これに對してヴァルガス政權は三二年一月一日に至り、新憲法を制定し、且つ正式に憲法による大統領選挙すべき憲法會議(Assembléa Constituinte)を召集した。該議會は二五四名の議員より成る。うち二四名は公選議員にして、四〇名は職業組合の代表者を任命せるものである。

憲法會議議長—Antonio Carlos

D 司法 リオ・デ・ジアーネイロには最高聯邦裁判所があり、各州、聯邦區、アクレ準州にはそれぞれ地方裁判所がある。裁判は各州において、州法に從つて、州の法定で處理されるがリオ・デ・ジアーネイロにおいては聯邦裁判所が行ふ。判事は終身官である。又市の判事及び治安判事あり、それらは選挙により任期四年、主なる職能は、事件を相當な程度まで落着解決するにある。死刑は廢止され、離婚は許されなす。

E 地方行政 ブラジルの二〇州より成る聯邦制であるため、各州はそれぞれ州憲法を有し、その規定による立法、行政、司法の三部を有する。但し州憲法は聯邦憲法の原則を遵奉して制定せられることを要する。立法機關たる州議會は二院制或は一院制にして、すべて民選の議員により構成さる。また行政部長官たる知事はすべて州民の公選による。州の司法權は身分の保證を受ける裁判官により執行され、聯邦裁判所の直轄に屬する以外の事項一切を管轄する。その他、聯邦直轄區(Federal District)たるリオ・デ・ジアーネイロは區民によつて選出される參事院によつて行政を執行せらる。而して市の最高行政權は共和國大統領任命の知事にある。

F 政黨 一九三〇年一月三日に革命勃發し、當時の Dr. Washington Luis 政權は一〇月二四日に轉覆し、十一月三日、Dr. Getulio

Donelmas Vargas 政權が成立し、現在に至る。その後三四年七月の新憲法制定に至るまでヴァルガス政權は議會を解散し、獨裁制を布いて來た結果、從つて眞の意味での全國的政黨は存在しなす。たゞブラジルの市民同盟(União Civica Brasileira)はそれぞれ或る一定の綱領を有せる各州の政黨の聯合せるものにして、全國的政治團體として有力である。然しこの聯合のうちにおいては公然たる意見の對立が存在する。一般に現政權を支持する黨派は各州の政黨より概して自由主義的傾向強く、北部各州の政黨派は南部各州の政黨派より一層急進的傾向を有する。以下、現政權支持派と現政權反對派とに分けて説明する。

【現政權支持派】 Dr. Getulio Vargas (現大統領) (Oswaldo Aranha(前首相)) (Aminio de Melo Franco (前首相)) (General Espirito Santo Cardoso (陸相)) (Rear Admiral Protogenes Guimarães(海相)) (Juarez Tavora(農相)) (José Americo de Almeida (交通相)) (Washington Pires (文部・保健相)) (Francisco Antunes Maciel(法相)) (Joaquin Pedro Salgado(労働・商工相)) (General Goes Monteiro, Flores da Cunha João Alberto Antonio Carlos (憲法會議議長))。

【現政權反對派】 當つての共和黨 (República Party) の指導者は殆んどすべて反政府派である。その著名なものは Washington Luis, Anturo Bernardes, Julio Pires 等である。これ等の有力者は殆んどすべて國外に亡命中か、或は全く政界から隱退を餘儀なくせしめられてゐる。公然たる反對は現在においては僅か憲法會議のうちに限られてゐる。それも多く政府の彈壓を受けて困難である。

G 外交 ブラジルの歴代政府は一九世紀中葉におけるウルグアイ、或はパラグアイとの戦

争以來、平和主義をその外交政策の基調として來た。即ち、國際紛争を生じた場合に之を仲裁に付した後にあらざれば絶對に外國に對して宣戰を爲すべからざる旨が憲法に規定されてある程である。即ち、これを歴史に見ても、アルゼンチンとの間に起れる、シヨーネス地方に關する紛争はアメリカ合衆國大統領クリヴランドの仲裁に、佛領ギアナとの間に起れる、アマバ地方の境界問題はスイス政府の仲裁に、英領ギアナとの境界に關する紛争はイタリヤ皇帝エマヌエル三世の仲裁に委ねて、これが解決に成功して來た。而して更にこの仲裁裁判主義を徹底して、一九〇九年以來、世界各國と仲裁裁判條約の締結に努力し、日本、その他の若干國を除き、アメリカ合衆國等二八ヶ國との間に之の調印に成功して來た程である。

以上の如くブラジルの外交政策は傳統的に平和主義を基調とし、各國との親善關係の維持改善に努力してゐる。殊に重大な利害關係を有するアメリカ合衆國に對しては傳統的に親米政策を執つてゐる。

H 國防 【陸軍】 一九二三年の軍法によつて、ブラジル國民にして二一歳より四四歳までのものは軍務に服する義務がある。服務期間は第一線と第二線に分け、第一線は九年(現役一年、殘部を豫備役)とし、年齢二一歳より三〇歳まで、第二線は一四年(七年間を第二線と云ひ、殘部の七年を第二線豫備といふ)年齢三〇歳より四四歳までとする。豫備役にあるものも毎年四週間の召集を受け、その上一ヶ月一回の操銃訓練がある。國民軍に編入されたものも毎年二乃至四週間の訓練を受ける。一九三三年における平時兵力は、士官五、五四六名、その他階級四二、二〇〇人、四師團、三騎兵師團、一混成旅團、一海岸防備區に分けられてゐる。

最近の歳入歳出

Table with columns for Year (年度), Income (歳入), and Expenditure (歳出). It includes sub-columns for units like Milreis and Gold. Data spans from 1928 to 1933.

註 1 金貨ミルレイス(milreals)=4.557 紙幣ミルレイス=英貨約 6 ペニー=米貨 12 セント、(1)會計検査官によつて多少の偏差あることが指摘されてゐる。(2)豫算概算

外國資本投資額

(1931年1月現在)

Table showing foreign capital investment by country (e.g., England, America, France) and industry type (e.g., railways, industry). Includes a total sum.

註 (1) ボンドを平償にてドルに換算する時 イギリス資本投資額は合計1,400,000.00ドルとなる。

外債は總計千四百萬... 即ち一九三一年初頭における聯邦外債及び各州外債は總計二億三千七百ボンドにして、うちイギリスは六八・四%、アメリカ合衆國は二六・二%、フランスは五・二%を占め、英米資本が歴史的である。三三年末現在の聯邦外債及び各州外債は總計千四百萬

A 財政 財政は法律によりミルレイスの金貨価値を定め、外國貨幣に對する公定相場を維持し、外國資本の投下を誘入し、且つ産業の開發に資せんとする政策を採用して來た。ブラジルの財政において公債、殊に外債は絕對に不可欠の財源なのである。港灣、電信、鐵道、その他の公益事業がすべて官營であり、これ等の財源が多く外債に求められて來た爲め、歳出の最大部分を占めるものは公債にして聯邦財政歳出においては五三%に上り、財政困難の直

接の原因である。而もこの困難の救濟手段として殆んど唯一公債、殊に外債に頼られて來た。斯くてブラジルの年々多額の歳入不足を示して來た。而も最近の産業不振、殊にコーヒー價格の暴落、その對策としてのコーヒー金融債の如き一段とブラジル財政を困難ならしめてゐる。尙貿易の萎縮は主要財源たる關稅收入の減少を來たし、更に各種收入の減少、官業收入の損失等によりその困難は一層甚しい。一九二二—三二年の十ヶ年間に於ける歳入は歳入を超過すること一八%に達し、歳入不足額は三百萬コント以上及んでゐる。これに對してヴァルガス政府は一九三〇年の革命により政權獲得以來、鋭意財政の建直に努力し、特に一九三一年以來外債支拂のモラトリアムさへ斷行せるも、未だ充分なる改善の跡を見ることが出來ない。斯くて一般歳入における主要財源は關稅、消費稅、印紙稅、及び所得稅の四種の收入にして、一九三二年度において見るに、そのうち關稅收入が四二%、消費稅收入が三〇%を占めた。その他、特別歳入には多額な官業收入があるも、最近の

紙幣ミルレイスの減價のため反つて損失を見てゐる有様である。他方歳出の最大部分を占めるものは前述の如く公債費にして、總額の二分の一以上を占めてゐる。次に軍費及び交通關係の支出が多額に上る。 【公債】一九三三年一月一日におけるブラジルの外債は、九〇、四五七、〇二六ボンド(イギリス)三、二五、一七一、〇〇〇フラン、一四四、六一八、五〇〇ドル(アメリカ)、總計九、三八四、六一八、五〇〇コント、國內利附長期公債は三、〇一六、〇九六コント、大藏省不換紙幣流通額は三、〇〇四、〇九五コント、流動公債は一、五六三、七五六コントである。 B 資本 ブラジルにおける外國資本の支配は政治的にも經濟的にも壓倒的優勢である。或は外國公債(聯邦債及び州債)の形式において或は直接各種企業投資の形式においてそれを認めることが出来る。一九三一年初頭における外國資本の投資額は總計二十三億ドルに上つてゐる。最近の傾向は直接企業投資より公債投資の方が盛に行はれてゐる。即ち一九三一年初頭における聯邦外債及び各州外債は總計二億三千七百ボンドにして、うちイギリスは六八・四%、アメリカ合衆國は二六・二%、フランスは五・二%を占め、英米資本が歴史的である。三三年末現在の聯邦外債及び各州外債は總計千四百萬

主要海軍勢力

Table listing naval vessels (ships) with columns for name (艦名), type (艦種), and displacement (排水量). Includes ships like Minas Geraes, Sao Paulo, Bahia, etc.

【空軍】ブラジルの空軍勢力は三中隊及び一

動員兵力は約一二〇、〇〇〇名に上る。憲兵隊は陸軍省の管轄下にあり三三、四五〇名であるが、一三〇、〇〇〇人まで増員することが出来る。歩兵はモーゼル銃、野砲兵、騎砲兵は七五ミリメートル砲を持つ。 【海軍】ブラジルはラティン・アメリカ第一の海軍を有する。その主勢力は別表に見られるが如き主力艦二隻、裝甲巡洋艦二隻、海防艦一隻とする。その他、河川用の海防艦モニター一、同じく河川用砲艦二、驅逐艦一〇、潜水艦四(うち大洋航行用一)、潜水母艦一、海難救助船一あり。巡洋艦バイア及びリオ・グランデ・ド・スルは一九二五年—二六年に艦裝改造され、新式機關及び重油用のボイラが据え付けられた。又、四本マストで補助のディーゼル機關を持つ練習船 Amtrante Salamina が目下イギリスにて竣工中である。 海軍造船廠はイラ・ダス・コプラス (Ita das Cobras) (リオ・デ・ジャネイロ)、パラ (Para) (ラダリオ・デ・マット・グロソ) (Ladario de Matto Grosso) の三ヶ所にある。

少隊あり、兵員二、〇〇〇名、飛行機四一臺に上る。 その他、リオ・デ・ジャネイロには陸海軍の諸學校が設けられてゐる。 I 政治の動勢 【新憲法の發布】一九三〇年一月三日の革命勃發、同月二四日のルイス政権の没落、一月三日のヴァルガス革命政府の成立の後、次いで憲法の停止、議會の解散が施行され、ヴァルガスの獨裁制はこゝに確立した。斯くて三三年に至り、ヴァルガス臨時大統領は輿論の趨向に従つて憲政復歸を決意し、五月三日總選舉により憲法議會を召集し、ブラジル共和國の新憲法を制定し、正式大統領の選舉の權限を與へた。 斯くて審議を重ねて作成せられた憲法草案は翌三四年五月二五日、憲法議會によつて可決され、更に修正を受けていよいよ七月一五日に至り新憲法は公布され、翌一六日より効力を發生するに至つた。新憲法は産業の國家統制を確立し、國會の組織に職能代表制を加味する等、著しく進歩的色彩が濃厚である。その主要條項を要約すれば次の如し。 a. 國家は公益増進の爲め如何なる産業をも統制する權限を有する b. 經濟的秩序は正義の原則と國民生活の要求に應じて組織されねばならない c. 労働時間は一週六日、一日八時間とし、年齢及び性別による差異を認めず d. 離婚を禁止す e. 特定地域に一〇年以上定着した者に對しては約二五エーカーの土地を賦與す f. 議會の構成 上院 全國二〇州並に一聯邦特別區から選出された議員四二名から成る 下院 全國二〇州並に一聯邦特別區から十

五萬人毎に一人の割合で合計二一三名の議員が選出され、その五分の一は職業組合より選出される 來る一〇月新憲法に基き議會を召集する 大統領は再選を許さず、但し今回に限り現臨時大統領ゲツリオ・ヴァルガスの立候補を承認する 尙新憲法の附加條項により新しく移民入國制限が規定され、日本移民數も著しく制限されるに至つた。同法案には最近増大せる日本移民排斥の意味が多分に含まれてゐることは事實である。(詳しくは自然の「移民政策」の項を参照)。 【新政府の成立】三四年七月一五日发布の新憲法による共和國大統領の選舉は同月一七日憲法議會の手によつて執行され、臨時大統領ヴァルガスは過半数の投票を得て、新憲法による第一次共和國大統領に當選、直ちに就任を見た。出席議員二五二名にして、次點者はメデイロスにして五九票を得たに過ぎない。 斯くてヴァルガス大統領は直ちに第一次新内閣を組織し、こゝに名實共に完備せるブラジル共和國立憲政府が成立した。その關係の演觸は次の如し。 外相 ショゼー・カルロス・デ・マセード・ソアレス 内務・司法相 ヴィセンテ・ラオ 海相 プロトゲ・ネス・ギマラン・エス提督 陸相 ゴーエス・モンテイロ將軍 藏相 アルツール・ソウザ・コスタ 交通相 ジョアン・サルケス・レリス 労働相 アガメノン・マガリヤン・エス 農務相 オチロン・アラウ・カターナ 文部・衛生相 グスターボ・カタナマ

III 經濟

部 類 別 面 積

(單位千ヘクタール)

部 類 別	面 積	百 分 比
耕 地	7,085	0.8
森 林	492,985	57.8
原 野	259,824	30.4
の 他	92,583	11.0
計	852,476	100.0

その産業の根幹を爲すものは農

貨は約四〇〇、〇〇〇コントを増し、一九三三年一月一日には二、九八二、三五二、〇〇〇ミルreisになつてゐる。

F 度量衡 一八六二年以来、メートル法が官廳においては正式に採用され、更に一八七二年以来強制通用力を持つに至つたが、現在においては尙次の如き度量衡が奥地の或る地方に使用されてゐる。

リブラ(Libra)＝一〇一二常衡ポンド
 アロバ(Arroba)＝三二・三八常衡ポンド
 クインタル(Quintal)＝一二九・五四常衡ポンド
 アルクエール(Aquiere of Rio)＝一プシニル
 オイタヴァ(Oitava)＝五五・三四グレイン

G 生産 【産業大観】 ブラジルは天然資源の豊富な國である。その廣袤たる大平原は地味として世界において露、支、加等に比敵し得べき地位を占めてゐる。即ち、ブラジルの總面積の七九%は生産地帯にして、その大部分は森林及び草地に屬し、殊に森林は五八%を占め、世界の第二位を占める。耕地は現在に至るも總面積の%にしか満たない。その産業

業にして、輸出の九割迄が農産物によつて占められてゐる。その他、鑛物資源も極めて豊富にして、金、鐵、マンガン等特に豊富である。未だ充分な開發を見ない。これに反して工業の發展は最近頗る著しく、ブラジルは原料輸出國より製造工業國へと一段の進展を遂げつゝある。然し最近世界的經濟不況の深刻化と共にブラジル生産界は著しく沈滞し、世界的農産物價格の激落はその最大産業たる農業に最も著しい打撃を與へてゐる。

【農業】 ブラジルは農業國ではあるが、まだ土地の僅かな部分しか耕作されず小麦及び麥粉は非常な輸入國である。耕作地面積は約一七、三八七、〇〇〇ヘクタール、そのうち四、一三三、〇〇〇ヘクタールはコーヒーに、六、九一九、〇〇〇ヘクタールは玉蜀黍に、一、五〇〇、〇〇〇ヘクタールは綿に、一、三二五、〇〇〇ヘクタールは米に使用されてゐる。

ブラジルはコーヒー生産を第一に置き、第二がコ、ア、第三が砂糖と煙草といふ順序になつてゐる。コーヒーは年々ブラジル全輸出額の六〇乃至七五%に及び、主要生産地はサン・パウロ(Sao Paulo)、リオ・デ・ジャネイロ(Rio de Janeiro)、エスピリト・サント(Espirito Santo)、ミナス・ジェライス(Minas Geraes)の四州である。そのコーヒー樹二、九二四、七三九、三七六本あり、世界全産額の三分の二にあたり、その産額は世界全産額の四分の三に當る。その販賣は一九三一年二月以来聯邦政府によつて統制されてゐる。政府及びコーヒー委員會(Coffee Council)によつて一九三三年六月三〇日まで買上げられたコーヒーは、總計三七、五七二、七一四袋に及び、うち一九三三年一月三十一日までには、一九三三年一三四年の收穫は二九八八〇、

一九三一・三二年度主要農産物

(單位、産額はメートル噸、價格はコントス・オブ・レイス)

産 物	産 額	價 額	産 物	産 額	價 額
コ ー ヒ ー	1,561,604	1,405,444	マ テ 茶	167,900	92,345
玉 蜀 黍	5,082,853	1,372,640	馬 鈴 薯	494,566	98,913
砂 糖	936,238	468,469	小 麥	135,847	54,218
米	1,048,076	585,922	コ ー ア	91,623	69,633
煙 草	84,982	212,455	ゴ ー ム	17,294	19,023
マンデイオク(Mandioc)	762,730	244,074	ブラジル胡桃	23,340	21,470
豆	674,428	236,050	酒(單位ガロン)	31,915,360	99,950
綿	119,802	176,706	バナナ(單位房)	53,907,592	107,815

〇〇〇袋に及び、そのうち一七、九二八、〇〇〇袋は輸出される。(一袋は一三二ポンド)。

オレンジの輸出も年々増加し、一九三三年には二、五五四、二五八箱で、その七〇%はイギリスに行く。綿の收穫は一九三二年一三三年において七五、三六七噸である。

對外支拂所要年額

(單位千ポンド)

種 別	金 額
外 國 債 元 利 償 還 額	23,097
外 國 投 資 對 於 利 子 及 び 配 當	12,000
移 民 送 金	6,000
旅 行 其 他 費 用 の 差 額	2,000
計	43,097

四千萬ポンドを突破してゐる有様である。即ち貿易收支における受取超過額の約二倍以上である。斯くて最近のブラジルの國際貸借は悪化する一

方て、その決済のため年々多額の金が國外に流出してゐた。

斯る情勢に直面して金流出の防止と財政上の負債軽減のため、ヴァルガス政府は一九三一年八月二十九日に至り、外債所有者の同意の下に、外債モラトリアムを實行し、八月二十九日には利拂の停止をも斷行した。このモラトリアムは三四年末まで繼續の豫定である。その間、政府は歐米の債權者と交渉して、何等かの打開策に出る筈である。

D 銀行 ブラジル銀行(Bank of Brazil)は同國最大の銀行、一八〇八年創立、一九〇六年改造、公認資本は一億コントである。國立銀行でも、發行銀行でもないが、株式の五〇%は聯邦政府の所有にかゝり、ブラジル金融政策の重要機關として中央銀行の役割を果してゐる。共和国中に八三の支店を有し、一般銀行業をなしてゐる。その準備金は一九三二年一月三十一日に二二〇、一八五コント、預金總額二、七三九七、〇一九コント、當座貸付一、五〇二、七三九七、〇一九コント、手元現金四八、二〇六コント、流通中の該銀行券一七〇、〇〇〇コント、一九三三年の銀行券流通高四、〇〇〇コントである。

他の商業諸銀行は、一九三三年九月三〇日において、現金九八五、七五四コント、資産及び負債總計二八、八二〇、七二三コントのうち、貸出金總額七、〇六三、三七二コントである。

E 貨 幣 ブラジルは長く二通りの通貨を持つてゐて、一は金貨ミルreis(Milreis)で外國貿易に用ひ、他は紙幣ミルreisで國內商業に用ひられてゐたが、一九三三年一月二一日の大統領布告によつて、金貨ミルreisは廢され、關稅は一金貨ミルreisに對して八紙幣ミルreisの割合で徴收されることになつた。同月二十七日の布告によつて、負債の支拂

コントに上つてゐるが、その國別は不明である。また直接に各種企業に投下されてゐる外國資本に就いては明確な統計を缺くが、イギリスが古くより歴史的に優勢にして、米、佛、獨、伊等が之に次ぐ。最近、アメリカ資本が漸次優勢となりつゝある現狀である。別表に見られる如く、イギリス資本は主として鐵道、港灣、電氣、瓦斯、金融、上下水道等の所謂公共事業に多く集中され、アメリカ資本は電氣、鑛山、農業等の直接企業的方面の進出に著しい。特にアメリカ資本の電氣事業への進出は歴史的である。フランス資本は戦前有力であつたが、現在においては殆んど重要な役割を演じてゐない。

C 國際貸借 ブラジルは年々多額の貿易收支において受取超過を示して來た。而るに最近の世界經濟不況のため貿易額は著しく減退し、その受取超過も減少の傾向を示してゐる。特に世界市場におけるコーヒー價格の下落はブラジルの輸出貿易に甚大な影響を與へて來た。然るに貿易外收支においてはブラジルは年々支拂超過を示し、特に最近の外債増大の傾向は對外支拂額を年々増大せしめ、一九三四年度には約

はすべて公私の別なく、又證券金貨ミルreisが記入されてゐると否とを問はず、すべて紙幣ミルreisをもつて法貨となすことゝされた。

一九二六年一月一八日の法令によれば、金貨ミルreisは四、五六七紙幣ミルreisに五五%ペニー一一、九六〇セントとされてゐるが、一九三一年に到つて、政府は一金貨ミルreisは六、七五紙幣ミルreisに四ペニーなることを承認し、一九三三年には更にこれを引下げてゐる。金貨ミルreisの一九三三年におけるロンドンの換算率は、五、五、乃至三、七、五、五〇セントである。主として流通してゐる紙幣は、一、二、五、一〇、二〇、五〇、一〇〇、二〇〇、五〇〇、一、〇〇〇の各ミルreisで、一、〇〇〇ミルreisはレイスのコント(Conto de Rees)と呼ばれる。一九二六年一月一八日に通過した法律によつて、クルジエイロ(Cruzado)と呼ばれる新單位が確立されたが、これは二グラム(純度九〇%)の金貨であつたが、二、五、一〇の各クルジエイロ金貨が、補助貨幣と共に鑄造されることになつてゐる。

一九二七年四月の法律によつて、通貨の數量は、一九三〇年一月三十一日における紙幣流通高は二、七一一、六〇〇、〇〇〇ミルreis(約五六、五〇〇、〇〇〇ポンド)であるが、その兌換は一九三〇年一月二二日の法令によつて中止され、その金準備はミルreisの外國爲替相場を維持するために海外へ輸送された。一九三二年七月のサン・パウロに起つた暴動の結果、通

インド護謨もこの國の自然産物のうちの大きなもので、その主要産地はアクレ準州 (Acre Territory) 及びアマゾン (Amazonas) 準州 (Para) 兩州である。世界市場で最も優良なゴムは、fine hard Para と云はれるもので、これはパラ州で産するものであるが、最近その産額は減じてゐる。またブラジルはカーナウバ蠟 (Carnauba Wax) の主要産地であつて、これは電氣絶縁體、著書機レコード等に用ひられ、一九三二年には六、三八〇メートル噸を輸出してゐる。

【畜産業】 ブラジルは世界有数の牧畜國にして、家畜飼養数も極めて多く、一九三二年の調査によれば、牛四二、五三九、二〇〇頭、豚二一、六一四、六二二頭、羊一〇、六六〇、五九八頭、山羊五、二三一、四五五頭、馬六、五七三、三二九頭、驢馬及び騾馬二、七四五、〇二一頭に上る。

【林業】 ブラジルは世界第二位の森林國にして、總面積の五八%は森林である。従つて林業はその重要産業の一つで、一九三三年の材木輸出量は一〇一、九六七メートル噸に上り、主としてアルゼンティンに輸出される。

【鐵業】 マンガン鐵が主要輸出鐵で、ミナス・ジェラエス州に産し、一九三三年の輸出量二四、八九三メートル噸、主としてベルギー及びアメリカ合衆國へ輸出される。石炭の埋藏地は、リオ・グランデ・ド・スル (Rio Grande do Sul)、サンタ・カタリナ (Santa Catharina)、パラナ (Parana)、サン・パウロ (Sao Paulo) の諸州で、全埋藏量は五、〇〇〇百萬噸と概算され、年産額は七炭坑で約三七、〇〇〇噸である。鐵は主としてミナス・ジェラエス州に産するが、イタビラ (Itabira) では今日外國資本によつて發掘が開始されてゐて、その埋藏量は世界で最も大なるものと稱せられてゐる。金は實際には各州に産するが、大規模の採掘はミナス・ジェラエス州の一嶺山のみ制限されてゐて、一九三一年における産額は三、九三二キログラム。砂金は一九三三年マランホ州 (Maranhao) に發見された。金の輸出は一九一八年以來禁止されてゐて、採掘されたものは不換の大藏省發行紙幣及び銀行券の保證準備金に使用される。ダイヤモンドの産出地は、ディアマンティナ (Diamantina)、گران・モゴール (Grão Mogol)、チャパダ・ディアマンティナ (Chapada Diamantina)、バガゼム (Bagagem)、トヤム (Toyam)、マット・ロマン (Matto Grosso) 及びその他の諸州である。モナザイト (Monazite) の世界供給額の大部分はブラジル産で、主としてバヒア (Bahia)、エスピリト・サント (Espírito Santo) の兩州より産する。

【工業】 ブラジルにおける最も重要な工業は紡績業で、サン・パウロ、ミナス・ジェラエス兩州に多い。一九二九年工場數三四七、紡錘二、六一〇、四七七、機七、八〇〇。その他の絹工場一三、羊毛工場三五、黄麻工場一六、紙工場一八(年産額約七〇、〇〇〇メートル噸)、煙草工場二、〇〇〇以上、製糖工場約二二六。リオ・デ・ジャネイロ州には製粉工業が重要なものになつてゐる。小麦は主としてアルゼンティン、ウルグアイ及び合衆國から輸入されるが、この州には製粉工場一五を數へ、約五〇〇の水力電氣工場あり、總計七〇、〇〇〇馬力の能力を持つてゐる。

【外國貿易】 ブラジルの外國貿易は一九二九年を近來における最高とし、その後三〇年以降は世界的經濟不況のうちに激減の傾向を示して來た。殊に一九三二年には數量において三八%、價格において四七%の減少を示したが、

最近の輸入輸出額 (單位ポンド)

年度	輸入	輸出
1929	86,653,227	94,831,249
1930	53,618,511	65,745,925
1931	28,755,694	49,543,866
1932	21,744,297	36,629,594
1933	28,131,000	35,790,000

三三年には數量金額とも再び増加を示してゐる。然し三三年度貿易は三二年度に比較して輸入に對して約二割五分程の増加を見た

【主要輸入品】 ブラジルの輸入品を種類別に見ると、その半ば以上は工業製品によつて占められてゐる。これはブラジルの國民經濟が農業を主としてゐる反面を物語るものでなければならぬ。輸入品のうち最も重要なものは機械類、鐵鋼及びその製品、化學製品、ガソリン等の工業製品、その他、小麦、石炭等である。また當つて重要輸入品であつた自動車、綿織物小麦粉

主要輸出品 (單位コントス・オブ・レイス)

種別	1932	1933
コーヒー	1,823,948,397	2,050,084,000
ゴム	10,626,160	21,689,000
タバコ	39,494,000	29,771,000
砂糖	19,173,578	12,552,000
茶	85,987,908	63,420,000
ココア	113,851,281	105,357,000
綿	1,766,828	32,787,000
皮革	55,676,162	67,525,000
毛皮	44,441,641	44,875,000
冷凍肉	61,045,650	48,520,000

【主要輸出品】 輸出貿易において大宗を成すものは農産物にして、その總額の九〇%を占め、その如きは最近著しい激減を示し、全く重要性を失つてゐる。

主要輸入品 (單位コントス・オブ・レイス)

種別	1931	1932
自動車	24,132,875	19,219,202
綿製品	20,121,900	14,322,939
鐵製品	80,527,854	71,434,551
鐵鋼製品	116,958,717	94,191,402
機械	197,670,545	195,244,322
石炭・コークス	111,292,007	78,877,463
飲料	20,765,855	17,107,078
小麦・麥粉	320,173,040	256,468,664

而もその大半はコーヒーである。即ち輸出總額の約七〇%まではコーヒーである。従つてブラジルの國民經濟に對する世界市場におけるコーヒー價格の變動が如何に大きい影響を與へるかはこのを見て明かである。農産物以外では畜産物が輸出總額の約八%、鐵産物は僅々二%を占めてゐるに過ぎない。

【主要國別貿易】 ブラジルの外國貿易の主要なる相手國はアメリカ合衆國を第一とし、その他、英、獨、佛を主とする歐洲諸國である。ブラジルはこれ等の諸國より工業製品を輸入し、農産物を輸出する。また南米ではアルゼンティンとの貿易關係が最も盛大に行はれてゐる。別表に見られる如く、ブラジルの輸入貿易においては、アメリカ合衆國を最大とし、英、獨、亞、佛、伊、蘭が之に次ぐ。

またその輸出貿易においても輸入貿易に對してと同様、アメリカ合衆國を第一とするもの、その重要性は遙かに大にして輸出總額の約二分の一近くがアメリカ合衆國向けである。ヨーロッパ全體に對する輸出より遙かに多額に上る。従つて合衆國の景況如何は直ちにブラジルの貿易、引いては一般經濟界に甚大な影響力を持つてゐる。合衆國に次ぐ主要輸出相手國は佛、獨、英、亞、蘭、伊等とする。

主要國別輸出入額 (單位コントス・オブ・レイス)

國別	輸入		輸出	
	1931	1932	1931	1932
イギリス	326,846	292,498	240,123	175,826
ドイツ	194,830	136,461	314,225	223,618
アメリカ	472,436	456,912	1,487,732	1,173,129
フランス	85,621	77,354	331,071	224,878
ポルトガル	26,098	32,511	15,928	10,243
スペイン	17,638	17,188	25,022	20,547
ベルギー	62,049	59,942	100,216	65,489
アルゼンティン	277,096	113,058	203,480	149,894
ウルグアイ	10,180	9,100	123,748	91,258
オランダ	64,041	47,857	188,061	102,497
イタリア	78,905	61,657	134,816	94,931

【對日貿易】 ブラジルの最近五ヶ年間に對する對日貿易を見るに、別表に見られる如く、一九三三年度には日伯貿易は最高に達してゐる。即ち、日本からの輸出は從來アジア諸國中の首位にあつた英領インドに比肩する迄になり、對日輸入も亦小額ながら多額の増加を見るに至つた。即ちブラジルから日本への輸出は六〇、二五九ポンド(四、二六九コント)で、前年に比し六、六四八ポンド(六四三コント)で、即ち一割二分強の増加で、又日本からブラジルへの輸出は一五、四二九ポンド(一、二二八コント)で前年の八一、七六〇ポンド(五、五四二コント)に比し、實に約八割八分の激増を示し本邦商品飛躍の跡

最近の日伯貿易額 (単位: コント)

年度	日本より輸入	日本へ輸出	輸出入合計
1929	7,638	1,612	9,246
1930	5,157	1,531	6,688
1931	4,787	3,240	8,027
1932	5,542	3,626	9,168
1933	12,281	4,269	16,550

は注目し、之に反しカカオは前年中一〇〇の輸出を見たが一九三三年度始は杜絶の状
態である。次に本邦からの對伯輸入品中主なもの
は電球、陶磁器、セルロイド製玩具等である
の躍進は最も顯著で、一九三三年中の輸入額一、
二七〇〇〇コントで前年の約三倍を増加し、陶磁器
は二、一五六〇コントで前年の約二倍を増加した。
セルロイド玩具の飛躍振りも著しく、一、二七
〇〇の輸入額は前年の約三倍餘で、その他
のセルロイド板は四八二〇コントで、前年に比
し約倍加し、紡織機械付属品は三二二〇コントに
達し約五割の増加である。押模標木綿織物は二
八四〇コントで、前年より五倍の激増振りであつ
て、特に分類せられない畜類、羽毛、皮、膜物
類の五四二〇コントの輸出は奇觀である。以上の
外、自轉車二六一、木綿織物一三六、自動車用
チューブ一五四、電氣機具一六六、書籍、印刷
物類九六、紙一七一、玩具一五三、金銀モル
並金箔品二六七、魚肉罐詰二〇二、乾燥野菜類
一〇一〇コント等、何れも一四割乃至二〇〇割の増

の著しいこ
とを知る。
ブラジルの
對日輸出
品中主なもの
はコーヒー
、水晶、
棉花、木材、
獸骨等が大
體において
依然微々た
るものであ
るが、獨り
棉花の進出

進である。唯鑄鋼、銅線、煙草用紙等が著減し
たに過ぎない。
一九三四年六月一三日、ブラジルの新關稅率
が公布され、専ら國產獎勵の見地、及び稅率相
互の振合によつて増減され、日本からの主要輸
入品に就いては卸原料及び製品は現狀維持、半
製品は三割五分高、陶磁器硬質及び半磁器の無
地は二割高、金色着けは五割高、磁器は二割五
分安、電球は従來一律であつたものが四級に區
分され、最低百ワット迄、従來の一割高以上順
次増す。齒刷子は少し安になり、また玩具は
現狀維持若くは少し安となつた。
最後に日伯間には明治二八年一月五日締結
された修好通商航海條約があり、同三〇年二月
一三日より一二年間の有効期間を定められてあ
つたが、その期間は既に満了し、一二ヶ月の豫
告期間を以つて何時でも廢棄し得る狀態で現今
に及んでゐる。

【交通】道路】一九三二年における公道
は九〇、六四四哩、そのうち二〇%は一等級の
道路である。而して一九三二年の自動車数は二
二四、八二〇臺に上る。

【鐵道】ブラジルの鐵道の歴史は一八五四年
に入九哩開通したのに始まる。一九三一年、三
月三日には延長二二、二七九哩、汽關車三、二
九五、荷車四、五〇七、客車三、八八八。この
うち全長一三、一五三哩は國有、三、三一九哩は聯
邦管轄下にあるもの。一、五八八哩は州有、四、
二一九哩は私有である。中央ブラジル鐵道(二、
〇八二哩)がブラジルにおける主要な鐵道で、
州有、ウルグアイ、アルゼンティン、パラグアイ
の諸鐵道と連絡してゐる。パウリスタ鐵道のジ
ヤンティアイ(Jundiaí)からリンカオ(Lincoln)
に至る間(一七七哩)及びエステ・デ・ミナス
(Oeste de Minas)鐵道のバラ・インサ(Barra

Mansa)よりアウグスト・ペスタナ(Augusto
Pestana)に至る間(四四哩)は電化されてゐる。
【船舶】内水路は主として河川であるが、航
行し得るもの約四〇、三〇〇哩あり、この内水
路によつて各州が連絡されてゐる。海岸線及び
河川を航行する船はブラジル所屬のものでなけ
ればならないことになつてゐる。一九三三年六
月三〇日におけるブラジル商船は、帆船二九、
噸數五〇、一〇七、汽船他の動力船も含む(二
六六、噸數四三八、七八一。リオ・デ・ジャネイロ
(Rio de Janeiro)及びサン・トス(Santos)が主要
港である。最も大きい汽船會社はロイド・ブラ
ジレイロ(Lloyd Brasileiro)で、船舶數七三、總
噸數二七〇、六二三を持ち、政府の所有に屬し、
補助金を受けてゐる。

【航空】一九二七年以來、ゼネラル航空郵便
會社(Compagnie Generale Aeropostale)「コンド
ール・シヤンケール(Kondor Syndicate)」汎アメ
リカ航空會社(Pan American Airways)その他
の數會社が、航空郵便及び旅客を取扱ひ、一九
三一年にはその飛行機數は六六臺である。

【通信】電信組織は、各州間の線をも含め
て約半數は政府の管轄下にある。全長七五、〇
〇哩のうち、四六、二九一哩は政府所有、七、
五一六哩は鐵道所有、二一、一九六哩は海底電
線である。一九二八年には五、一一五の電信局
あり、海底電線はブラジル・ヨーロッパ間一
本、合衆國との間に二本、リウアー・プレート
(River Plate)との間に三本。全アメリカ海底電
信(All America Cables)は、陸線を以つてサン・
パウロとサン・トスとを連絡し、海底電線をもつ
てリオ・デ・ジャネイロとサン・トスを連絡し、これ
らの諸點と全ラティン・アメリカ及び合衆國と
を連絡してゐる。リオ・グランディ・ド・スル州に
おける電話及びリオ・デ・ジャネイロ、ポルト・ア

ンダグ(Porto Alegre) 、サン・パウロ、フロリア
ノポリス(Florianopolis) 、クリチバ(Curitiba) 、
の諸市を繋ぐ無線電信は、リオ・グランディ電話
會社(Companhia Telefonica Rio Grandense)
によつて經營されてゐる。
約四〇の無線電信局(うち一個は非常に強力
な無線局)が設立され、四八五の地方無線局が
ある。合衆國との無線通信は一九三一年一月
開通。郵便局數四、八七〇、一九三一年におけ
る封書、葉書の取扱ひ數は一、五〇六、二五九、
五七四、空輸による郵便物取扱ひ數は三、三二四、
八八四である。
一九一三年の法令によつて、標準時及び標
準緯度は、一九一四年一月一日より、以前のリ
オ・デ・ジャネイロのものを用ひ、グリニッチ
(Greenwich)のものを採用することにした。

III 社會

ブラジルはラティン・アメリカ二十國中唯一
のポルトガル系國家である。その發見も開發も
すべてポルトガル人の手に成り、その獨立に際
しても指導的役割を演じたのはポルトガル系貴
族である。然しブラジルは他のスペイン系のラ
ティン・アメリカ諸國と異り、その民族的構成
はポルトガル系住民を主とするも極めて複雑多
岐に亘つてゐる。

元來ブラジルは面積八百五十萬平方尺、日本
の二十數倍にあたる廣大な地域に亘つてゐる結
果、開發當初においては極端なる住民の不足を
つげてゐた。従つてこれがため少數のポルトガ
ル移民は先住民たるインディアンと雜婚し、
混血種族たるカポクロ族を形成し、更にニグロ
をアフリカより輸入して、之と雜婚してムラト
族を生み、現在のブラジル人を形成してゐる。
現在、ブラジルにおいてはポルトガル移民と

アメリカ・インディアンとの雜婚の子孫が最も
多く、四千萬に上る總人口の約三分の二を占め
政治上、經濟上、社會上、純ポルトガル人に次
いで有力な地歩を占めてゐる。またニグロ系住
民は全人口の約一割五分を占め、主として中央
以北の海岸地帯に居住する。その他、伊、獨、
佛、蘭、波、露、白等を主とする外國移民は全
人口の約五%、百五十萬人を突破してゐる。斯
くの如くブラジルは雜多民族を構成され、各
民族は尙それぞれ自己種族の傳統を維持してゐ
る結果、ブラジルの社會狀態は益々複雑化して
行く傾向にある。一九三四年七月の新憲法制度
と同時にブラジル憲法議會は移民制限法を制定
したのは、同國の經濟的開發には年々多數の移
民を必要とするにも拘らず、尙且つ斯くの如き
社會的複雜性により一層の激化を避けんとの官
民一致の意圖に基くものである。

【社會主義運動】一八八九年一月一日に起
つた革命は二十四時間の中で成功、陸軍大將デ
オドロ・ダ・フォONSECAが共和制政府を組織。一
九二二年リオ・デ・ジャネイロに政治的の反亂起る。
軍人の反亂である。これと同性質の動亂が一九
二四年にも起る。一九二五年にリオ・デ・ジャ
ネイロに舊アナキスト系の社會黨結成さる。イ
ンテリゲンチヤが多く労働者は少く直ぐ解散
さる。共和黨は一九二〇年五月二五日リオ・デ・
ジャネイロに創立大會を開く。コミンテルン第
四回でシンパとしてコミンテルンに参加、第五
回ではコミンテルンの完全な支部となる。黨の
活動は非合法的のものである。これに支持され
た労働者農民新聞の「ア・ナサオ」(國民)が發行さ
れた。一九二七年八月に政府より發行停止さる。一
九二七年労働者農民選舉同盟を組織、六千の投
票を得、代議士を一名選出、黨員千五百、共產主
義青年同盟も組織さる。一九三一年四月に軍隊

内に不平黨起りその組織を「自由團」と稱す。
【労働組合】本來農業國であるブラジルには
労働組合はなほ貧弱な状態に止まる。工業組織
は極めて幼稚であり、労働者の政治的意識は未
だ乏しく、階級的組合制に進むには至らず、僅
かに有色人種の労働組合を有するのみである。
最近まで組合の指導者は農業的なるアナキズ
ムの色濃厚であつたが、一九二七年以來、コム
ニニズムの移入あつて、この主義の下に組合
が組織され、労働組合大會が開催され三萬の組
合員よりなる二十餘箇の組合が集合す。これが
唯一の組織的労働者機關である。なほこれに加
盟するもの約十萬人。なほ全國には一萬人の農
民があるが殆んど未組織のままに残つてゐる状
態である。

【衛生】リオ・デ・ジャネイロ、サン・パウロ
其他の大都市では衛生設備が行届いてゐて、歐
米の諸都市と何等の差異を認めぬ位である。
が、地方においては未だ公共衛生行届かず、黄
熱病も時に流行を見、その他の熱帯病及び傳染
病は屢々流行する。最も多いのはマラリア熱で
ある。

V 文化

A 宗教 住民の大部分はローマン・カト
リック教徒であるが、一八八九年教會と國家と
の聯繫は廢止され、各宗派とも絶對的に平等た
ることが宣言された。政府は總べての宗教的建
造物、財産及び收入を教會に委ねた。宗教諸團
體は許されて繁榮してゐる。主立つた福音教派
八あり、その他に、ユダヤ教、佛教、モハメッ
ト教、心霊教、人道教などあり多くの信者を持
つ。

B 教育 初等教育は無料だが、義務教育で
はない。但しシエアラ、マランヤン、マツト・ク

ロソフ、ミナス、ジェラエス、サン・パウロ、サンタ・カタリナ等の諸州では義務教育になつてゐる。政府は國內に高等學校及び大學を除々に建設せんと計畫してゐるが、この種のものは、州立乃至私立のものが数校ある。又初等學校は主として州、自治團體及び私の手によつて經營されてゐる。ブラジルにおける官立の大學は一校で、リオ・デ・ジャネイロ大學と云ひ、一九二〇年九月七日創立。他にベロ・オリゾンテ及びクリテイバに私立大學があり、學位を授與する五十六の學部がある。首府には聯邦政府經營の盲學校、聾啞學校、美術學校、國立音樂學校あり、又この聯邦内及び或州にはこれと同種の私立學校がある。合計七校の工業及び鑛業の專門學校が、リオ・デ・ジャネイロ(大學内)、サン・パウロ、リオ・グランデ・ド・スル、バイア、ミナス・ジェラエス及びベナンゴロにあり、醫學、藥學、齒科學の學校一九、法律及び社會學の學校一二、工業學校九七、農業學校四一、商業學校四八。リオ・デ・ジャネイロのオスワルド・クルツ研究所(Oswaldo Cruz Institute)は實驗醫學に貢獻し、サン・パウロのブタンタン研究所(Butantan Institute)は毒蛇防止の血精研究をなしてゐる。

一九三一年一月男子の學校三、九七三、女子の學校二、一六七、男女共學のもの二九、二九五、總計三五、四三三校あり、そのうち聯邦政府のもの四二五校、州立一七、九六五校、公立六、六五五校、私立一〇、三八九校。尙これを分類すれば初等學校三三、〇四九、高等學校一、一四五、大學八七、師範學校二二一、特殊專門學校九四三。教師數七三、五五五人、學生數二、二八四、八八三。

C 科學 ブラジルは主としてフランス文化を宗とし、パリの學術が直接的に移入されて

る。新様式の飛行船の發明者として世界的に著名であるサントス・デューモンは銅像となつて國民尊敬の的となつてゐる。醫學界にはラセルダ、バルレイト、クルリス、ブラジル等のブラジル特有の傳染病、毒蛇の治療等の醫學者を多く出す。

なほ動物植物は土地そのものによりて無数の種類を生育せしめ、その研究には世界的に大なる貢獻をなし、動物學者モレイラ、植物學者ロドリリス等は學界の最高權威となつてゐる。黃熱病研究所—オスワルド・クルリスの設立により、その黃熱病の發源地なるリオ・デ・ジャネイロ、サントスの二大港より完全に之を排除することに成功した。彼はステゴミア・ファスシアなる蚊の媒介によつて黃熱病の傳染するを發見し、市民の強硬なる反對にも拘らず政府を説いて自ら衛生局長となり、硫黄燻蒸によつて嚴重なる消毒を施行し、毎年約千五百人の黃熱病死亡者を皆無ならしめた。以來その撲滅法は充分に繼承實施せられ病毒を全く清掃すると共に現在までその研究が續けられてゐる。

毒蛇研究所—ウイタル・ブラジルは蛇毒研究の世界的な權威であり、二十餘年前、サンパウロ市郊外にブタンタン蛇研究所を設立、その所長として蛇毒治療を研究す。同所のため政府は二百萬圓を支出す。常にスルクラー、ジャラタス、ジャララカ、カスカウエル(ガラガラ蛇)等數千の毒蛇を飼育し、その血精を製し、毒蛇の治療、豫防に努む。また毒蛇を食ふチヌルなる蛇を飼養して蛇毒を驅逐する研究所であり、世界最大の設備を有す。なほ藥草の研究をもなす。

【社會科學】ブラジルはフランス文化の移植に努め、共和國建國の指導原理としてオーギュー

最も發達してゐる。即ち、南米における最も有力な組織的新聞はアルゼンティンの首都ブエノス・アイレスに發行されてゐる「Nación」紙及び「La Nación」(夕刊新聞)とブラジルの首都リオ・デ・ジャネイロに發行されてゐる「Jornal do Comercio」の三新聞である。ブラジルにおける主要新聞は全國に三六紙の多きに五つてゐる。うち首都リオ・デ・ジャネイロのみにも一〇紙(うち週刊三紙)を數く、就中、「Jornal do Comercio」、「Correio de Manhã」、「Diario de Notícias」、「Jornal」の四紙の如きはブラジル中においても最も有力なものである。またサン・パウロ市の如きも九紙を有し、うち「Estado de São Paulo」、「Fanfulla」、「Folha da Manhã and Folha da Noite」の如き有力紙を含む。

スト・コントの實證主義的人道主義科學により、自由・平等・博愛を目的理想とする社會政治哲學を有する。一八八八年の奴隸解放及八九年の共和革命はその實現であり、一八九一年に憲法は發布され、この起草の政治家、學者はすべて、ボジテイヴィズムの信奉者であり、その國旗に「秩序と進歩」の標語が染め抜かれたのはコントの學的理想に外ならない。國都には廣大なる人道寺院(タムブル・ド・ユマニテ)が建設せられインテリゲンチヤはこれに歸依す。この中には人道の貢獻者が記念され、ホメロス、アリストテレス、ダンテ、釋迦、孔子、孟子、仁徳天皇等を祀つてゐる。

D 藝術【美術】本來、藝術的天分に富める國人は美術に對する嗜好、傾向著しく、繪畫は早くからフランス美術の影響を受け、フィゲレイド等の天才畫家を多數に有してゐる。彫刻家にはベルナルデリの天才があり、一般に彫刻の水準は頗る高い。

【建築】新興國家として國內大都市には各所に幾多の壯大なる記念碑及び新様式の建築物が建設せられてゐる。牧業國としてのブラジルにはリオに世界的な大競馬場を有しその建物は甚だ進歩的である。リオ・フランコ街の國民圖書館、サンタ・カタリナ・ミゼルコリダ病院の美しき建築を有す。またグロリア・サンの十層樓はリオの一大美觀である。サン・パウロ市の建築を有す。サン・パウロには一八二二年の獨立記念碑がイビランカの丘上に建てられ、廣い花崗岩の臺座の上にドン・ペドロ一世の銅像を置き、中央臺座に獨立の犠牲者の群像を戴いた壯麗なる世界最大の記念碑である。同市の産業會館は舊文化様式によつて建設されてゐる。リオ市のフー

ヨーロッパ風な習俗を持つが、土人の風俗に到つては實にまちまちで、インディアン風俗にヨーロッパ風を混じたものもあれば、今尙裸體、跣足の極めて原始的な生活を續けてゐるものもある。一般にラテン系の特徴として情熱的であり、特にフランス文化を崇拜して風俗的にもこれを模する風あり、雜婚によつて種々な人種が混血してゐるため、人種的な偏見は比較的少ないと云はれてゐる。言語は主としてポルトガル語が用ひられるが南部諸州には廣くイタリ語及びドイツ語が用ひられる。

VI 自然 A 位置 南アメリカ洲の東部を占め、北はヴェネズエラ共和國とギアナ地方に接し、北西はコロムビア共和國に接し、西より南西はペルー、ボリヴィア、パラグアイ、アルゼンティン及びウルグアイ各共和國に隣り、北東より南東に至る一帯の地は大西洋に面してゐる。その四極を見れば次の如し。極東—西經三四度四分、極西—西經七十四度三〇分、極北—南緯三度四分、極南—南緯三十三度四分、ミリム湖南。B 地勢 地形上から見れば比較的單調で東南部のブラジル高地と北西部のアマゾン低地とに二大別することが出来る。ブラジル高地は北はアマゾン低地に接する部分から南はウルグアイまで連なり、東は大西洋岸から西はアマゾン河の支流マデイラ河まで續く高原地帯である。東南部にはやゝ高い山脈が平行して走つてゐて、ゼラル山脈、マール山脈、マンチケイラ山脈、エスピナンソン山脈などがあるが、平均高度一五〇〇米内外で、この國の最高峯はイタチアナ山で二、七二二米である。こ

シヤル・フロリアノ廣場はオデオン座を有する拘欄たるモザイク鋪道と記念碑に飾られた新都市様式を表現してゐる。【文學】ラテン系の熱情とまた熱帯地方の氣候風土により國人は理性よりも感情に支配され、本質的に詩人的傾向を有してゐる。常に詩的雰圍氣に生活せんとして、詩聖カモエンスを絶對的に尊敬してゐる。ブラジル人はポルトガル風にフランス・ラテン文化の教養を受け、詩想は益々豊かになり、麗麗なる即興詩を作り、また家庭、集會、祝宴等には相互に作詩の競技を闘はす風習を有してゐる。かくて幾多の天才の詩人を輩出す。オラウオ・ピラックは全ブラジルの人の愛誦措かざる大詩人であり、他にオリヴェイラ、ディアス、アゼンド、リマ、オレガリオ等の堂々たる詩人を輩出す。なほ小説界にはその特異なる風物の描寫をなし、コエリョ・ネット、コスタラの如き大作家を出す。【演劇】ブラジルはポルトガルの領有時代以來、演劇に熱心であり、オリロ・プレト市がウイラリカなる「黄金の町」として建設されるや、こゝに大劇場が建てられてブラジル最古の劇場となる。サン・パウロ市の市立劇場は市の中央ビヤデユクト・デ・レヤ橋邊にあつて觀覽席は五階十種に分れ、その構造は驕奢を極め、歐米の大劇場に優に對抗し得るものである。特にオペラの優秀なることは實にウィーンのそれに匹敵する。リオ市の十二層のオデオン座は世界における最善のミニシカル・オペラハウスの一と云ふべきものである。E 新聞 ブラジルの新聞界はラティン・アメリカ諸國中においてアルゼンティンと共に

F 主要新聞紙

新聞名	發行地	當派別
Correio de Manhã	Rio de Janeiro	中立
Diario de Noticias	"	"
Jornal	"	"
Jornal de Commercio	"	保守的共和派系
Diario da Manhã	Pernambuco	自由黨系
Correio de Povo	Porto Aleyre	中立系
Estado de Sao Paulo	Sao Paulo	民主黨系
Fanfulla	"	無所屬系
Folha de Manhã and Folha da Noite	"	社會黨系

風俗・言語 一般外來種族はほぼ同一の

の高地は主として始原代古時代の地層からなり、長年月の剝削作用によつて高原状をなしてあるものである。

州別面積・人口

Table with 4 columns: 州(弧内は州首府), 面積(平方哩), 人口(1920), 人口(1929). Rows include Alagoas, Amazonas, Bahia, Ceara, Espirito Santo, Goyaz, Maranhao, Matto Grosso, Minas Geraes, Para, Parahyba, Parana, Pernambuco, Piahy, Rio de Janeiro, Rio Grande do Norte, Rio Grande do Sul, Santa Catharina, Sao Paulo, Sergipe, Federal District, and Acre Territory.

註 1920年の人口は國勢調査により、1929年の人口は12月31日の推計による。尙1933年1月1日の推計によれば総人口は43,340,000人である。

C 氣候 赤道の南北を含み、緯度三八度間に亘り、大部分は熱帯にあるが、平地、底地の他高原地をも含み、南部は温帯である等により、氣候は多種多様である。

乃至二月、最寒の月は主として七月であるが、一年を通じて殆んど大差はない。ブラジル高原中にある各州は土地の高いために温帯的な氣候となり、四季の別があつて、六・七・八の三ヶ月の冬は山頂に雪を望み、一・二・三の月は炎熱となる。南部の各州は温帯氣候である。

くため、ブラジル高原東斜面及びアマゾン河流域は降水量も多く、年二、〇〇〇耗以上に達し、その反対面に位する地方は比較的降雨少なく、リオ・デ・ジャネイロは年一、〇八五耗である。

F 移民政策 ブラジルは元來労働力不足しその天然資源を開発し、産業の勃興に資せんがために海外より移民を盛に歓迎するの政策を取つて来た。然るに最近國內の政治的策動と相俟つて東洋移民、殊に最近増大しつゝある日本移民を排斥せんとする企圖が有力となりつゝあつた。斯くて一九三四年五月二十四日、憲法議會は憲法草案に挿入するべき移民制限事項を大多數を以つて可決し、斯くて七月一日新憲法の發布を見、翌一六日即ちその條文は効力を發生するに至つた。即ちその條文は次の如し。

高においてもブラジルは世界總生産高の七五・九%、サン・パウロ州はその六五%に相當する千七百萬俵(一俵六千疋)を産し、更にコーヒーはブラジル輸出總額の七割乃至八割を占め、而もその約七割はサン・パウロ州よりの輸出であり、實にブラジル貿易は一サン・パウロが背負つてゐるわけである。斯くブラジルの經濟は一サン・パウロに依存し、同州のコーヒーに依存してゐるが、このサン・パウロ州のコーヒー農業は嘗つての好況時代は固より最近の不況時においても常に或る程度の労働力缺乏に悩まされてゐて、漸く日本人移民によつて解決されつゝあつたのである。殊に一九三一年一月ヨロツバ移民禁止法の實施以來日本移民は奥地農業の維持發展のため益々重要性を加へ、年々一萬二千乃至二萬七千の入國を許可してゐる。日本移民の大部分は海外興業會社を通じサン・パウロ州コーヒー園に雇はれ行くのであるが、同社に對する労働需

最近の勞働供給状態

(海外興業會社統計)

Table with 4 columns: 年度, 求配家族数, 配耕家族数, 配耕比率. Rows for 1930, 1931, 1932, 1933.

況期において、要は今日の不況期において、二倍乃至三倍に及ぶ實情は前述の勞働力不足を如實に物語るものであり、同社最近の勞働供給統計を見れば明かである。

民開始以來、滿二五年に當り彼地の日本人はブラジル朝野と共に盛大な祝典を擧げ、日本よりスボーツ選手を派遣し、或は彼國より經濟使節親日學徒の來朝を見る等、日伯關係は近年一層親善の度を加へつゝあつた。

然るに一九三〇年の所謂一〇月革命後、獨裁政府に對する護憲運動が勃然と起り、一九三二年新憲法起草委員會設置、翌年五月には全國各州から二五四名の憲法制定會議議員を選出、一月五日より新憲法の審議を開始した。然るに政府原案には革命政府の政策として第三三條に移民に關する立法は聯邦議會の權限に屬する旨明記され、又一二八條補款第二項に「聯邦法は國利に鑑み入移民及出移民を禁止し制限し若くは獎勵すべし」と規定し、茲に排日論者の乘ずる機會を與へた。即ちミゲル・コト案ほか、三案の排日移民の修正案が提出され、一九三四年三月の憲法制定會議では不同化移民入國禁止の條文挿入可決され、四月一三日修正案提出最終日に至り排日議員ミゲル・コト一派により露骨な日本人移民制限法案が提出され、五月二四日遂に一六三對一七四で議會を通過した。同法案は第一六一條の修正で表面上各國移民の入國を最近五〇年間の移民總數に對し、毎年その二%を限り入國許可を與へるといふのであるが、實質的には日本移民のみを目標としたこと明かである。斯くて同月二八日憲法會議は遂に最後の決定を見るに至り、越えて七月一五日遂に新憲法の發布となつた。たゞ一九三四年中においては日本對ブラジルの移民契約に基き従前通り入國することが出来、又再渡航者及び呼寄せ入國は支障なきこととなつてゐる。なほ新ブラジルの憲法は舊憲法に比較すれば國家主義の色彩が濃厚で、移民制限のみならず外國人の權利は勿論歸化人の權利も縮小された。日本にもつ

とも影響あるのは今後醫師の開業が生來のブラジル人又は既に歸化して兵役に服したもののみに限られたことである。然し相互主義關係にある國のものには例外とされてゐるが、日本にはそのやうな條約もないから従來外務省が派遣してゐた醫學留學生制度は持續することが出来なくなつた。

また舊憲法はブラジルで土地を所有し、ブラジル人と結婚したり、ブラジル人たる子供、即ちブラジル生れの子供あるものは國籍取得の手

12

ペルー

立憲共和國

英・獨 Peru, Páson

I 歴史概観 この地はスペイン人によつて發見される五、六世紀以前に、今日のチリ、アルゼンティン、コロンビア、エクアドル等をも合せて建設された一大インカ帝國の中心として文化の榮えた國であつたが、一五三五年スペイン人ピサロ(Pizarro)がインカ帝國の首府クスコを陥れ、新にリマに首府を建設して以來、南米におけるスペイン植民地の最も重要な中心地となつてゐるが、一八二一年七月二八日獨立を宣言して共和國を建設しその後幾多の内憂外患を経て、大統領の代ること四十幾代、尙國境問題に對する紛争を續けながら今日に至つてゐる。

II 政治

A 政治機構 ペルー共和國は一八二四年ス

ペインよりの獨立以來、共和制を採用した。憲法は建國以來屢々改廢を受け、更に一九三三年四月九日、新憲法制定せらる。該憲法によれば三權分立主義を採用してゐること舊憲法と變らず、大統領任期五ヶ年、次期再選を許さない。【大統領】ドン・オスカル・ライムンド・ベネディテス將軍(General Don Oscar Benavides)一九三三年四月三〇日憲法會議によりて選出せられる。

【首府】リマ(Lima)

B 行政 行政權は大統領に屬し、七人の國務大臣より成る内閣を通じて行使せられる。現内閣は一九三三年六月二九日成立し、ブラード内閣の總辭職の後を承けて、十一月二五日に成立せるアグエロ博士を内閣議長(首相)とするものにして、その關係の顛覆は次の如し。

首相兼法相 アグエロ(José Riva Agüero)

蔵相 ロカ(Benjamin Roca)
外相 ボーン(Salon Pole)
陸相 ロドリゲス(Manuel Rodriguez)
海相 ロタルト(Carlo Rotalde)
土相 ボサ(Hector Boza)
内相 ケンリョット(Alfredo Henrich)
C 立法 一九三〇年八月二二日革命の結果議會召集され、一九三三年四月九日新憲法發布さる。該憲法によれば立法權は上下兩院よりなる議會(Congreso)に屬す。下院(Chamber of Deputies)は五年毎に改選され、上院(Senate)は六年毎に選出され、その三分の一は二年毎に改選される議員より成る。上下兩院議員はいづれも直接投票により選出せられる。通常議會は八〇日間開かれ、その他隨時特別議會が召集せられる。選舉權を有する者は讀み書きの出來る二歳以上の男子に限る。

D 司法 裁判權は一人の判事よりなる大審院、全國一の上級裁判所、一四七の第一審裁判所、四二の下級裁判所(Minor Court)よりなる。大審院判事は中央政府の提出にかかり、名簿の中より議會により、上級裁判所及び下級裁判所判事は大審院及び上級裁判所より提出される名簿より中央政府により選出される。

て、先づ社會改革を唱へ、政教分離、勞働階級出身議員による政府のコントロール、陸海軍軍縮、自由教育、インディアンの保護、農地の分割、勞働保險、保險法の強化を主張する。

E 地方行政 國內を二三縣(departamento)に分ち、二三縣は一一四州(province)に分ち、各縣等は更に一〇一一郡(district)に分ち、各縣は知事(prefect)に、各州は副知事(sub-prefect)によりて治めらる。市町村會議員は直接投票によりて選出せられ、外人も選舉資格を有する。

F 政黨 一九三〇年八月の革命の結果、舊既成政黨は消滅し、革命派同盟(Union Revolucionaria)、地方分權黨(Descentralista Party)、愛國黨(Civilista Party)、

【社會黨】を掲げる政綱は社會主義的に

においてはラティン・アメリカ諸國との親密な協調、内政においては社會改革、教育改造、一般經濟の再組織、大地主階級の土地再分配による農業改革等を政綱に掲ぐ。

【國家社會黨】 立憲當初におきては革命派同盟と共同戦線を張つてゐたが、現在では國家社會主義的傾向が強ぐ。

【社會民主黨】 同黨は國家と教會の親密な關係維持を主張する新政黨で、労働階級向上のための種々なる社會的政綱を掲ぐ。

【自由黨】 一九三三年八月再組織された政黨で行政の地方分権制、教育改革、労働者の福祉増進をその政綱とする。

【外交】 他の南米諸國の何れにも見られる如くペルーにとつても國境問題は對外關係において重要な地位を占むるのである。今諸隣國との國境問題を列擧すれば、一、對エクアドル國境問題については兩國間に屢々外交交渉が開かれ、双方協調的態度に出でゐるから、早晩解決のつく問題である。二、對ブラジル關係は一八五一年以來の懸案たる國境問題に就いての協定が最近成立した。三、對ボリウエア關係はアルゼンティン大統領アルコルタの斡旋により、

一九〇九年解決を見た。四、ペルー、チリ兩國間の永年の問題たりシタクナ (Takarua)、アリア (Arica) 所屬問題も一九二九年のアメリカ大統領の調停により解決を見た。斯くの如く周囲の諸國との國境問題解決されし現在では何等對外關係において緊張せる問題は殆んどないといへる。この國にも他のラティン・アメリカ諸國におけるが如く英米の投資は相當な額に上り、カヤオ港からオロヤに至る中央横斷線鐵道はイギリス企業團 Peruvian Cooperation の手によつて建設された程である。

【對日關係】 ペルーは南米諸國の中、日本と歴史的に見て最も早くから交通し、かのマリ

【國防】 陸軍】 強制國民皆兵制度を採用してゐる。現役二年、第一豫備役五年、國民兵役二年である。國內を五陸軍區に分ち、各陸軍區は師團を有す。師團は機關銃附けの各二大隊からなる歩兵二聯隊、一測量部隊、一軍醫部、一經理部、一或は二騎兵聯隊、一山砲隊よりなる。現在における陸軍編成は歩兵二〇聯隊、砲兵五聯隊、五山岳歩兵部隊、機關銃隊、一飛行隊、獨立經理部よりなる。リヤ (Lima) に陸軍士官學校、陸軍大學設置さる。一九三一年現在における陸軍兵力は士官一、一六五名、下士卒七、八八〇名よりなる。その他、警官隊及び憲兵

隊あり、その数は約八千名に上る。空軍は空軍司令官によりて指揮される。

【海軍】 ペルー海軍はB級巡洋艦が二隻(六、四〇〇トン)、潜水艦四隻(二、三〇四トン)、驅逐艦二隻、その他、數隻の練習船、一隻の運送船を有す。アマゾン河には三隻の砲艦が配備さる。

【軍費】 一九三一年における陸軍豫算は一四、三五八、一四二ソール、海軍及び空軍豫算は六、五八六、七八六ソール、計二〇、九四四、九二九ソールである。

【對日關係】 ペルーは南米諸國の中、日本と歴史的に見て最も早くから交通し、かのマリ

【國防】 陸軍】 強制國民皆兵制度を採用してゐる。現役二年、第一豫備役五年、國民兵役二年である。國內を五陸軍區に分ち、各陸軍區は師團を有す。師團は機關銃附けの各二大隊からなる歩兵二聯隊、一測量部隊、一軍醫部、一經理部、一或は二騎兵聯隊、一山砲隊よりなる。現在における陸軍編成は歩兵二〇聯隊、砲兵五聯隊、五山岳歩兵部隊、機關銃隊、一飛行隊、獨立經理部よりなる。リヤ (Lima) に陸軍士官學校、陸軍大學設置さる。一九三一年現在における陸軍兵力は士官一、一六五名、下士卒七、八八〇名よりなる。その他、警官隊及び憲兵

隊あり、その数は約八千名に上る。空軍は空軍司令官によりて指揮される。

【海軍】 ペルー海軍はB級巡洋艦が二隻(六、四〇〇トン)、潜水艦四隻(二、三〇四トン)、驅逐艦二隻、その他、數隻の練習船、一隻の運送船を有す。アマゾン河には三隻の砲艦が配備さる。

【軍費】 一九三一年における陸軍豫算は一四、三五八、一四二ソール、海軍及び空軍豫算は六、五八六、七八六ソール、計二〇、九四四、九二九ソールである。

【國債】 一九三二年六月三〇日におけるペルーの全公債は五三二、〇一一、八四八ソールに及び、そのうち内債一三九、六〇〇、〇二一ソール外債四〇二、四一一、八二七ソールである。外債中にはアメリカの九四、八〇八、六五八ドル(三、五七一七ソール)をドルと計算して、イギリスの三、六六九、四八八ポンド(一七、三八一九三ソール)をポンドと計算して)を含んでゐる。しかしながらペルーは一九三一年五月より外債の償却金及び利息の支拂を經濟狀態の改善されるまで停止した。

【貨幣】 ペルーの貨幣單位は一九三一年四月一八日の法令によつて金貨ソール(oro)と定められてゐるが、これは舊ペルー貨幣リブラ(Libra)或はペルー・ポンドと云はれたものの一〇分の一に當り、金貨ソールは鑄造はされな

【生産】 産業大觀】 ペルーは産業的には海岸地帯の低地と海岸山脈とアンデス山脈の中間地帯及びモンタナと呼ばれる森林地帯の三地带に分けることが出来る。不毛な海岸地方は多くの灌漑工事がほどこされてゐる。住民の約八〇%は農業に従事してゐるが、多くは灌漑工事の助けを借りてゐる。主要産物は綿、砂糖、コーヒー、羊毛、獸皮などであり、礦物には鳥糞、石、銅、石炭など多く、工業は發達せず、大きい工場としては鐵業工場が數個あるのみである。

【畜産業】 アルバカ及び羊並に駱駝の毛が輸出される。一九三一年の羊毛及び駱駝の毛の産額は一、九〇四メートル噸、アルバカの産額は二、三〇八メートル噸にして、一九三二年の毛の全輸出量は四、一三六噸、獸皮の全輸出量は一、七一八噸に上る。

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

Table with 3 columns: Year, Income (歳入), and Expenditure (歳出). Data for years 1929, 1930, 1931, 1932(1), 1933(1).

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【最近の歳入歳出額】 (單位ソール)

【鑛業】鳥糞石の埋蔵量はウアニロス(Huanillos)、プンタ・ロボス(Punta Lobos)その他...

一九三一年度主要鑛産物

Table with 3 columns: 種別 (Type), 量 (Quantity), 価格 (Price). Rows include 銅 (Copper), 石油 (Oil), 銀 (Silver), 金 (Gold), 石灰 (Lime), 鉛 (Lead), 亜鉛 (Zinc).

註 (1) 天然ガソリンをも含む

最近の輸入輸出額

Table with 3 columns: 年度 (Year), 輸入 (Import), 輸出 (Export). Rows for years 1929, 1930, 1931, 1932, 1933.

れ、ペルー人が特許の優先権を有してゐる。鐵の埋蔵量も多く、マルコナ(Marcón)にある...

一九三二年度主要貿易品

Table with 4 columns: 輸入 (Import), 価格 (Price), 輸出 (Export), 価格 (Price). Rows include 綿製品 (Cotton goods), 羊毛製品 (Wool goods), 黄麻製品 (Jute goods), etc.

車は四、四二二臺、乗合自動車は二四一臺、自動車は二四一臺、總計二、八二七臺に上る。

【航空】リマと國內各處との間の郵便及び旅客飛行は一九二八年に開設された。尙その他に...

【通信】ペルー政府とマルコニー會社との間の協約によつて、郵便、電信、無電の經營は、一九二一年五月一日より二一年間同會社が...

III 社會

社會の實權はことごとく白人が握つてゐる。都市中心主義で、大都會はほぼ歐米化してゐる...

のための労働者であり、みぢめな原始的な生活を餘儀なくせしめられてゐる。一般に労働力は不足。地方の衛生設備は整はず、低地にはマラリア熱など流行する。

V 文化

A 宗教 ペルーにおいては宗教の自由が許されてゐるが、ローマ舊教が國家の保護を受け、一九二九年の法令によつて、學校においては官立、私立を問はずローマ舊教の教育のみが許されることになつてゐる。

B 教育 初等教育は七歳より一四歳まで義務教育で無料。その組織は非常に中央集権的で教師はすべて文部省から任命される。

一九三〇年初等學校數、三五五二、教師數六、四七六、生徒數三四二、〇一六。中等學校數三六、(私立學校を除く)教師數六九七、生徒數一、八二六。師範學校四、生徒數一、六一〇。一九三二年における教育豫算九、四六九、八四八ソール。インディアンのための特殊學校數あり、生徒數約一、七八〇。巡回學校數三〇。高等教育は通常リマにある中央大學で受けるのであるが、これはサン・マルコス大學(Universidad de San Marcos)と呼ばれ、一五五一年チャールズ・ジャン・マルコス(Chancay)が創設されたもの。一九二九年における教授數一六九、學生數一、五三一、五學部と二學院あり。他に小大學がアレキバ(Arequipa)、クヌコ(Cuzco)、トリフィロ(Trujillo)にあり、尚、リマにはカトリック大學がある。その他にリマには、農業、職業、工業の各國立單科大學がある。

C 藝術 現在のペルー人には未だ獨特な藝術は生れないが、國內到るところに嘗つてのインカ帝國の文化をしのぶ巨大な遺跡を見ることが出来る。

D 新聞 ペルーにおける主要新聞として全國に一二紙を數へることが出来る。うち五紙は首府リマにおいて發行されてゐるもの。以上のうち最も有力なものは首都リマにおいて發行されてゐる Comercio 紙である。その他、週刊二、隔週刊二、月刊二を數へる。以下新聞名を日刊、週刊、隔週刊、月刊に分つて挙げれば次の如し。(括弧内は發行地、括弧なきものは發行地は首府とする)。

- 日刊—Antocha, Comercio, Cronica, Suplementos, Tiahuna, Deber (ハキーン), Puchho (アンキーン), Callao (カラオ), Intransigente (カラオ), Sanjox (カラオ), Comercio (タムロ), Sol (タムロ)。
週刊—Varietades, West Coast Leader。
隔週刊—Heraldo, Semana。
月刊—Boletín del Banco Central de Reserva del Peru, Boletín Mensual de la Cámara de Comercio de Lima。

E 風俗 ペルーの都會人はラテン民族、特にスペイン人の子孫が多いため、一般にラテン民族の通有性たる輕快と愜意と情熱的なものを持つてゐる。而してヨーロッパ文化を憧憬し、ローマ舊教を信じて相當に封建的な偏見が強い。しかしながら、結婚は宗教的なものを脱して民法的な手續のみを以つて有效とされ、醫師の診察書が必要である。自由な離婚制度が認められ、正當な理由なくして五〇日間不在のものには離婚の訴えが出来、離婚者は直ちに結婚が出来ない。インディアンは高原地帯に住んで素朴で温和な性質を持ち原始的な生活をし、僅かにインカ帝國時代からうけ繼いだ音楽と舞踊を樂しみにしてゐる。

F 言語 ベルールの一般国民はスペイン語を用ひてゐるが、インディアンは彼等の言葉ケチュア語(Quichua)或ひはアイマラ語(Aymara)を用ひてゐる。

VI 自然

A 地理 ベルールは南アメリカ大陸の北西部、太平洋に面する共和国にして、北方はエクアドル、コロンビア、南方はチリ、東方はブラジル、東南はボリウエアに接し、西方は大平洋に面し、三方が國境にかこまれて常に國境争ひを續けてゐる。地勢を全體的に見れば、アンデス山脈の心臓部にあつて一般に高原地帯で、アマゾン河の水源地となつてゐる。地形的には、沿海の平原地帯、アンデス高原地帯、アンデス東斜面の森林地帯の三部に分たれる。沿海の平原地帯は幅三〇哩の狭長な平野で、寒流のため降雨少なく、且つ炎熱で砂漠や荒地が少なくない。アンデス高地は二、〇〇〇乃至四、〇〇〇メートルの高地で、西・中・東三コロシラ山脈よりなり、西コロシラ山脈即ち海岸山脈には多くの火山があり、南東部の國境に南米第一の大湖チチカカ湖がある。東斜面の平地はアマゾン河の上流域をなし、鬱蒼たる森林地帯である。

三分、七月は一六度、一二月は二三度二分である。また山地は一般に温帯的な気温を持ち、清冷で極めて健康地である。殊に三千五百メートルを超る地は寒帯性を帯びてゐる程である。東斜面の低地を成してゐる部分は気温高くマラリアの流行する地帯もあるが、高地は一般に氣候温暖である。

一九二七年の概算によれば、人口總計約六、一四七、〇〇〇人、そのうち六〇〇、〇〇〇人は白人である。一九三一年一月におけるリマ州(首府をも含めて)の人口は官廳の人口調査によつて三八〇、七〇八人であり、カラオ(Callao)州は七〇、八八一人である。

13

ボリウエア

立憲共和国

英 Bolivia, 獨 Polivien, 佛 Bolivie

I 歴史概観

古くはペルーを中心とするインカ帝國の一部であつたが、一五三三年スペイン人に占領されて以來永くその植民地となり、アルト・ペルーと稱して初めはペルー副王領に、後ラプラタ副王領に編入されてゐたが、一九世紀の初め本國がナポレオンに占領されるや獨立戦争を起し、シモン・ボリーバルの援軍を獲て遂に一八二五年獨立を宣言し、獨立の恩人の名に因んでボリーバル共和国と命名し、後ボリウエアと改めた。その後一八七六年にはチリとの戦に敗れて全沿岸領域をこれに割譲し、一九〇九年にはアラレ河流域をアラジルに譲り、今日尙バラグアイとは國境の紛争を續けてゐる。

II 政治

A 政治機構 現行ボリウエア憲法は一八八〇年一月二日制定せられたるものにして、一九三一年一月一日の修正を経て、現在施行せられてゐる。即ち、憲法によればボリウエアは大統領を元首とする共和制とし、行政権は大統領に屬し、立法権は議會に、司法権は裁判所に屬する三權分立主義が採用されてゐる。現大統領は一九三〇年六月革命によりヘルナンド・シラス(Hernand Siles)政權に代はリカルド・ブランコ・ガスマン(Charlos Blanco Galdino)が

政權確立後、翌一九三一年一月に執行せられた大統領選挙において舉黨一致を以つて、純正共和黨のサラマンカ博士、副大統領にはソルザノ推された。

觸は次の如し。内閣議長兼外相 カルヴォ(Carlos Calvo)、自由黨出身。内相 ウガルテ(R. de Ugarte)、純正共和黨出身。蔵相 エスピダ(J. Espada)、純正共和黨出身。陸相 クイロガ(J. A. Quiroga)、純正共和黨出身。国防相 ベナウイデス(Z. Benavides)、純正共和黨出身。文相 サリナス(J. Salinas)、自由黨出身。司法相 サイナス(J. M. Sainz)、社會共和黨出身。

上院議長—Jose Luis Tejada Sorzano (自由黨) 自由黨

純正共和黨 一名
社會共和黨 一名
無所屬 五名
計 一六名
下院議長—Franz Tamayo (純正共和黨)
純正共和黨 三九名
自由黨 二二名
社會共和黨 七名
無所屬 五名
計 七三名

D 司法 裁判権は大審院、高等地方裁判所(判事五人)及び地方裁判所に屬し大審院本部はスケレ(Sucre)にあり、それは二つに分れ各々四人宛の判事を有し、大審院長を監督す。大審院判事は議會の三分の二の投票によりて選出され、地方裁判所判事を任命し且つ裁判費を管理する権限を有す。地方裁判所は地方判事及び教區判事を有す。

E 地方行政 国内は八省(Department)三地方(Territory)に分たる。各省は副知事(sub-prefect)に、各地方は區長(Corregidores)によりておさめらるる六三〇區を有す。

各省における政治最高権、行政権、軍権は省知事に與へらる。各省には上下兩會よりなる省議會(Departmental Assembly)あり、立法事項を司るほか省豫算、教育、省道路敷設等について審議する。

ボリヴィアの北西部地方、チャコ(Chaco)及びオリエンテ(Oriente)の三地方は三人の官吏(Delegados nacionales)によりて治めらる。省知事は大統領の任命にかゝり、副知事は知事によりて任命さる。區長及びその判事は省の副知事によりて任命される。各省の首府は市會(Municipal Council)を有し、各市區は市廳を有す。

市區より小き分區は市事務官を有す。
F 政黨 現在ボリヴィアにおける政黨としては自由黨(Liberal Party)、純正共和黨(Geomine Republican Party)、社會共和黨(Social Republican Party)、國民黨(Nationalist Party)の四政黨が存在してゐる。うち前三者が有力にして、現内閣はその聯立内閣である。以下各政黨並にその政綱及び黨領袖に就いて各説する。
【自由黨】一八八〇年立憲、一八九八年より一九二〇年まで政權掌握の歴史を有す。外政におつては仲裁々判による國際紛争の平和的解決、内政においては保守的財政政策をとり、インフレーションに反對す。

黨領袖—Jose Luis Tijaña Sarzano (副大統領、一九三四年一月サラマンカ大統領降任後、大統領の位置を襲ふ) Carlos Calvo(外相)、Tomás Manuel Elío, Casio Rojas(アルゼンチン公使)、Pascual Sanchez(ナリール公使)、Juan Salinas(土木相)、Juan María Zalles, Juan Meñez Reyes, Jose Melchor Cuatros(上院議員)。

【純正共和黨】一九一四年、サラマンカ博士及びエスカレラ等によりて結成されしが、一九二〇年の共和革命により二派に分裂した。その一派は政府共和派(Government Republican)と稱せられるのであつた。一九二一年にハウチヌタ・サーヴェド博士(Dr. Paulista Saavedra)を大統領に選舉せるサーヴェド派である。またその二は所謂純正共和黨(Genuine Republican)と稱せられる。同黨は外政においては係争中のボリヴィア領土の回復を唱へ、内政においては言論新聞の自由、國道敷設を主張す。
黨領袖—Dr. Daniel Sarananza (大統領、

一九三四年一月降任)、Rafael de Ugente(内相)、Jose Marie Escalier, Carlos Victor Arumayo(イギリス公使)、Luis Calvo(下院議員)、Joaquin Espada(フランス公使)、Demetrio Canchals(下院議員)、Franz Tamayo(下院議長)。

【社會共和黨】内政においてはインキアンの幸福、社會立法の必要を説き、国内の大資本家の利益に反對し、外政におつてはチャコ(Chaco)問題に關するパラグアイの要求に絕對反對を表明す。

黨領袖—Paulista Saavedra, Juan Manuel Saenz(文相)、Román Paz(前外相)、David Alvestegui(フランス公使)、Eduardo Díez de Medina(前アメリカ公使)、Gabriel Gosalvez, Pedro Zilueti Arce。

【國民黨】ルナンド・シレス博士(Dr. Hernando Siles)によりて結成さる。一九三〇年革命の結果、その勢力を非常に減少し、現在黨勢は極めて微々たるものがある。

黨領袖—Rafael Tabares, Jose Antezana, Enrique Finot(アメリカ公使)、Fulbian Yaca Guvaz(前外相)。

G 外交 ボリヴィアはシモン・ボリウアル(Simon Bolívar)の建國にかゝり、一八二五年獨立宣言後、大統領サラマンカ・クルスは絶えずナリール國境に侵入し、一八七六年更にダサ將軍(Daza)はナリールと戦へるも敗戦に終り、一八八四年、太平洋沿岸をナリールに割譲す。次いで一九〇三年にはアクレ河流域地方をブラジルと争ひ、結局一九〇九年アクレ河流域をブラジルに割譲した。

【國境問題】現在ボリヴィアの懸案は永年紛争のパラグアイとの國境問題である。所謂「グラン・チャコ」(Gran Chaco)國境線問題である。このグラン・チャコ國境線に關してボリヴィアは一九二五歳まで服従義務がある。一九歳より二五歳までは常備軍、二五歳より三〇歳までは通常豫備軍、その後一〇年間は特別豫備軍に屬する。常備軍は一二歩兵聯隊、六騎兵聯隊より成り、各聯隊は四中隊を有す。このほか各二中隊を有する三野砲兵聯隊及び六工兵隊、一飛行隊あり。

この他、更に百名乃至二百名の歩兵部隊(Cy Juntas)は主要都市に駐屯してゐて、必要ある場合には一大隊を編成し得るようになつてゐる。北部、北西部、南西部、東部守備隊は各三百名の兵卒を有してゐる。歩兵武器は一八九八年のモーゼル銃(Mauser)を使用す。

III 經濟

A 財政 ボリヴィアの財政は一九二九年度を最高として著しく減少しつゝある。それは最近の世界的不況のため、ボリヴィア最大の富源たる各種礦産物の價格の低落による産業界の極端なる不振の結果、政府の歳入が著しく減少したに基くものである。その上、及び戦争による軍事費の増大、公債費の年々莫大なる負擔等はボリヴィア財政を一層困難ならしめてゐる。

最近の歳入歳出額 (單位ボリヴィアノ)

Table with 3 columns: Year (年度), Income (歳入), and Expenditure (歳出). Data for years 1928 to 1933.

歳入の主要なものは關稅、酒稅、各種礦物及びゴム、輸出稅、特許

はピルコヤヨ河(Pircomayo River)とパラグアイ河(Pangany River)間のグラン・チャコを全部要求するに對し、パラグアイはパラグアイ河を切り離して交渉を進めんとする態度を初まつてゐる。この國境紛争は一九三二年七月に初まつて遂には一九三三年五月パラグアイによる宣戰までも惹起した事件である。グラン・チャコ問題は或は汎米會議に或は國際聯盟に持出されて今尙未解決の問題となつてゐる。この草原地帯が紛争地點となつてゐる經過を歴史的に見れば次の如くである。

この紛争の起原は既に一九世紀にその原因を發す問題のグラン・チャコはかつてパラグアイ州の一部でもあり、オノデエンシア・デ・チャルカスの一部でもあつて國境確定してゐなかつたのである。パラグアイは一八七〇年から一八七五年にかけてアルゼンチン、ウルグアイ、ブラジル三國聯合と戦ひ、南部チャコを失ひ、ボリヴィアはナリールとの敗戦の結果、一八八四年太平洋沿岸地帯を失ひ、兩國領土喪失の結果新領土獲得に汲々たる時であつた。グラン・チャコはパラグアイ、ピルコヤヨ兩河間に位置する一〇萬平方哩の草原地帯にして、油田、タンニンを多量に産し、經濟上の意義から見て、軍事上の立場から見ても兩國の垂涎禁じ能はぬ所である。一九〇〇年にはボリヴィア、パラグアイ兩國間にこのグラン・チャコ問題をアルゼンチン大統領に委ね、一時妥協を見るに至つた。然るにその後パラグアイは自國領のチャコのキリスト教宣教師傳導許可問題に發端し、一九二八年一月兩國の緊張を見るに至つたが、當時ワシントンに開催中の汎米會議の調停により一時小康を得ることになつた。然るにボリヴィア軍のパラグアイ要塞占領を導火線として、一九三二年七月三〇日、遂に兩國の開戦を見るに

至つたのである。この日において翌八月一日、國際聯盟理事會の議題にのぼり、武力に依らざる平和的解決を兩國に勧告すると共に、他方アメリカ政府は中南北米九ヶ國代表委員召集の上、紛争の國際仲裁々判の發動を要求する旨決議した。これらの勧告に對し、即時パラグアイは承認を表示せるも、ボリヴィア占領地既得權の拋棄し難き旨を盾にとつて、之れを拒否するに至つた。更にアルゼンチン、ブラジル、ナリール、ペルー(A, B, C, P)がこの調停に乗出し、兩國紛争和解のため斡旋したが、一九三三年五月一日再び兩國の開戦を見るに至つた。同年一月二月、ウルグアイの首府モンテヴィデオ(Monte Video)における汎米會議においても、無論この兩國の國境紛争問題が議題となり、兩國協定とまで進みしも一九三四年一月六日休戦協定明けと共にパラグアイ軍は進軍を開始し、畫餅に歸した。斯くて現在に至るもグラン・チャコ國境問題は未解決のままにして、將來の成行は豫斷を許さぬものがある。

ボリヴィアとペルーのはコパカバナ半島(Co. Paachana)における國境線はスチエス河(Sichas)からチチカカ湖(Titicas)までである。それは兩國委員會にて決定し批准するまでになつてゐる。アルゼンチンとボリヴィアの國境線は一八八九年條約によつて決定したが、然るにその後、一九二五年における國境調査においてボリヴィアは一九二九年新條約に批准したが、アルゼンチンは未だ批准を拒否してゐる現状である。

H 國防 国内は三師團區即ち北部・中央・南部に分れ、三陸軍司令部はサンタ・クルス(Santa Cruz)、エル・ヤニ(El Beni)、タリファ(Tarif. 三)にある。一九一五年一月二日法律は常備兵三、五七七人と規定す。強制徴兵を採用し、

税、印紙税等、特に錫の輸出税は主要な財源になつてゐる。一九三三年の豫算において歳出の主要なもの、公債費八、〇六二、二八四、教育費三二、〇〇〇、〇〇〇、内務費二、三五二、七〇〇、交通費二、一一〇、九九六ボリウイアノである。軍事豫算はこの中に含まれず、特殊な軍事豫算があつて、パラグアイとの戦争における巨額な出費及び陸軍省費はボリウイア中央銀行からの借款により、その額は五〇、〇〇〇、〇〇〇ボリウイアノに達するが、これが支拂は臨時戦争税が當てられてゐる。

【國債】一九三三年三月三十一日におけるボリウイアの公債は三二六、〇二八、三三八ボリウイアノに達し、外債一七二、七四三、四八七ボリウイアノを主要なものとし、外債利子三五、四九六、五九二ボリウイアノ、内債八六、三五八、八四三ボリウイアノ、流動公債二一、四二九、四一六ボリウイアノである。

B 銀行 一九二九年七月一日よりボリウイア中央銀行(Banco Central de Bolivia)がボリウイア国立銀行(Banco de la Nación Boliviana)の資産を繼承して開業し、中央發行銀行となつた。一九三三年五月三〇日における該銀行の準備金は二八、二八三、一四三ボリウイアノ、法定準備金は二四、五〇〇、〇〇〇ボリウイアノ、紙幣流通高四三、七二四、八〇二ボリウイアノ、預金三三、〇二六、八八六ボリウイアノである。

C 貨幣 標準貨幣は金貨ボリウイアノ(Boliviano)で、純金〇・五四九一七グラムを含み、アメリカの三六・五セントに等しいが、一九三一年九月二五日金の支拂は停止された。外國爲替との比例の統制は中央銀行がなしてゐるが、ロンドンにおける錫の値段に多く基いてゐる。法律によれば一〇及び二〇ボリウイアノの

最近の輸入輸出額 (單位ボリウイアノ)

Table with 3 columns: Year (1928-1932), Import (輸入), Export (輸出). Data: 1928 (64,390,583 / 116,073,474), 1929 (71,417,273 / 140,007,039), 1930 (58,134,613 / 101,561,417), 1931 (29,821,012 / 60,613,624), 1932 (22,351,535 / 48,903,564).

産物の輸出が頗る盛大にして、常に輸出總額の約九割以上は鐵産物によつて占められてゐる。うち錫鐵がその大部分を占める。然し最近の世界市場における鐵産物價格の著しい下落のためボリウイアの輸出貿易も甚しい打撃を受け、一九二九年度に比較して、三二年は約三分の一近くに下落してゐる。にも拘らず、ボリウイアは年々多額の輸出超過を見せ、殆んど常に輸出額は輸入額の約倍額以上を占めてゐる有様である。錫鐵は一九二〇年以來總輸出額の約九〇%を占めてゐたものであつたが、價額低落が續いて一九三二年には、全輸出額の七六%(三七、一二二、三〇七ボリウイアノ)に下落するに至つた。しかしながら尙一九三二年において鐵物の輸出額が九一・七%を占めてゐる。一九三二年における他の主要輸出品價格をボリウイアノにて示せば、銀三、三一二、四六八、銅七五八、七七四、鉛六六一、七四二、タンゲステン(ウルフラム)二五八、九九九、アンチモニー四五九、三六四、亜鉛二、二九二、三七二である。主要輸入品は砂糖、麥粉、小麥、石灰、石油、鐵、鋼鐵製品、鑛業用機械、米、酒類、織物、既製服等である。主要貿易國はアメリカ合衆國及びイギリスである。

G 交通 【道路】 幹線道路のうちラ・パ

金貨鑄造が定められてあり、前者をボリウイアル(Boliviano)、後者をダブル・ボリウイアル(Double Bolivar)と呼ばれ、ボリウイアルは重量六・一〇一八グラムで、純度九〇〇であるが、現在金貨は流通してゐない。金は無制限の法貨であり、銀は一ボリウイアノ(純度八〇〇、重量一五グラム)、〇・五、〇・二の各ボリウイアノがある。紙幣はボリウイア中央銀行が發行の獨占權を持ち、一、五、一〇、二〇、五〇、一〇〇の各ボリウイアノがある。

D 度量衡 メートル法は法律の規定によりすべて官廳において用ひられてゐる。然し民間においては舊スペインの度量衡が依然として使用されてゐる。クインタル(quintal)は一〇一・五ポンドに等しい。

E 生産 【産業大觀】 アンデス山脈の東方には國內全面積の四分の三にも及ぶ地面が未開發のまま残され、耕作面積は約四、九四〇、〇〇〇エーカーと稱されてゐるが農業は衰微しつつある。國有地は二四五、〇〇〇平方哩あるが、そのうち一〇四、〇〇〇哩は特殊植民地として保留されてゐる。この國の主産物は鐵物で、特に錫の産出は多い。

【農業】 或る地方には掘抜井戸によつて灌漑がほどこされてゐるが、農業は振はず、馬鈴薯、カカオ、コーヒー、大麥、ココア、高地米等を産するのみである。

【畜産業】 一九三一年の概算によれば、ボリウイアの家畜飼養数は牛一、八五四、九一五頭、羊五、五五二、〇七四頭、山羊七四七、五八一頭、驢馬及びアルバカ一、八八二、〇〇〇頭、豚三三五、五八〇頭、馬類三七五、七三八頭である。

【林業】 ゴムは南米においてブラジルに次ぐ第二輸出國であるが、尙、亞熱帶森林中には硬木(La Paz)からプノ(Puno)を通じてペルーに至るもの(一一六哩)及びラ・パスからラ・キアカ(La Quiaca)を通じてアルゼンティンに至るもの(七四九哩)は四季を通じて使用し得、同じ程度の國內道路は二、三三七哩あり、乾期のみ使用し得る二等道路三、八七五哩ある。

【鐵道】 ボリウイア國內の鐵道延長約一、三八四哩で、コチャバムバ(Cochabamba)からサンタ・クルス(Santa Cruz)に至る一七五哩が目下建設中である。

【船舶】 海港なきため、輸出入品は主としてアリカ(Arica)、モント(Molendo)、アントファガスタ(Antofagasta)、ラ・キアカ(La Quiaca)及びアマゾン河に流入する諸川の河港を通じて行はれる。またチチカカ湖の交通はペルーの會社で行はれ、河川のうち約一二、〇〇〇哩は吃水線の淺い舟で航行が出来る。

H 通信 一九二九年における郵便局数は四五四局、一九三〇年における電信線は約五、九二七哩、電信電話及び無線局数は三一八局に上る。Bolivian Tower Co. が全國における電話線敷設及び經營の特許を一九二八年に得、一九三〇年に至りオルロ(Oluro)に交換局が開かる。

III 社會

この國も他の南米諸國の多くと同じく、階級は期せずして人種別と同じに分れてゐる。支配者は白人系であり、中間層に混血族があり、下層にインディアン及びニグロがゐる。労働者としてみじめな生活をしてゐる。經濟的には外國資本に支配され、社會施設その他も甚だ振はない。富源は多いが、勞働力は一般に極めて不足してゐる現情である。

【階級運動】 ボリウイアの勞働者は約五十萬

質な樹木からパロ・デ・バルサ(Palo de balsam)と呼ばれる軽い樹木に至るまで多くの種類の木材あり、開發を待つてゐる。

【鑛業】 この國の實際上唯一の重要産業で、オルロ(Oluro)がその重要中心地である。鑛物には錫、銀、銅、鉛、亜鉛、アンチモニー、鋳鉛、ウルフラム、金、礬酸石灰等あり、錫は世界産出の四分の一を占め、マレー半島に次いで世界第二の産出國である。事實上錫鑛は全部イギリスに積出され、そこで錫塊となつて再び積出されてアメリカ合衆國に行き、この國で消費されることになる。國際錫制限案(International Tin Restriction Scheme)の下にボリウイアには一九三二年六月一日、一九三二及び三三年の年産額として一四、六八七噸が割當られた。一九三二年における各種鑛物の産出額をメートル噸にて示せば、錫二一、四〇〇、銀一二八、鉛五、四四八、銅二、〇一六、亜鉛一二、九六八、アンチモニー一、四六九、鋳鉛二、ウルフラム四一〇。金の産出は一九三二年に一二、二八一オンス。若鉛はラ・パス(La Paz)及びポトシ(Potosi)において國際的な一會社によつて採掘され、その産出量は市場の需要によつて調節されてゐる。アンチモニーは支那に次いで世界の主要産地である。普通鹽はボイボ湖(Boyo)の近く及びボリウイア南部に埋藏されてゐる。石油及びガスの地表に現はれてゐる箇所はアルゼンティン國境からペルー國境に近い北西部に至る間に多數にある。スタンダード石油會社(Standard Oil Company)がチャコ・オリエンタル(Chaco Oriental)に一六の油井を有つて開發に着手してゐるが、産出額は未だ少なく、一九三二年には僅かに四四、〇〇〇樽に過ぎない。

F 外國貿易 ボリウイアは鑛業の國にして世界の黄金國として有名である。従つてその鑛を有してゐるが主として手工業的のものが多く、一九二五年八月に初めてボリウイア勞働組合全國大會が開かれ、常設的組織を取るに至る。共產黨はなく、そのグループを有してゐる。なほこの地には最近イタリア・フアアシストの影響強く次第にラ・パスの共產主義運動は抑壓せらるゝに至る。特に一九二六―二七年にわたる「赤旗」は遂にムツソリーニの彈壓によつて發行が停止するに至つた。以後はボリウイアには却つて民族運動がフアシズムに刺戟されて勃興すべき状態にある。

V 文化

A 宗教 ローマン・カトリックが國家公認の宗教であるが、他の諸宗教の傳道も許されてゐる。宗教團は修道院一七を持ち(そのうち九は男子、八は女子)、修道士は約二三〇人、修道尼は二八〇人、俗僧は約五六七人がある。一九〇〇年の調査によれば無宗教者二四、二四五名となつてゐる。公認教會はスケレ(Skere)に居住する一名の大僧正の下に六名の僧正が置かれてゐる。教會維持費として一九三二年における國家の支出は一〇八、二七一ボリウイアノである。

B 教育 初等教育は無月謝で義務教育、自治體及び國家監督の下にある。一九三三年における初等學校数は二、〇三三、教師一、二四二名、生徒一六一、三八〇人。高等教育機關としてはカレッジ二九(一九は國立)、宗教學院五、私立學校五あり、教師數二九八名、生徒數四、四八〇人。特殊教育機關は二二校あり、生徒數三、一〇四人。大學(Universidad)は自治を許されてゐて、すべての任免の權及び財政に關する廣範な權利を與へられてゐるが、スケレ(Skere)とラ・パス(La Paz)に二大學があるのみであ

る。スケレにあるものは St. Xavier University と云つてアメリカ最古のものとして一六二四年の創立である。その他に教員養成のカレッジが数校あり、そのうち二校はインディアンのために開かれたものである。又大學教育を授けるもの一八校あり、教師一四一名、生徒一、六八二人である。

C 新聞

ボリヴィアはラテン・アメリカ諸國中においても文化的に比較的遅れてゐる。従つて新聞なども餘り發達してゐない。僅かに實際上の首都たるラ・パス(La Paz)に別表に見られる如きDiario; Patria; Razon; Republica; Ultima Horaの五紙があるのみである。そのうち

主要新聞紙

Table with columns: 新聞名, 党派, 別. Includes Diario, Patria, Razon, Republica, Ultima Hora.

註 以上すべてラ・パスにおいて發行されてゐる。

Diario 紙が最も有力な新聞にして全國にわたつて指導的役割を果してゐる。

D 風俗 白人系のボリヴィア人は風俗習慣共に祖國のスペイン風であるが、混血族になると、土人の風俗が雜つて多少異つてゐる。言語は智識階級ではスペイン語であるが、土人はケチュア語(Quechua)及びアイマラ語(Aymara)を用ひてゐる。宗教はローマン・カトリックであるが、一九二二年三月一九日より結婚は宗教的儀式によらぬこととなり、又、一九三二年四月より嘗つて禁止されてゐた離婚が許可されるに至つた。その結果、同年には既に八二一組の離婚が許可された。

VI 自然

A 地理

南アメリカの中部にあり、東と北はブラジル、南はパラグアイ及びアルゼンチン、西はペルー及びチリの諸國に接する内陸國である。土地は東方に向つて傾斜し、西方はアンデスの東西兩山脈が走つてその間にティチカカ高原盆地を作り、アンデスの東方斜面はアマゾン大河の一部水源地帯となつてゐる。アンデスが形成するボリヴィア高原には幾多の峻峰聳えて四時雪を戴き、數個の活火山もあり、この地方にはティチカカ湖(Tititaca)ボイボ湖(Poopo)、コイバサ泥湖(Cajupata)等がある。アンデスの東方斜面は廣大な地帯を占め、中央部に東西に互る分水嶺あり、以北はアマゾン河の大支流マデイラ河の上流地帯でチリ及びブラジルの森林地帯に連り、以南はパラグアイのグラン・チャコに連る乾燥平野に當り、最東部はパラグアイ河流域の沼澤地に連なつてゐる。

B 氣候

土地は熱帯内にあるが高原地帯は温帯乃至寒帯の氣候を帯び、高山には絶えず雪を見、低地帯において僅かに熱帯的氣候を見る。高地は年中冬の氣候を呈し、冷涼で空氣は乾燥する。ラ・パス(La Paz)の年平均温度は一度である。雨期は一月頃より翌年三月頃まで、あるが、高地には少なく、北東アマゾン流域には比較的多くて森林地帯を形成し、南東部は降雨稀で草原性を呈してゐる。

C 面積 國境線の争ひによつて正確な面積を計算することは出來ないが、一官廳計算のものによれば五〇六、四六七平方哩とあり、この

計算中にはパラグアイと紛争中の面積は除かれてゐる。

D 人口 一九〇〇年の國勢調査によれば人口一、六七五、四五一人で、一九三二年の概算は三、〇六六、八一五人、一平方哩平均五・九人となつてゐる。

住民に關しては一九二九年の概算によれば、インディアン一、五八六、六四九人、白人四二六、二二二、混血族八九八、四二九となつてをり、他の一九三〇年における概算によれば、インディアン五四・五%白人一四・六%、混血族三〇・九%で、その他に支那人、ニグロ共他が約六、〇〇〇人ある。

E 都市

首府は法律上はスケレ(Schele)になつてゐるが、實際上は現在政府の置かれてゐるラ・パス(La Paz)である。主要都市の一九三二年における人口概算を示せば以下の如し。ラ・パス一五〇、一六五人。コチャバム(Cochabamba)一四九、〇〇〇人。ポトシ(Potosi)三五、九〇〇人。スケレ二六、一一三人。タリファ(Tarifa)一一、九五〇人。オルロ(Olro)一一、〇〇〇人。サンタ・クルス(Santa Cruz)一一、三〇〇人。

F 植民政策 全人口は約三百萬と云はれる中、土着人はアメリカインディアンが約一〇〇萬、白人は四〇萬、混血人が約六〇萬と云はれる。白人はペルー人が主であり、アルゼンチン、チリ、イタリヤ、ブラジル、スペイン、ドイツ、フランス、オーストリア、イギリス、アメリカ合衆國の順序に居住す。その中土着人は先づスペインを主として始められた。一六世紀以來ペルー副王領として植民せられ、一七八〇年にはラプラタ副王領に編入さる。

14

蘭領ギアナ

英(Guiana(Surinam)), 獨(Guayana, 佛(Guyane)

I 歴史 一六世紀の頃南米大陸の探検が「エル・ドラド」なる都の物語めいた傳へ

この時ナポレオンがスペインを占領せるためにボリヴィアに獨立戦争が勃發して、一八二五年に獨立宣言がなされた。同獨立の將軍はシモン・ボリヴァルであり、ボリヴァル共和國となつたが、以來、チリとの不斷の衝突をなし、遂にそれらに敗る。また一九〇三年にはブラジルと戦つて敗れアクレ河流域をブラジルに割譲。かくて經濟力はひどく衰退したが、これに乗じてアメリカ資本の積極的な植民地化するに至つた。一九〇八年にモルガンから五十萬ポンド・スターリングの借款をなす。

と共に、いよいよ盛んとなる頃、最初にこの地に植民したのは、當時南米の東岸を航行して土人と貨物の交換を當ててゐたオランダ人で、一六世紀末にはエッセキボ河(Esequibo)の流域にキコヴェラルの植民地がまず出来、その後オランダ人の移住は大規模となり、一六二一年にオランダ西インド會社が成立して大いに活動したが、一六六七年ブレダ(Breda)の和約によつてイギリスにニュー・ネザラント(今のニュー・ヨーク)を與へ、代りにイギリスのギアナにおける植民地を得、次いで一六七四年二月ウエスト・ミンスターの條約によつてこれを確立し、オランダの勢力はこの地に大いに擴まつたが、その後二度イギリスの支配に屬してゐる。即ち初めは一七九九年より一八〇二年の間で、アミアン(Amians)の條約によつて舊に復し、二度目は一八〇四年より一八一六年までで、一八一四年八月一日のロンドン條約によつて再びオランダ領に復し、一八一五年一月二〇日パリの條約によつてベルビス(Berbice)・デメララ(Demerara)・エッタ

最近の産出歳入

(單位 1,000 ギルダ)

Table with columns: 年度, 歳出, 地方歳入, 本國補助金. Data for years 1931-1934.

キボ(Besegwibo)及び喜望峯(Cape of Good Hope)を除く他のオランダ領植民地と同時にこの地をも確定した。

II 政治

行政權は知事の手により、これを補佐する機關として

顧問會議があるが、これは知事を議長とし、副議長及び三名の議員よりなり、これらはすべてオランダ女王の指名による。國內は六地方に別れ、各地方代表によつて植民地議會が構成され、議員は一名で六年毎に選出される。裁判所は一あり、その所員は君主によつて任命され、他に州裁判所四、巡回裁判所が二ある。

國防は市民防衛隊及び歩兵より成り、歩兵は一九三二年に士官一〇名、下士卒一五二名である。

【知事】キエルストラ(Prof. Dr. J. C. Kielstra)一九三三年八月一六日任命。

【首府】パラマリボ(Paramaribo)、人口四九、六七四人。

III 經濟 【財政】歳入は地方歳入と本國補助金より成り、地方歳入は輸出入税、國內消費税、家屋及び所有地税、個人賦課税、その他間接税より成つてゐる。

【産業】主要産物の一九三二年産額を擧ぐれば、砂糖二四、五七〇、〇〇〇キログラム、カカオ一二五、八〇〇キログラム、バナナ、四二二、九〇〇房、コーヒ一三、八五三、五〇〇キログラム、米二五、〇四八、五〇〇キログラム、玉蜀黍一七〇六、七〇〇キログラム、ラム酒三三、五〇〇、〇〇〇リットル、糖蜜四、六三三、一〇〇リットル、パラタゴム四四三、一〇〇キログラム、金二七、八八二グラム、鐵礬土(Barite)一一一、六九五メートル噸に上る。一九三二年の家畜頭数は牛一、六〇八五頭、山羊三、五三三頭、豚五六九三頭である。

【外國貿易】最近六年間の輸出入額を見るに一九二八年まで輸出は超過であつたが、二九年以來輸出は激減し、爾來輸入超過を續けてゐる。一九三二年における主要輸出品は、砂糖二〇、

最近輸入輸出額
(単位ギルダ)

年 度	輸 入	輸 出
1927	9,288,858	11,834,361
1928	9,194,989	11,634,859
1929	8,658,900	7,946,629
1930	9,188,476	8,389,803
1931	6,626,645	6,170,885
1932	5,650,259	4,616,374

一四八、
〇〇二キ
ログラ
ム、ラム
酒一三
五、五五
九リット
ル米二、
六七二、
五〇〇キ
ログラ
ム、コー
ヒ、三、

V 文化 蘭領ギアナの文化は甚だしくおくれ、今日未開地の域を脱せず、人種が雑多なため風俗、習慣、言語も一致してゐない。宗教を見るに一九三二年末において新教徒一二、五四九人、モラビア派二九、一四四人、ローマン、カトリック二六、七五二人、ユダヤ教七六二、マホメット教三六、〇九八人、ヒンズー教三〇、一一人である。またその学校を見るに一九三二年において、公立小学校数四二校、生徒七、六三六人、私立学校七九校、生徒數一二、二四七人である。

VI 自然 蘭領ギアナは別名サリナム(Sariman)と呼ばれ、英領ギアナの東にあり、東方はマロニ河(Maroni)によつて佛領ギアナに隣り、南はブラジルに接し、北は太平洋に臨んでゐる。南は北緯二度、北は六度、東は西經五三、五〇度、西は五八、二〇度に位する。南境にはツマクマク山脈(Tumac-Hunac)が東西に走り、内地には中央より少しく西に偏してウイヘルミナ山脈(Wilhelmina)が弓状をなして南東より北西に走つてゐる。土地の大部分はこの山脈より北東に傾斜し、海岸一帯はマングローヴの密生した沼澤地か或ひは沙丘となつてゐる。而してその直後は密林で、内地の十分の九は住民なく、濕潤な森林地の間をサリナム河が貫流してゐる。

なほ蘭領ギアナの氣候は炎熱で雨量多く、不健康地である。
【面積・人口】 面積は五四、二九一平方哩。住民のうちヨーロッパ人はオランダ人、イギリス人多く、他にブラジル人あり、その他に森林地帯に住むブッシュ・ニグロ及びインディアンがあつて、一九三二年末において人口一五八、一九四人と稱され、同年の出生數は四、一八六人、死亡數一、八二七人である。

二五一、六七七キログラムである。

【交通】 國內交通は主として舟及び小汽船によつて行はれる。首府パラマリボは港をなし吃水二〇フィートまでの舟を入れる。ヨーロッパ及びアメリカ合衆國には定期航路がある。一九三二年國內各港入港船舶は二二九隻、八六八、〇八六噸、出港船舶は二二六隻、八五八、〇九八噸に上る。又パラマリボから合衆國及びブエノス・アイレス間に週一回の定期航空路が開設されてゐる。

【社會】 オランダの植民地として本國の政治的・經濟的支配を受けてゐることは、他の一般植民地と異るところはない。種族的に見れば白人が社會的勢力を持ち、ニグロ及びインディアンは奥地の森林地帯に今尙原始的な生活をし、職業的に見れば黒人は農業及び鑛業に勞働者として驅使されてゐる。衛生施設及び衛生思想普及せず、加ふるに熱帶的氣候のために傳染病が流行する。現在今尙野蠻地たるをまぬがないが、政府もその社會的開發には意を用ひ、孤兒院その他宗教的施設には補助金を與へ、政府の設立した救貧院もある。

『日本國際年鑑』發刊の辭

國內と云はず、國際と云はず、幾多の難問題の錯綜渾沌を極むる現在において、一般的に最も必要とせらるゝのは、時局に對する基礎的な知識と、繼起する現象的諸問題に對する理解とである。

日本國際問題調査會はこの國民的必要に應ぜんがために、同人協力して調査研究に従事し、その成果を公刊する目的を以つて創設せられたものである。而して今回發行の『日本國際年鑑』はその根幹的の仕事なのである。この年鑑は成美堂河出書房主河出孝雄氏の犠牲的好意により毎年出版の了解を得、こゝに創刊し得たるは感謝に耐へない所である。而してその内容には日本を始め、世界各國及び植民地の政治・經濟を中心とし、別記目次に示す通り、社會・文化・自然の各班に互る。主眼を日本及び英・米・蘇・佛・獨・伊等の世界の一等國に置き、これに次いで滿洲國・支那・インド・カナダ・オーストラリア等、太平洋を中心とする諸邦に専ら意を注ぐ。更に全世界の獨立國及び植民地のすべてを網羅し、その數百八十六ヶ國に及ぶ。従つて全世界各國の

歴史・皇室・政治・經濟・社會文化・自然に對する生きたる百科辭典的エッセンスを把握せしむるのが我々の目圖したる所にして、以つて我國一般官民の國策樹立に資せんとするものである。従つて、我國の國際的發展のさゝやかなる一助たるを得ば、同人の欣快とするところである。「日本國際年鑑」なる名稱も、日本を中心とし全世界に互る知識資料たる意味と國運開展の希望とをこめたるものに外ならない。

上記の如くこの「日本國際年鑑」は全く營利的意圖に基かず、本會の眞摯なる調査研究を以つて我國文化向上に資することに面目を有するものなるを了解せられ、大方の御懇切なる御後援と忌憚なき御叱正とを切に期待する次第である。

昭和一〇年四月一日

日本國際問題調査會

調査會代表

戸野原史朗
清水宣雄

推薦の辭

國際知識の涵養に資するもの

外務大臣 廣田 弘毅

方今國際政治外交は複雑多岐を極め、盤根錯節の時局に際會してゐる。かゝる國際情勢に當つては江湖の識者は勿論、國民一般が、世界的知識を豊富ならしむるを要する。我を知り彼を知るは、外交の要諦なるのみならず、大國民が外交を理解して國運の發展に資するがための日常的の心掛けなりと曰はねばならぬ。此の度日本國際問題調査會が三ヶ年に亘る懸命の努力を捧げて日本國際年鑑を出版するに至つたのは、如上の見地より見ても世を裨益するところ尠くないと思ふ。更に一層内容の完璧を期する爲め、今後逐年の改版に依つて一段と權威を増さんことを切望するものである。

斯界に於ける先鞭を賀す

内務大臣 後藤 文夫

日本最近の國家興隆は我民族意識と日本精神の振起に由來する。而うして、今後國運

の發展を永久的ならしむる爲めには、一般國民が内外の政治・經濟・社會・文化・自然の基礎知識と諸情勢に關する普通常識とを體得して置くことが頗る有益なりと信ぜらるゝのである。『日本國際年鑑』はかゝる方面に於ける眞摯なる研究であつて、大方の便宜となることが尠くないと思ふ。將來一層の努力を以つて完璧を期し、愈々その效用を發揮せられんことを望むと共に、類例なき日本及東洋中心の國際年鑑上梓の勞を多とし、斯界に於ける先鞭を賀するものである。

座右に備ふべき必要の書

文學博士 井上哲次郎

余は今回河出書房より『日本國際年鑑』の發行せらるゝことを喜ぶものである。年鑑の類は種々あるが英國にて發行せる『政治家年鑑』の如きは、必要缺くべからざるものである。然るに『日本國際年鑑』は我々日本人に取つてはそれ以上必要なるものである。何故なれば此方は『政治家年鑑』が特に英米二國を詳述するに對して日滿二國を詳述するのみならず、一體に大東諸國を精細に報道し、且つ『政治家年鑑』などにはない世界各國の現在の動きを明かにするのであるから凡そ年鑑として餘程特色のあることが分るであらう。そのみならず、恐くは如何なる斯種の年鑑よりは整備したものと云へる。それ

に「カレント・トピックス篇」及び「世界文化史論篇」などのあるのも、益々本年鑑を特色づける所以であらう。故に余は之を座右に備ふべき必要の書として廣く江湖の諸彦に推奨せんと欲する次第である。

世界的水準を往く年鑑

東京帝國大學教授 大内 兵衛

國際關係が面倒になるに従つて外國の事と日本の事とを相關的に考へて見る必要がふえる。近頃、日本でも外國と同じやうに年鑑類がたくさん出版されるやうになつたのは、まことにうれしい現象に相違ないが、同時に、少し數が多過ぎて質がよくないと云ふ憾がないでもない。いま芦田均君以下私の信頼する二十餘人のエキスパートがそれぞれの部面を擔任して新しく出來た『日本國際年鑑』を見ると、それは、右のやうな吾々の要求を充すに足るのみでなく、それ以上、吾々が當然に望み得る最上のものであると感ぜられる。この年鑑は、量的には非常に大きい。それは日本と世界とに涉つて項目を非常に多く網羅してゐるためであるが、年鑑としてはこれが重寶だ。またこの年鑑は記述の分類が詳細で、その上記事の内容は信頼出來、何より結構だ。この種年鑑では何と云つてもステーション・イヤーズ・ブックが古くて權威があるが、あれはイギリスに詳しくて外國には

疎で、ことに世界諸國の諸事實の比較や國際關係の發展やカレントトピックスやについては缺くところが多い。その點では本書が新機軸を出して居り遙に實用的である。要するに、年鑑の出版については、これで日本も世界的水準に達したが、問題は、この年鑑が今後長くつゞくことが必要だ。關係諸彦の努力を願つてやまない。

最も時宜を得たる出版

内閣資源局總務部長 松 井 春 生

日本に對する國際間の認識不足に付ては特に日本の國際聯盟脱退に至る諸般の事情に鑑みる迄もなく、我々は多くの苦い經驗を重ね來つてゐる。此の事は、我々が歐米諸國と全然語脈を異にする國語を有することに依つても、避け難い所があるであらうが、それだけに我々としては、出來得る限り、あらゆる機會に於て、對日本の認識を要請しなければならぬ。蓋し、斯くすることは、我が正當なる主張を、不必要な摩擦なしに貫徹する爲の根本的要件であるからである。

之と丁度同じことは、我々の歐米諸國に對する認識に付ても云へるのである。我々が、正しく、深く、此等諸國のあらゆる方面に對する認識を把握するならば、其所には、幾何程危険、不安、疑念を避け得ることであらう。今日、日本精神の發揚といふことが喧しく論ぜら

れてゐる。洵に、日本の諸國に比して優れた所を強調し、徒らなる模倣、追隨を揚棄せんとする主張として、極めて結構なことである。然しながら、其の極端に走つて所謂野郎自大に墮ることのないやう、くれぐれも戒心する必要がある。若し不幸にして斯くの如き事態に到達したならば、其の弊の及ぶ所は、明治維新以來の所謂先進國追隨の弊害よりも、更に恐るべき文化の頹廢を來すであらうことを虞れねばならぬ。

以上の意味からしても、『日本國際年鑑』の目睹するが如き日本及世界各國の廣き分野に亘る諸般の事情の闡明は、今日に於て特に其の意義の最も深く且大なる所以を覺える。而も本書の範圍は全世界に亘り *Statesman's Year-Book* 等と略々其の軌を一にするも、その内容項目に至つては遙かにそれを超えるもので、此等の年鑑が變り行く諸國の情勢を概観するにどれだけ利便を供してゐるか判らない程であるから、正に、本書は夙に世に出づべくして出でざりしものと謂ふも過言ではあるまい。

一言所見を連ねて弘く江湖に推奨する所以である。

賛助員芳名 (五十音順)

法學博士 衆議院議員 外務省情報部長 逓信省貯金局長 評論家 日本外事協會主事 調查資料協會主事 文學博士 東京帝國大學教授 東京朝日新聞論說委員 東京朝日新聞主筆 衆議院議員 貴族院議員 內務大臣 東京文理科大学助教授 前興業銀行總裁 東京朝日新聞經濟部長 東京朝日新聞論說委員

芦田 達英 安達 熊貞 天羽 藤正 猪熊 原勝 伊藤 上正 井上 兵次 井內 西竹 大内 方竹 大西 方竹 緒方 風見 樺山 後藤 坂崎 志立 白石 關口

均藏 二治 德治 明治 郎明 衛齊 虎章 英夫 侃郎 郎泰

評論家 東京帝國大學教授 法學博士 東京日々新聞顧問 前陸軍省軍事調查委員長 衆議院議員 東京商科大学教授 評論家 滿洲國大使館參事官 前海軍省軍事普及部委員長 大阪毎日新聞總務局長 外務省亞米利加局長 法學博士 內閣資源局總務部長 法學博士 滿鐵總務部資料課長 評論家

平高 柳賢 立柳 千葉 東條 中野 根岸 長谷川 馬場 原比 日川 平野 廣田 堀內 米野 牧野 松井 美濃 宮本 三輪 茂木

貞賢 太龜 正英 剛機 閑佶 吾武 治風 毅介 實一 生吉 治壯 衛兵

編輯顧問 (五十音順)

米馬千伊芦
田場葉藤田
恒龜正
實吾雄德均

編輯同人 (五十音順)

大場芳男 小倉虎治
佐藤立雄 清水宣雄
戸野原史朗 仲小路彰
中島保 中山茂
難波浩 本莊正直

本號執筆著者名 (五十音順)

芦田均 磯崎俊次
伊藤正徳 大場芳男
小倉虎治 尾崎秀實
小澤正元 香月保
河出孝雄 具島兼三郎
佐々弘雄 佐藤立雄
清水宣雄 園田次郎
千葉龜雄 戸野原史朗
仲小路彰 中島保
中山茂 難波浩
馬場恒吾 濱波正雄
林廣吉 本莊正直
本多助太郎 益田豊彦
箕輪鍊一 笠信太郎

本調査會の數年に互る調査研究の途次、昭和九年一月三〇日文學士本莊正直君を喪ひ、更に同年五月二六日には法學士磯崎俊次君の長逝に遭ひ、兩君の多大なる協力を回想し、愈々こゝに本年鑑の發刊を見て哀悼の情の一層切なるを覺ゆると共に、兩君の生前の努力に對して深く感謝の意を表するものである。

凡例

一、編輯方法

一、本年鑑は日本を始め、全世界の各獨立國、植民地、聯盟管理地、委任統治地、租借地を大小盡く集録したるものにして、その數は實に獨立國六十九ヶ國、植民地百一ヶ國、聯盟管理地二ヶ國、委任統治地十二ヶ國、租借地二ヶ國に及び、總計百八十六ヶ國の多數に亘る。

一、これ等の諸國に就いての分類法は、第一編を特に日本篇とし、以下に第二編アジア篇、第三編アフリカ篇、第四編オセアニア篇、第五編北アメリカ篇、第六編南アメリカ篇、第七編ヨーロッパ篇の五十音順の大陸別による。

一、更にこれ等大陸内の諸國を五十音順により配列し、各國を一樣に歴史・皇室・政治・經濟・社會・文化・自然の七章に分け、更に各章を別記細目次内容に示す通りの各項目に亘つて詳述し、完全に網羅且つ體系的なるを期した。

一、斯くの如く本年鑑は全世界に就いて國別的に廣汎且つ詳細に亘りたる沿革及び現狀を記述し、基礎的資料の提供を圖り、以つて從來の日本並びに世界の各種年鑑の全く企圖し能はざるところを特徴とするものである。

一、加ふるに以上の各國別篇の外に、カレント・トピックス篇を設けて、目下繼起しつゝある世界の重要問題に就いて現實的解説を與へ、更に世界文化史論篇において各専門權威者により世界の政治・外交・軍備・經濟・文藝に就いての文化批判を附加した。

二、記述方法

一、記述の形式は先づ歴史的概觀或は事實の沿革を明かにし、更に各事項の基本的構成を明確にし、次いで最近の現象、特に一九三〇年以來一九三五年初頭に至るまでを詳述した。

一、以上の現狀を記述する場合、繼起する現象の時間的發展を逐時的に記載し、成る可く事象の動的な方面を明確ならし

めるやう努力した。例へば「現内閣」の記述においては先づ内閣成立當初の事情と顔觸を示し、以下その改造、更迭等の變化を時間的に記載するに努めた。

一、特に歴史的發展及び基本的構成の記述は、本年鑑創刊の一九三五年版の最大特色の一にして、以後逐年刊行せられる各版の基本的なものたらしめることを企圖した。従つて明三六年版においては一層動的現象の記述に主眼を置かんことを期してゐる。

一、上記記述は専ら客觀的方途において試みられ、基礎的にして且つ資料的な報告及び統計を網羅した。特に統計は主として各國の官廳統計により、最近五ヶ年に亘る精密にして詳細な逐年的數字を採用した。

一、また調査執筆にあつては廣く内外官民の文獻及び調査資料を蒐集し、三ヶ年に亘る具體的研究に従事し、以つて記事の正鵠及び確實を旨とした。

三、項目内容

一、各國はすべて歴史・皇室政治・經濟・社會・文化・自然の七章に大別し、各章は次の如く細別した。

政治——政治機構、行政(現内閣)、立法(現議會)、司法、地方行政、政黨(各政黨の綱領、黨指導者)、外交、國防、

政治の動勢(最近における政界の重要なトピックス)

經濟——財政(公債)、資本、國際貸借、金融(銀行)、貨幣、度量衡、生産(産業大觀、農業、畜産業、林業、水産業、鑛業、工業)、商業(國內商業、外國貿易、物價、保險)、運輸・交通(道路、鐵道、船舶、航空)、通信、

經濟の動勢(最近における經濟界の重要なトピックス)

社會——社會構造(身分、職業、民族、階級の諸關係)、民族運動、階級運動、労働(労働組合、労働條件、労働状態、労働爭議)、失業、社會運動、社會事業、衛生、社會政策、社會の動勢(最近における社會の重要なトピックス)

文化——文化概觀、神社、宗教、教育、思想、科學(哲學、社會科學、自然科學)、藝術(音樂、美術、建築、文學、

演劇、映畫)、新聞、雜誌、出版、風俗、スポーツ

自然——自然的條件、地勢位置、山系、水系、平野、沿岸、地質、氣候(雨量)、面積、人口、人口政策、都市、

植民地、植民政策

一、すべての最近の事象は個別的に各項目に分けて蒐録されてゐるが、同時に全體的重要問題に關しては特に各章末に「動勢」の項を設けて總括的に詳述した。

一、なほ主要諸國、即ち、日本、滿洲國、中華民國、アメリカ合衆國、イギリス、イタリア、ソヴェート聯邦、ドイツ、フランスの九ヶ國に就いては、特に「年誌」の章を設け、一九三三年一月一日より三四年九月末日に至るまでの重要日誌を附した。

一、また特にエジプト、イタリア、ギリシアの三ヶ國には最後に「古代文化」の章を設けて、これ等諸國の燦然たる繁榮の跡を明かにし、以つて現状の理解に便ならしめた。

一、更にパレスティンには最後に「ユダヤ王國」の章を設けて、現在世界各國において重大問題となつてゐるユダヤ民族の歴史的解説を與へ、その現状を詳述した。

四、用語法

一、外國文字の發音に就いては原語發聲法に近からん假名使を用ひることに努めた。

一、また人名、地名、その他主なる事項には外國語を挿入した。

一、なほ國名においては、ロシアをソヴェート聯邦、支那を中華民國、アビシニアをエチオピア、メソポタミアをイラク、ドミニカをサント・ドミンゴとした。

昭和十年九月十五日發行

南アメリカ年鑑(日本國際)
年鑑分冊
定價壹圓

著者 日本國際問題調查會

發行者兼印刷者 河出孝雄

印刷所 東京市神田區小川町一丁目十一番地
宮本印刷所

不許
複製

發行所

東京市日本橋區通三丁目一番地
河出書房

電話日本橋二七七七
振替東京一〇八〇二番

(所本製田寺・川石小)

14.5
469

終